

楚南邸新築工事

(建築)

令和8年度

(有)都一級建築設計事務所

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書-1	A-25	展開図(4)	S-01	構造設計標準仕様
A-02	特記仕様書-2	A-26	展開図(5)	S-02	壁式鉄筋コンクリート配筋標準図(1)
A-03	特記仕様書-3	A-27	展開図(6)	S-03	壁式鉄筋コンクリート配筋標準図(2)
A-04	特記仕様書-4	A-28	展開図(7)	S-04	基礎伏図
A-05	特記仕様書-5	A-29	展開図(8)	S-05	R階梁伏図
A-06	特記仕様書-6	A-30	金属製建具表(1)	S-06	軸組図(1)
A-07	敷地面積、付近見取図	A-31	金属製建具表(2)	S-07	軸組図(2)
A-08	床面積、建築面積	A-32	木製建具表(1)	S-08	土質柱状図
A-09	地盤面算定表	A-33	木製建具表(2)	S-09	部材リスト(1)
A-10	居室毎の床面積	A-34	天井伏図	S-10	部材リスト(2)
A-11a	居室床面積求積図	A-35	外構図(1)		
A-11b	法規チェック図	A-36	外構図(2)		
A-12	仕上表(内部、外部)				
A-13	配置図				
A-14	平面図				
A-15	屋根平面図				
A-16	立面図(1)				
A-17	立面図(2)				
A-18	断面図				
A-19	断面詳細図(1)				
A-20	断面詳細図(2)				
A-21	平面詳細図				
A-22	展開図(1)				
A-23	展開図(2)				
A-24	展開図(3)				

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2025.4	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-00
		工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名	図面リスト		
				縮尺	S=1/100		

建築特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名	楚南邸新築工事	
2. 工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	
3. 敷地面積	483.45㎡	
4. 地域地区	指定なし	
5. 工事種目	①新築・増築	
6. 工事概要	一戸建ての住宅	
・構造	壁式鉄筋コンクリート造・1階建て	
・高さ	最高の高さ 3.55m	最高の軒高さ 3.40m
・建築面積	110.58㎡	
・延床面積	101.22㎡	

II. 工期

- ・契約日から 日間
- ・令和 8年 6月 日 から 令和 8年 12月 日
- ・指定部分工期及び指定対象部分：現場説明書による。(一部完成)

III. 建築工事仕様

1. 図面及びこの特記仕様書に記載されていない事項は、すべて建設大臣官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」(令和5年版)及びそれに基づく監理指針である「建築工事監理指針」(令和元年版)による。
2. 特記仕様
 - (1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
 - (2) 特記事項も、○印のついたものを適用する。○印の無い場合は※印のあるものを適用する。
 - (3) 項目及び特記事項に記載の()内表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 - (4) 形状寸法の単位は、特記なき限りmmとし、質量も従来どおりkgであるが、力(N:ニュートン)・応力(N/mm²)・圧力(Pa:パスカル)・エネルギー(J:ジュール)等は基本的には国際単位系(SI単位)を使用する。

事項 特記事項

① 適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> ◎建築基礎構造設計基準・同解説 ◎日本建築学会規定及び鋼構造設計基準 ◎建設大臣官房官庁営繕部建築工事共通仕様書 ◎建築工事標準仕様書 ◎沖縄県標準仕様書 ◎その他関係法令
2. 工事実績情報の登録 (1.1.4)	<p>※登録する：(ただし、工事請負額2,500万円未満の工事については不要)</p> <p>登録する場合、請負者は</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工事契約後 2. 工事契約変更後 3. 工事完成後 <p>各10日以内に高じ実績情報システム(CORINS)に基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受ける。</p> <p>その後、(財)日本建設情報総合センターにフロッピーディスクにより、「工事カルテ」を提出するとともに(財)日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督職員に提出する。</p> <p>なお、請負者が公益法人の場合はこの限りではない。</p>
① 3. 施工体制台帳の作成 (1.1.5)	<p>※作成する：(ただし、下請請負契約の請負代金の総額が4,500万円未満の工事については不要)</p>
④ 4. 発生材の処理等 (1.1.13)	<ul style="list-style-type: none"> ・引渡しを要するもの) ・現場において再利用するもの) ・指定副産物の再生) その処理方法) ・特別管理産業廃棄物(・廃油 ・廃石綿等 ・廃PCB等)) その処理方法) <p>上記以外の産業廃棄物の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニフェストシステムを採用し適切な収集、運搬及び処理を行う。 ・その他の方法(搬出調査作成) <p>[処理者：] [処理者：]</p> <p>※適用する：(・電気主任技術者 ・監督職員が承諾したもの) ・適用しない</p>
⑤ 5. 電気保安技術者 (1.3.3)	
⑥ 6. 技能士 (1.5.2)	<p>※適用工事種別(一級技能士または単一等級の資格者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎建築大工 ◎型枠施工 ◎鉄筋施工(鉄筋組立作業) ◎コンクリート圧送 ◎ブロック建築 ◎タイル張り ◎ガラス施工 ◎とび ◎左官 ◎サッシュ施工 ◎塗装(・木工塗装 ・建築塗装 ・金属塗装) ・カーテンウォール施工 ◎防水施工(・アスファルト防水 ・ウレタンゴム系防水 ・アクリルゴム系塗膜防水 ・合成ゴム系シート防水 ・シーリング防水) ・造園 ・建築板金(内外装金作業) ◎建具製作(木製建具製作) ◎畳製作 ◎内装仕上げ施工 ◎表装(・壁装作業 ・表具作業) ◎石材施工(石張り作業) <p>建築材料の製造所、製品及び施工業者等は特記されたもの又はこれらと同等以上とする。</p> <p>ただし同等以上とする場合は、監督職員が承諾を受ける。</p> <p>「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規定」による建設機械(・使用する・使用しない)</p> <p><平成9年7月31日 建設省告示第1536号></p>
⑦ 7. 建築材料等	
⑧ 8. 騒音、振動の防止	

9. 完成写真等

※下記のを原稿とも監督職員に提出する。なおデジタルカメラを使用するときは、監督職員が承諾を得る。

区分	分類・規格	撮影枚数	部数	原稿の大きさ(mm)
着工前	・カラーキャビネ版			
着工中	・カラーキャビネ版		1	
	・モノクロームキャビネ版			
完成時	・カラーパネル半切			
	・カラーキャビネ版		1	
	・モノクロームキャビネ版			
	・カラーパネル半切			
	・カラーズライド			

10. 総合図

※撮影枚数、部数は、監督職員の指示による。

※作成する(作成しない)

(総合図とは施工に先立ち計画を各工事間で調整検討するもので全部位の平面図、(1/50)必要な部位の断面図、展開図(1/50)を各工事毎に必要な内容を記載したものである。なお、総合図は監督職員に提出してその確認を受けるものとする。)

11. 技術検査

※中間技術検査(・実施回数： 回 ・行わない)

12. 工事完成図等 (1.7.1~3)

- ※作成する(※完成図：設計図を修正したもの。)
- A1を折り曲げ、金文字、黒表紙製本 [2部]
 - マイクロフィルム [1部]
 - (・アパッチャーカード ・ジャケットフィルム)
 - A3マウント縮小観音版製本 [1部]
 - フロッピーディスク [1部]
- ※保全に関する資料
- 建築物等の保守に関する説明書 [1部]
 - 機器取り扱い説明書 [1部]
 - 機器性能試験成績書 [1部]
 - 主要な材料・機器一覧表等 [1部]
 - 官公署書庫出書類 [1部]
 - フロッピーディスク [1部]
- (完成図の種類及び記入内容)

種 類	記 入 内 容
・配置図及び案内図	敷地及び建築物の面積表、屋外排水系統図
・各階平面図	室名、室面積、耐震壁
・各立面図	外壁仕上げ
・断面図	階高、天井高等を明示し2面以上作成
・仕上表	屋外、屋内の仕上げ
・施工図	
・施工計画書	

① 3. 設備工事との取合い

・作成しない

施工範囲

工 事 内 容	本工事	別添工事
	建築	電気 機械
・図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔の補強及び開口部の補強	※	・
・図示した壁、天井の仕上げ材、下地材の切り込み及び下地材の補強	※	・
・駆動装置が自動による建具類の2次配線及び操作スイッチ	※	・
・自動閉鎖装置取り付け箇所の切り込み及び補強	※	・
・屋上に設置する場合の設備機器の基礎(安台、アンカーボルト除外)	※	・
・外気取付けガラリ(ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む)	※	・
・身障者用手すり(衛生器具回りの手すりを除く)	※	・
・その他()	・	・

施工図

※作成する(施設機器の位置・取り合いなどの検討できる施工図を提出して、監督職員が承諾を受ける。)

・作成しない

14. 既存建物との取合い

※工事中、取合い部その他本工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は、原型に復する。

15. 保険関係

※建設業退職共済組合に加入した場合

- (1) その組合取納書を契約後1ヶ月以内に契約者に提出する。
- (2) 当該建設現場に「建設業退職共済制度適用事業主工事現場」との標識を提示する。
- (3) 未加入申請業者にたいする加入を指導する。

※建設労災補償共済に加入(平成元年8月23日・土総第1255号「建設労災補償制度の取り扱い要領」に該当する場合)

保険(保険期間は、原則として着工日から工期最終日+14日以上とする)

- ・建設工事保険
- ・火災保険
- ・組立保険
- ・賠償責任保険
- ・運送保険
- ・その他の保険()

⑥ 6. 近隣との調整

※工事の施工に当たっては、近隣との十分な調整を行うとともに、着工前に調査を行い記録に残すこと。

⑦ 7. 施工の安全確保

※「建設工事公衆災害防止対策要綱 建築工事編」により、施工の安全確保を図ること。

⑧ 8. 工事に使用する資材等の運搬について

土砂、資材等の運搬にあたっては、積載超過のないようにするとともに、交通安全管理を十分に行うこと。

19. その他

1. 監督職員事務所 (2.3.3)

※設ける(延面積種別：・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号)

設置備品の種類、数量：

種 別	1号	2号	3号	4号	5号
種 類	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

(表3.2.1) 単位：㎡

【監督職員事務所の仕上げ】

部位等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り
屋根	塗装済鋼骨鉄筋コンクリート又は鉄板張り鋼骨ペイント塗り
休憩室	畳敷き

② 2. 工事用水

・設けない

③ 3. 工事用電力

構内既存の施設 ・利用できる(※有償 ・無償) ※利用できない

4. 請負者事務所その他

構内既存の施設 ・利用できる(※有償 ・無償) ※利用できない

5. その他

請負業者事務所、下小屋、倉庫、便所、その他の仮設物については、適宜設ける。

※工事用看板：寸法(×)、文字等は監督職員の指示による。

・仮囲い (H= m以上、 L= m)

3 土工事	① 埋戻し及び盛土の種別 (3.2.3)	・A種 ○B種 ・C種 ・D種 (表3.2.1)	③ 鉄筋の継手 (5.3.1)	○重ね継手 (基礎等の大断面図部材、場所打ちコンクリート杭等を除いたD16以下の鉄筋)	
	② 建設発生土の処理 (3.2.5)	※構外搬出適切処理 ・受け入れ施設・場所 () ・仮置場所 () ・搬出調書提出する。 ・構内敷きならし		○ガス圧接 (D19以上の鉄筋、ただしSD295Aを除く) ・特殊な継手工法の採用 () ※表5.3.6の最小かぶり厚さに10mmを加えた値以上とする。	
4 地業工事	3. その他		5 鉄筋工事	○表5.3.6の最小かぶり厚さ以上とする。	
	1. 試験杭 (4.1.4)	本数: ※図示・最初の1本 設計支持力 () 支持力の算定方法 ※「地盤の許容応用力度及び基礎ぐいの許容支持力を求めるための地番調査の方法並びにその結果に基づき地盤の許容応用力度及び基礎ぐいの許容支持力を定める方法」(昭和46年1月29日付け建設省告示第111号)による。 ・その他の算定方法 ()		④ 鉄筋のかぶり厚さ (5.3.2)	・A型 ※B型 ※図5.5.1 ○図示による 組立の形の種別 ※H形 ・W-I形 ・W-II形 ・SP形 ・丸形 ・図示 ※A型 ・B型 ○図示 ※行う (※図5.8.11の補強配筋図による ・図示による)
	2. 既製コンクリート杭地業 (4.2.2)	杭の種類 ※高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・拡張断面を有する遠心力高強度プレストコンクリート杭 (ST杭) ・その他 () 杭の寸法 (長さ m、断面寸法 mm) 杭の継手箇所数 (箇所) 杭先端部の形状 (※閉そく平坦形 ・開放形)		⑤ 杭頭の補強方法 (5.4.1)	補強形式 ※H形 ・MH形 ・図示による ・既製品ウェブレ同等以上 検査方法 ※超音波探傷試験 ・引張試験
	(4.2.3)	工法 ・打込み工法 ハンマーの種類 ・ディーゼルハンマー ※油圧ハンマー ・プレボーリング ・行う (掘削深さ m、掘削径 mm) 行わない ・セメントミルク工法 支持地盤 ()		⑥ 柱頭の定着方法 (5.5.1)	・表5.3.6の最小かぶり厚さ以上とする。
	(4.2.5)	継手の工法 ※アーク溶接による溶接継手 ・その他 ()		⑦ 帯筋 (5.5.2)	
	(4.2.6)	杭頭の処理 ※杭本体を傷めないように、杭頭の上端がなるべく平らになるよう所定の高さに切り ・その他 ()		⑧ 壁開口補強 (5.7.2)	
	(4.2.7)	種類等 ※鋼管杭 (JIS A5525) ・H系鋼板 (JIS A5526) 先端部形状および補強 ※鋼管杭の場合、先端部は開放形とし、補強は図4.3.1および表4.3.2による。 ・その他 () 現場継手の形状 ※鋼管杭の場合、JIS A5525 (鋼管杭) による。 ・その他 ()		⑨ 土間スラブの打継ぎ補強 (5.8.3)	
	3. 鋼杭 (4.3.2)	場所打ちコンクリート杭 ・アースリール工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・場所内鋼管コンクリート杭工法 ・その他 () ・その他 () ※珪酸石灰岩を使用する場合は、鉱業法第63条による「施業案認可書」(写)、 「出鉱証明書」(写)を提出すること。		⑩ 梁貫通孔の補強 (5.10.1)	
	(4.3.4)	厚さ (mm) 図示 発注強度 (18 N/mm ²)、スランプ (15 cm)		⑪ 圧接完了後の抜取り試験 (5.11.9)	
	4. 場所杭コンクリート杭等 (4.4.1)	ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 重ね幅縦横共250mm以上		12. その他	
	5. 割石地業 (4.5.3)	試験方法 (・鉛直試験 ・水平試験) 試験箇所数 (箇所) 試験位置 () 平板載荷試験 (・行う ・行わない) 試験箇所数 (箇所) 試験位置 (協議の上決定) 標準貫入試験 (ボーリング深さ B1FL- m) 箇所数 (2 箇所) 位置 (協議の上決定)			
	6. 砂及び砂利地業 (4.5.4)	種 類 ※鉛直探査 位 置 ※基礎 ・水平探査 ※図示の範囲			
7. 均しコンクリート地業 (4.5.5)	検査対象 ※現状地表面から - mまで ※現状地表面から -2.0mまで (-1.0m、-2.0m)				
8. 床下防湿層 (4.5.6)	検査仕様 1) 磁気傾度計を使用した探査とする。磁気傾度計は、大型爆弾 (250kg以上) 及び砲弾等で-2m、小型爆弾 (50kg以上) 及び砲弾等で-1mまでの探査能力を有するものとする。 2) 探査の結果、磁気に異常が認められた場合は、直ちに磁気量を計算して監督員に報告する。 3) 探査上疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議する。 4) 鉛直探査の場合、掘削に先行し1mづつ探査を行い、掘削終了後、改めて対象範囲全域の連続探査を行う。 5) 報告書には、次の事項を記載する。 探査概要、機器概要、探査位置、探査結果、写真 (探査状況の分かるもの) 探査仕様: 「設計・調査・測量業務必携」等を参考に作成				
9. 杭の載荷試験 (4.6.2)					
10. 地盤の載荷試験 (4.6.3)					
11. 土質調査					
12. 磁器探査					
13. その他					
5 鉄筋工事	① 鉄筋の種類 (5.2.1)	規格番号 種類 径 (mm) ※JIS G3112 ○SD295A : D10 ~ D16 ○SD345 : D19以上	6 コンクリート工事	① コンクリート強度 (6.1.4)	
	② 溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 (図示 mm) 鉄線の径 (図示 mm)		② レディミキストコンクリート (6.1.5)	普通コンクリート (N/mm ²) 設計基準強度 呼び強度 適用箇所 ・24 24+T 図示 ○21 S=15 ○24+T 基礎、地中梁 ○21 S=15 ○24+T 梁、スラブ、壁 ○18 S=15 ○18+T 土間 * Tは北部地域等の冬の一時期の気温補正 * 呼び強度は規格品コンクリートを想定したものである。 軽量コンクリート 設計基準強度 (N/mm ²) 呼び強度 (N/mm ²) 種類 ※I類 ・II類 ※構造体コンクリートと供試体の強度との差を考慮した強度割増しは、3N/mm ² とする。 ※コンクリート打込みから28日までの平均予想気温による強度の補正は6.4.5(c)による。 ※コンクリート強度の標準偏差は6.4.5(e)による。(規格品コンクリート以外の場合のみ) 所用空気量 (% /v1) ※4.5 ・その他 ※普通コンクリートの気乾単位容積質量は2.3 (2.2~2.4の範囲内) ・その他 () ※普通ポルトランドセメントまたは混合セメントのA種 ・その他 () 砂利及び砂の種類 (JIS A5308) ※A : B 砕石及び砕砂の種類 (JIS A5005) ※A : B 混和剤 : ※AE減水剤 ・高性能AE減水剤 混和材 : ※フライアッシュ ・その他 () 塩化物量 (塩素イオン換算 kg/m ³) ※0.3以下 ・その他 () コンクリート打設現場において、打設前に先立ち、コンクリート中の塩化物量を測定し、その結果を監督員に報告する。 ・化学法 (石灰質を含む砕石以外の骨材に対し、年2回の生コン工場定期検査結果で確認する) ・モルタルパー法 (石灰質を含む砕石について、年2回の生コン工場定期検査結果で確認する) 以上の試験により、骨材が有害と判定された場合は、その他アルカリの総量規制 (コンクリート中のアルカリ総量が3kg/m ³ 以下) 等によりアルカリ骨材反応の抑制対策を講じる。 ※(6.8.1~4)を適用する。 ・合板せき板を使用しない場合 : せき板の種類 () コンクリート面の仕上りの程度 (・A種 ・B種 ・C種) ※合板を用いる場合 : 合板の厚さ ※12mm (mm) (表6.2.3) (JAS規格品) 種 別 施工箇所 日本農林規格 (JAS) 備考 A 種 外壁の一部 1種の表面加工品 塗装合板 B 種 図示による 1種の表面加工品以外 C 種 2種 種 別 所用気乾単位容積質量 (ton/m ³) 適用箇所 1 種 2 種 所用空気量 (% /v1) ※5.0 () 均しコンクリートおよび防水の保護コンクリートの粗骨材の最大寸法 (mm) ※20又は25 ・その他 () その他の無筋コンクリートの粗骨材の最大寸法 (mm) ※40 ・その他 () 発注強度 ※18N/mm ² ・16N/mm ² (N/mm ²) スランプ ※15又は18 ・その他 () *従来の「10. 床コンクリートこて仕上げ」は左官工事へ転記 ※1週及び4週の圧縮強度試験を行うこととし、特に4週の圧縮強度については現場における「水中養生」とし、(財)沖縄県建設技術センターその他が行う試験とする。

章	項	目	特	記	事	項
7	鉄骨工事	1. 鉄骨の製作工場 (7.1.3)	建設省告示第1103号第2号に基づく大臣認定を受けた鉄骨製作工場(建築工事施工監理指針参照) ・S類・A類・B類・C類・D類・E類・F類・G類・H類・I類・J類・K類・L類・M類・N類・O類・P類・Q類・R類・S類・T類・U類・V類・W類・X類・Y類・Z類 (社)鉄骨建設業協会の分類 (社)全国鉄構工業連合会の分類			
		2. 施工管理技術者 (7.1.4)	※適用する ・適用しない			
		3. 鋼材の種類 (7.2.1)	材質 ※図示 ・その他() 規格 ※JIS規格品 7.2.10の材料試験に合格するもの			
		4. ボルトの種類 (7.2.2)	高力ボルト ・JISの高力ボルト トルシア形高力ボルト ※溶融亜鉛メッキ高力ボルト(建設大臣一般認定品 F8T相当品) 普通ボルト ※表7.2.4による アンカーボルトの材質 ※SNR400B ・その他()			
		5. ターンバックル (7.2.6)	規格 ※JIS A5540の規格品 鋼の種類 ※割板式 ・パイプ式 ボルトの種類 ※羽子板ボルト ・両ネジボルト ・アイボルト			
		6. 製作精度 (7.3.2)	※(社)日本建築学会「鉄骨精度検査基準」による (「建築工事標準仕様書・同解説JASS6鉄骨工事」の付則参照) ・その他()			
		7. 溶接部の検査 (7.3.2)	試験の種類 試験箇所 試験数 試験の種類 ・超音波探傷試験 完全溶込み溶接 抜取率 抜取方法 ・マクロ試験 エンドタブ使用			
		8. 錆止め塗料 (7.6.11)	※表17.3.1のB種による ・その他()			
		9. 耐火被覆 (7.9.1~6)	耐火被覆の種類等 種別 材料及び工法 備考 ・ラス張りモルタル塗り 15章2節による 7.9.4による ・耐火材吹付け ロックウール ・乾式 ・半乾式 7.9.5による セラミック系 ロックウール ・湿式(コテ仕上げ) 7.9.5による ・耐火板張り 7.9.6による ・セラミック系湿式耐火被覆材は、新日鐵化学株式会社 ウエットIIと同等以上とする。			
		10. アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3)	種別 ・A種 ※B種 C種 (表7.10.1)			
		11. 柱底均しモルタル (7.10.3)	工法 ・A種 ※B種 A種の工法を採用するときの無収縮モルタルの製造所() (表7.10.2)			
		12. 鉄骨材の表面仕上 (7.12.1~7)	溶融亜鉛めっき ・A種 ※B種 ・その他() (表14.2.2)			
		13. ホイストレール工事	ホイストレール(I-400×150)は下記の工事区分とする。 ・ホイストレール(I-400×150)は(株)キートン福岡営業所が加工、制作、塗装を行う。 ・ホイストレールの取付け、レールの継ぎ部溶接は建築工事請負業者の工事とする。 ・ホイストレールにかかる法的手続は(株)東京機械製作所が行う。			

3. 塗膜防水 (9.4.2)

④ シーリング用材料 (9.5.2) (10.2.3) (10.3.2) (11.4.3) (15.7.4) (16.9.2)

5. ゴムアスファルト防水

⑥ 補償規定

⑦ 施工及び材料

8. 脱気絶縁複合防水

9. その他

8	コンクリート・ブロック・A・ALCパネル	1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.4)	ブロックの種類等 ※C種普通ブロック(厚さ 100、150mm) コンクリート強度(N/mm ²) 用途 設計基準強度 呼び強度 充填用 18以上 21以上 上記以外 ※21以上 ※24+T		
		2. コンクリートブロック張壁及び塀 (8.3.2)	ブロックの種類 ※表8.3.1による ブロックの厚さ 180mm ※180<180 ※その他() *Tは北部地域等の冬の1時間の気温補正 *呼び強度は規格品コンクリートを想定		
		3. ALCパネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4)	種類 ・外壁用パネル ・間仕切用パネル ・床用パネル 目地用鉄筋の種類 ※SD295A-D10 ・その他() 外壁パネル取付種別 ※SD295A-D10 ・その他() 間仕切用パネル取付種別 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種		
		4. 押出成形セメント板 (8.5.2) (8.5.3) (8.5.4)	パネルの種類、表面形状、寸法(フラットパネル t=60mm/m 耐火性能有り) パネル製造所 (株式会社ノザフ 三菱マテリアル建材株式会社) 外壁パネル工法の種別 ・A種 ・B種 間仕切壁パネル工法の種別 ・B種 ・C種		
		5. その他			

1. 一般事項 (10.1.3)

② 材料 (10.2.1)

3. 工法等 (10.3.1~3) (10.4.1~3) (10.5.1~3)

9	防水工事	1. アスファルト防水 (9.2.2) (9.2.3)	アスファルトの種類(JIS K2207) ※3種 ・その他() 断熱材 材質 ※JIS A9511 ポリスチレンフォーム3種b ・その他() 厚さ(mm) ※25(スキン層付) ・その他() 施工要領 ※設ける ・設けない 種別は(表9.2.5~表9.2.11)より		
		2. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.3.2) (9.3.3)	品質・企画 ※JIS A6008の規格品 種別は(表9.3.1)より		

4. その他 (10.6.2~3) (10.7.2)

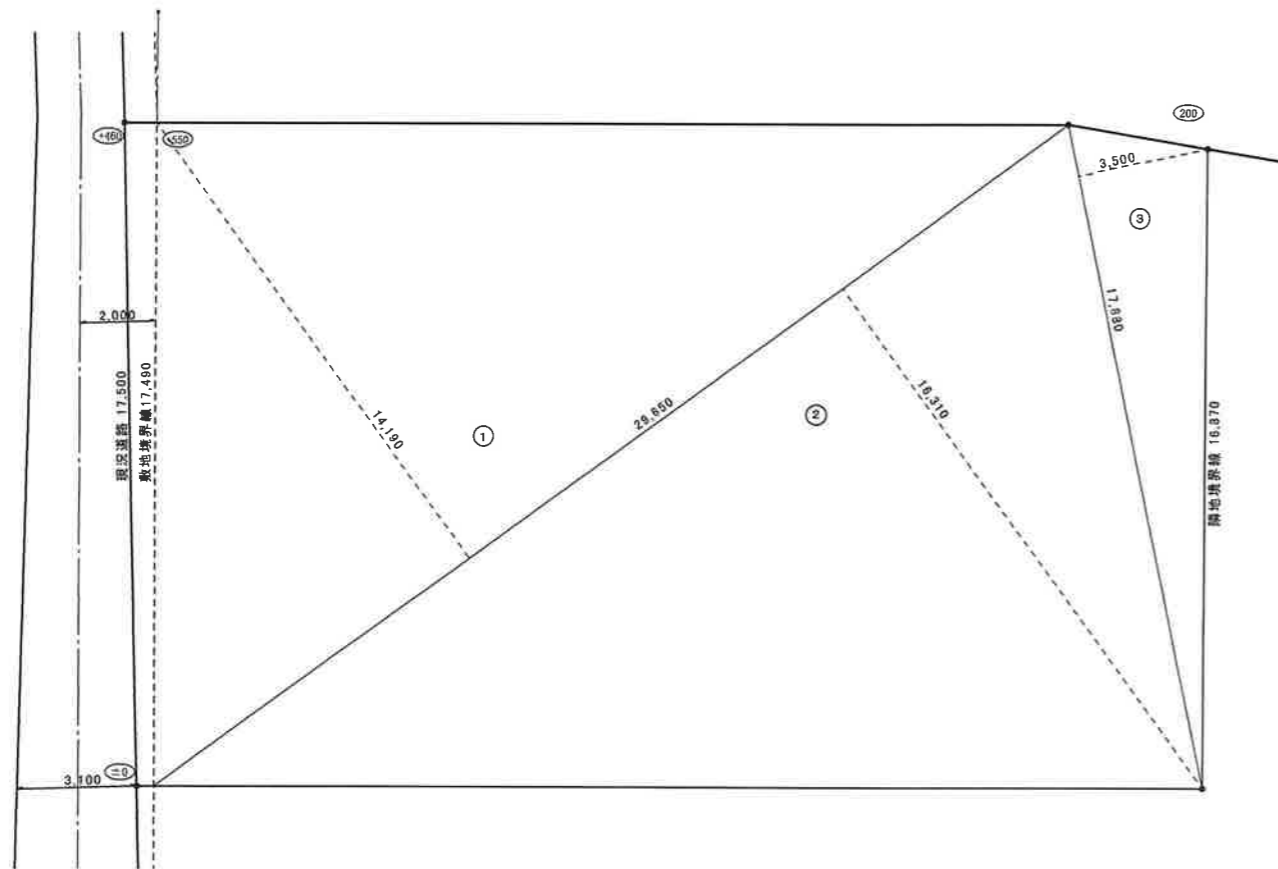
品質・企画 ※JIS A6021の規格品		種別は(表9.4.1~表9.4.2)より	
施工箇所	種別	仕上	備考
屋上スラブ	防水・遮熱	・カラー ・シルバー	
		・カラー ・シルバー	

品質・規格 ※JIS A5758の規格品		種別は(表9.5.1)より	
被着体の組合せ		記号	耐久性による区分
金 属	金属	SR-2	10030
	・方立目地	SR-2	シリコーン系
	・上記以外の目地	MS-2	変成シリコーン系
	・コンクリート	SR-1	シリコーン系
	・ガラス	PS-2	ポリサルファイド系
	・石・タイル	MS-2	変成シリコーン系
	ALC	PU-2	ポリウレタン系
	・仕上げなし	PU-2	変成シリコーン系
	・仕上げあり	PU-2	変成シリコーン系
	・押出成形セメント板	MS-2	変成シリコーン系
コ ン ク リ ー ト	ガラス	SR-1	9030G
	・ガラス	SR-1	シリコーン系
	・石	PS-2	ポリサルファイド系
	・プレキャストコンクリート	MS-2	変成シリコーン系
	打継目地	PS-2	ポリサルファイド系
	ひび割れ誘発目地	PU-2	ポリウレタン系
	・石・タイル	PS-2	ポリサルファイド系
	ALC	MS-2	変成シリコーン系
	・仕上なし	PU-2	ポリウレタン系
	・仕上あり	PU-2	ポリウレタン系
A L C	押出成形セメント板	MS-2	9030
	ALC	PU-2	変成シリコーン系
	表8.4.2のA種	PU-2	ポリウレタン系
	同表B種	AC-1	アクリル系
	・仕上なし	MS-2	変成シリコーン系
	・仕上あり	PU-2	ポリウレタン系
	・仕上なし	MS-2	変成シリコーン系
	・仕上あり	PU-2	ポリウレタン系
	・タイル	PS-2	ポリサルファイド系
	アルミニウム製道具等の工場シール	AC-1	アクリル系

1. 一般事項 (10.1.3)		石材の割付け ※10.1.3による ・その他() 清掃 : 屋内での本磨き ※ワックス使用する ・ワックス使用しない	
② 材料 (10.2.1)		天然石(JIS A5003)	
施工箇所	品 質	産地名	寸 法
図 示	※1等・2等・3等	図 示	図 示
	※1等・2等・3等		
	※1等・2等・3等		
テラゾ(JIS A5411)		仕上げの種類	
施工箇所	寸 法	仕上げの種類	
壁の石張り			
工 法	石材の有効厚さ	石裏面処理及び裏打ち処理	一般目地及び伸縮調整目地
・外壁湿式工法	※25mm以上		一般目地幅 ※6mm以上 伸縮調整目地の位置 ※表11.1.1
・内壁空積工法	※20mm以上		一般目地幅 ※6mm以上 伸縮調整目地の位置 ※6mmごと
・乾式工法	※内壁 25mm以上 外壁 30mm以上		一般目地幅 ※8mm以上
その他の石張り			
石張りの部位	石材の厚さ	石裏面処理及び裏打ち処理	一般目地及び伸縮調整目地
・床の石張り	30		一般目地幅 屋外 m m 屋内 m m 伸縮調整目地 ※床面積3.0㎡、長さ6m以上
・階段の石張り			一般目地幅 屋外 m m 屋内 m m 伸縮調整目地 ※床面積3.0㎡、長さ6m以上

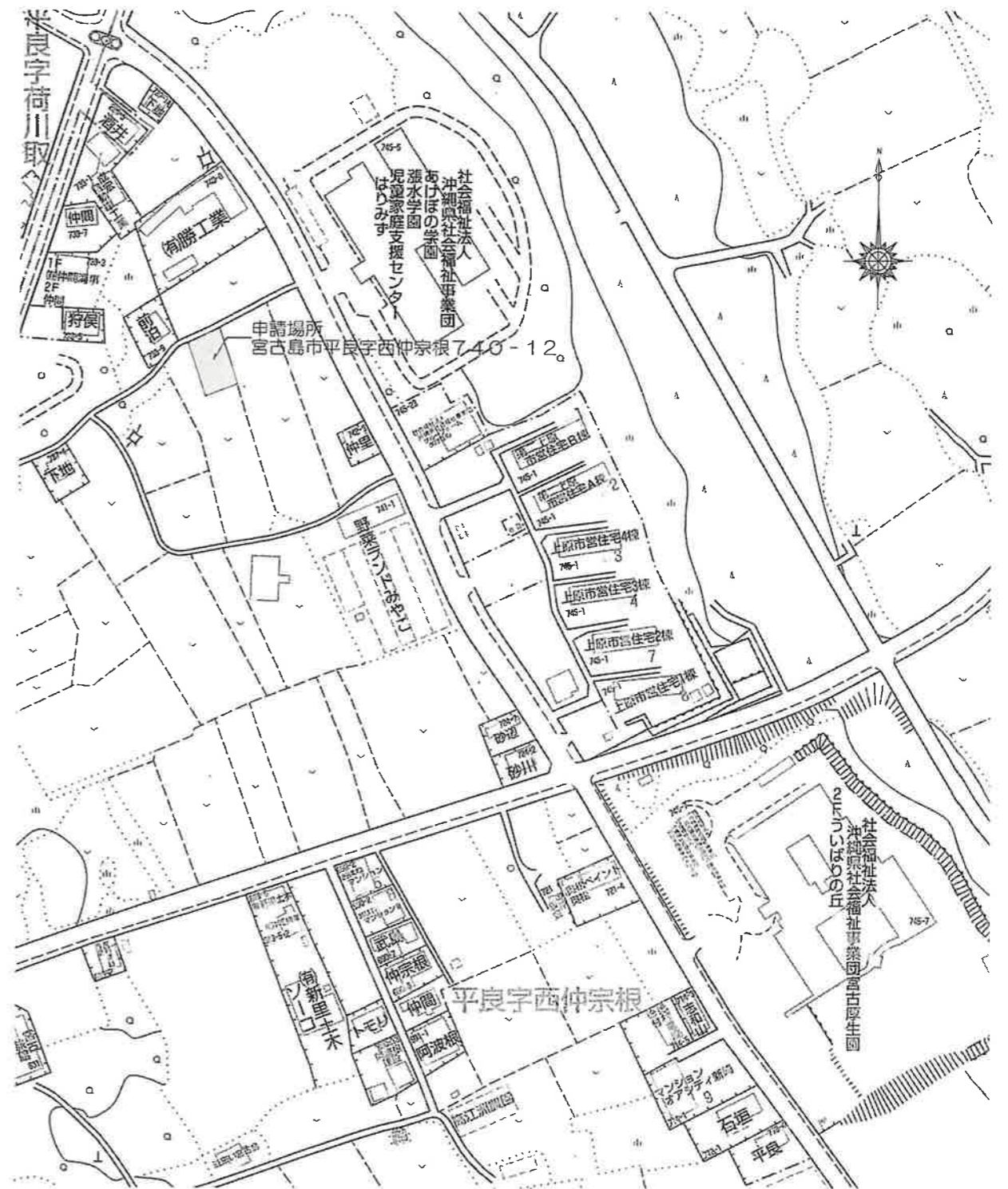
章	項目	特記事項	17 塗装工事	18 内装工事																																																																
16	1. 防火戸 (16.1.3) ② アルミニウム製建具 (16.2.2~16.2.4)	<ul style="list-style-type: none"> 指定あり 指定なし <p>外部に面する建具の性能等級 (JIS A4702, JIS A4706) (表16.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性 (Pa)</th> <th>気密性 (等級)</th> <th>水密性 (Pa)</th> <th>検見込み (mm)</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>S-4 (2000)</td> <td>A-3 (8)</td> <td>W-4 (350)</td> <td>70mm・100mm</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>S-5 (2400)</td> <td>A-3 (8)</td> <td>W-4 (350)</td> <td>70mm・100mm</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>S-7 (3600)</td> <td>A-4 (8)</td> <td>W-5 (500)</td> <td>70mm・100mm</td> </tr> </table> <p>※耐風圧性は、建築基準法に基づく高さに応じた風圧力の数値を満たすものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 防音ドアセット、サッシ 断熱ドアセット、サッシ 耐震ドアセット <p>遮音性の等級： 断熱性の等級： 面内変形追随性の等級：</p> <p>防虫網 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製 (SUS316)</p> <p>表面処理 外部に面する建具の塗膜厚さは、透明合成樹脂塗料の12μm以上とする。 内部建具の塗膜厚さは、透明合成樹脂塗料の12μm以上とする。</p> <p>補強材 外部に面する扉の骨及び補強材の類は、すべてステンレス (SUS304) とする。 強度計算書 提出する。 見本の製作 行う。</p>	種別	耐風圧性 (Pa)	気密性 (等級)	水密性 (Pa)	検見込み (mm)	A種	S-4 (2000)	A-3 (8)	W-4 (350)	70mm・100mm	B種	S-5 (2400)	A-3 (8)	W-4 (350)	70mm・100mm	C種	S-7 (3600)	A-4 (8)	W-5 (500)	70mm・100mm	<p>4. 合成樹脂調合ペイント塗り (17.4.2~17.4.5)</p> <p>5. クリヤラッカー塗り (17.5.2)</p> <p>6. アル樹脂エナメル塗り (17.6.2~17.6.3)</p> <p>7. 塩化ビニル樹脂エナメル塗り (17.7.2)</p> <p>8. アクリル樹脂エナメル塗り (17.8.2)</p> <p>9. つや有合成樹脂エナメルシオンペイント塗り (17.11.2)</p> <p>10. 合成樹脂エナメルシオンペイント塗り (17.12.2)</p> <p>11. 合成樹脂エナメルシオン塗料塗り (17.4.2)</p> <p>12. ウレタン樹脂ワニス塗り (17.15.2)</p> <p>13. マスチック塗料塗り (17.17.2)</p> <p>14. その他 (17.13.2)</p>	<p>鉄面錆止め塗料塗り 見掛け ※A種 見隠れ ※B種 (表17.3.3)</p> <p>亜鉛めっき面錆止め塗料塗り 鋼製建具 ※A種 その他 ※B種 (表17.3.4)</p> <p>塗料の種類 屋外 ・1種 ※2種 屋内 ※1種 ・2種</p> <p>木部合成樹脂調合ペイント塗り ※ (表17.4.1) による</p> <p>鉄面合成樹脂調合ペイント塗り ・A種 ※B種 (表17.4.2)</p> <p>亜鉛めっき面合成樹脂調合ペイント塗り ※ (表17.4.3) による</p> <p>種別 ・A種 ※B種 (表17.5.1)</p> <p>木部フタル酸樹脂エナメル塗り種別 ・A種 ※B種 (表17.6.1)</p> <p>鉄面、亜鉛めっき面フタル酸樹脂エナメル塗り種別 ・A種 ※B種 (表17.6.2)</p> <p>種別 ・A種 ※B種 (表17.7.1)</p> <p>種別 ・A種 ※B種 (表17.8.1)</p> <p>種別 ・A種 ※B種 (表17.11.1)</p> <p>種別 ・A種 ※B種 (表17.12.1)</p> <p>下地がコンクリート、モルタル等の場合の種別 ・A種 ※B種 (表17.14.1)</p> <p>下地が鉄、亜鉛めっき面の場合の種別 ・A種 ※B種 (表17.14.2)</p> <p>種別 ・A種 ※B種 (表17.15.1)</p> <p>種別 ・A種 ※B種 ・C種 (表17.17.1)</p> <p>凸面処理仕上げ 行う。行わない。</p> <p>仕上げ材塗り ・アクリル樹脂エナメル2回塗り ・つや有合成樹脂エナメルシオンペイント2回塗り</p>																																												
	種別	耐風圧性 (Pa)	気密性 (等級)	水密性 (Pa)	検見込み (mm)																																																															
	A種	S-4 (2000)	A-3 (8)	W-4 (350)	70mm・100mm																																																															
	B種	S-5 (2400)	A-3 (8)	W-4 (350)	70mm・100mm																																																															
	C種	S-7 (3600)	A-4 (8)	W-5 (500)	70mm・100mm																																																															
	3. 鋼製建具 (16.3.2, 16.3.4)	<ul style="list-style-type: none"> 簡易機密型ドアセット (気密性: A-3 水密性: W-1) 鋼板類の厚さ ※ (表16.3.2) による 見本の製作 行う。 																																																																		
	4. 鋼製軽量建具 (16.4.2~16.4.3)	<ul style="list-style-type: none"> 簡易気密性ドアセット (気密性: A-3) 召合せ、縦小口包み板等の材質 ・鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金 見本の製作 行う。 																																																																		
	5. ステンレス製建具 (16.5.4~16.5.5)	<p>表面仕上げ ※BA仕上げ ・NO.2B仕上げ ・その他 ()</p> <p>曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>補強材 外部に面する扉の骨及び補強材の類は、すべてステンレス (SUS304) とする。</p>																																																																		
	6. 自動ドア開閉装置 (16.6.2~16.6.3)	<p>開閉方法 ・片引き ・引分け ・片開き (表16.6.1~表16.6.2)</p> <p>センサの種類 ・マット ・電子 (電磁) マット ・光線 (反射) (表16.6.3)</p> <p>・音波 ・光電</p>																																																																		
	7. 木製建具 (16.7.2)	<p>建具材の含水率 ・A種 ※B種 ・C種 (表16.7.1)</p>																																																																		
	8. 建具用金物 (16.8.2~16.8.3) (16.8.5)	<p>(「建築工事標準仕様書・同解説 JASS6 鉄骨工事」の付則参照)</p> <p>金物の適用 ※下記以外は (表16.8.2) による</p> <ul style="list-style-type: none"> モノロック ・シリンドリク箱錠 ・防錆錠 ・ドアクローザ ・ピボットヒンジ 本締め付きモノロック ・シリンドリク本締め付き錠 ・ヒンジクローザ ・フロアヒンジ マスターキー ※製作する ・製作しない 																																																																		
	9. ガラス (16.9.2~16.9.3)	<p>① フロート板ガラス (種類: 単層ガラス 厚さ: 5.0 mm)</p> <p>② 複層ガラス (種類: 複層ガラス 厚さ: 6.0 mm)</p> <p>③ シーリング (種類: シーリング 厚さ: 6.0 mm)</p> <p>④ ガラスの大きさ ※ (表16.9.1) による</p>																																																																		
	10. 重量シャッター (16.10.2)	<p>種類 ・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター</p> <p>開閉機能 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式 (表16.11.1)</p> <p>※電動式の場合、二重安全装置付きとする。</p> <p>防火、防煙以外の場合のシャッターケース ・設ける ・設けない</p>																																																																		
	11. 軽量シャッター (16.11.2~16.11.4)	<p>※電動式の場合、二重安全装置付きとする。</p> <p>スラットの材質 ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・その他 ()</p> <p>スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形</p>																																																																		
	12. アルミニウム製シャッター	<p>スラット形状 ※中空型 1.5mm/㎡ ・その他 ()</p> <p>強度 ※280kg/m²以上</p> <p>シャッターケース ※設置する (アルミニウム製) ・その他 ()</p> <p>開閉機能 ※上部電動式 (手動併用) ・手動式</p> <p>開閉機能 ※上部電動式 (手動併用) ・手動式</p> <p>付属金物 ※ステンレス製 (SUS304) ・その他 ()</p>																																																																		
13. オーバーヘッドドア (16.12.2~16.12.3)	<p>区分 ※アルミニウムタイプ ・スチールタイプ ・ファイバーグラスタイプ</p> <p>開閉方式 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</p> <p>収納形式 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形</p> <p>ガイドレール ※ステンレス製 (SUS304) HL仕上 ・その他 ()</p> <p>付属金物 ※ステンレス製 (SUS304) ・その他 ()</p> <p>・クイックセイバー ・製造所 三和シャッター</p>																																																																			
14. 省エネシャッター																																																																				
15. その他																																																																				
17	1. 材 料 (17.1.3)	<p>防火材料の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定あり (建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるもの) 指定なし 																																																																		
	2. 素地ごしらえ (17.2.2~17.2.7)	<p>木 部 ・A種 ・B種 (表17.2.1)</p> <p>鉄 面 ・A種 ・B種 ※C種 (表17.2.2)</p> <p>亜鉛めっき面 ・A種 ・B種 ・C種 (表17.2.3)</p> <p>○モルタル、プラスター面 ・A種 ※B種 (表17.2.4)</p> <p>せつこうボード等面 ・A種 ※B種 (表17.2.7)</p> <p>鉄面錆止め塗料 屋外 ※A種 屋内 ※A種 ※B種 (表17.3.1)</p> <p>亜鉛めっき面錆止め塗料 ※ (表17.3.2) による</p>																																																																		
	3. 錆止め塗料塗り (17.3.2~17.3.3)																																																																			
18	4. フローリング張り (18.5.2~18.5.7)																																																																			
	5. 壁紙張り (18.6.2)																																																																			
	6. 量数 (18.7.2)																																																																			
19	1. ビニル床シート (18.2.2~18.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>形状</th> <th>施工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ビニル床シート</td> <td>・NC</td> <td>・2.5mm</td> <td>・正方形</td> <td>・熱溶接工法</td> <td>・その他 ()</td> </tr> <tr> <td>・ビニル床タイル</td> <td>・無地</td> <td>・2.5mm</td> <td>・正方形</td> <td>・接着工法</td> <td>・その他 ()</td> </tr> <tr> <td>・帯電防止床シート、床タイル</td> <td>・線状ブロック</td> <td>・2mm</td> <td>・正方形</td> <td>・接着工法</td> <td>・その他 (2.5mm)</td> </tr> <tr> <td>・視覚障害者用床タイル</td> <td>・点状ブロック</td> <td>・300*300</td> <td>・正方形</td> <td>・接着工法</td> <td>・その他 ()</td> </tr> <tr> <td>・その他の特殊機能床材</td> <td>・その他</td> <td>・その他</td> <td>・その他</td> <td>・その他</td> <td>・その他 ()</td> </tr> <tr> <td>・ビニル幅木</td> <td>・厚さ</td> <td>・2mm</td> <td>・その他</td> <td>・その他</td> <td>・その他 ()</td> </tr> <tr> <td>・ゴム床タイル</td> <td>・厚さ</td> <td>・7.5mm</td> <td>・その他</td> <td>・その他</td> <td>・その他 ()</td> </tr> </table> <p>下地の工法 ・モルタル塗り又はコンクリート ・セルフレベリング塗り ・木造 ・その他 ()</p> <p>弾性ウレタン塗り床仕上げの種類 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ (表18.3.3) エポキシ樹脂塗り床仕上げの種類 (表18.3.4~18.3.7) ・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ ・防汚仕上げ</p> <p>・せつこうボード、その他ボード (表18.4.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類又は記号</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	色柄	厚さ	形状	施工法	備考	・ビニル床シート	・NC	・2.5mm	・正方形	・熱溶接工法	・その他 ()	・ビニル床タイル	・無地	・2.5mm	・正方形	・接着工法	・その他 ()	・帯電防止床シート、床タイル	・線状ブロック	・2mm	・正方形	・接着工法	・その他 (2.5mm)	・視覚障害者用床タイル	・点状ブロック	・300*300	・正方形	・接着工法	・その他 ()	・その他の特殊機能床材	・その他	・その他	・その他	・その他	・その他 ()	・ビニル幅木	・厚さ	・2mm	・その他	・その他	・その他 ()	・ゴム床タイル	・厚さ	・7.5mm	・その他	・その他	・その他 ()	規格番号	規格名称	種類又は記号	厚さ (mm)														
	種類	色柄	厚さ	形状	施工法	備考																																																														
	・ビニル床シート	・NC	・2.5mm	・正方形	・熱溶接工法	・その他 ()																																																														
・ビニル床タイル	・無地	・2.5mm	・正方形	・接着工法	・その他 ()																																																															
・帯電防止床シート、床タイル	・線状ブロック	・2mm	・正方形	・接着工法	・その他 (2.5mm)																																																															
・視覚障害者用床タイル	・点状ブロック	・300*300	・正方形	・接着工法	・その他 ()																																																															
・その他の特殊機能床材	・その他	・その他	・その他	・その他	・その他 ()																																																															
・ビニル幅木	・厚さ	・2mm	・その他	・その他	・その他 ()																																																															
・ゴム床タイル	・厚さ	・7.5mm	・その他	・その他	・その他 ()																																																															
規格番号	規格名称	種類又は記号	厚さ (mm)																																																																	
2. 合成樹脂塗床 (18.3.2)																																																																				
3. せつこうボード、その他ボード及び合板張り (18.4.2~18.4.3)																																																																				
20	4. フローリング張り (18.5.2~18.5.7)																																																																			
	5. 壁紙張り (18.6.2)																																																																			
	6. 量数 (18.7.2)																																																																			

18 内装工事	7. カーペット敷き (18.8.3~18.8.4)	<ul style="list-style-type: none"> 織じゅうたん タフテッドカーペット ニードルパンチカーペット タイルカーペット <p>種別: A種 B種 C種 (表18.8.1)</p> <p>種別: A種 B種 (表18.8.2)</p> <p>下敷き材: JIS L3204の第2種2号 厚さ8mm 形状: その他()</p> <table border="1"> <tr> <th>カーペットの種類</th> <th>工法の種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>織じゅうたん</td> <td>グリッパー工法</td> <td>下敷き材を敷く</td> </tr> <tr> <td>タフテッドカーペット</td> <td>グリッパー工法・全面接着工法</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ニードルパンチカーペット</td> <td>全面接着工法</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タイルカーペット</td> <td>タイルカーペット全面接着工法</td> <td>〃</td> </tr> </table>	カーペットの種類	工法の種類	備考	織じゅうたん	グリッパー工法	下敷き材を敷く	タフテッドカーペット	グリッパー工法・全面接着工法	〃	ニードルパンチカーペット	全面接着工法	〃	タイルカーペット	タイルカーペット全面接着工法	〃	<p>21 植栽工事</p> <p>3. 植込み用土 (21.3.2)</p> <p>4. 支柱 (21.3.3)</p> <p>5. 枯損樹木、芝等の補植期間 (21.3.4, 21.3.6)</p> <p>6. 芝 (21.4.2~21.4.3)</p> <p>7. 吹付けは種 (21.4.2)</p> <p>8. その他</p>	<p>※現場発生土</p> <p>材料: ※防腐剤塗リ支柱・鳥居形・焼き丸木・竹</p> <p>工法: ※添え柱形・ハツ掛け・布掛け・ワイヤー支柱・地下埋設形支柱</p> <p>引渡の日から ※1年間・その他(年間)</p> <p>種類: ※こうらい芝・野芝の類</p> <p>工法: ※平地張り・※目地張り・※筋芝張り</p> <p>種子量 (g/m²)</p>																																				
	カーペットの種類	工法の種類	備考																																																				
織じゅうたん	グリッパー工法	下敷き材を敷く																																																					
タフテッドカーペット	グリッパー工法・全面接着工法	〃																																																					
ニードルパンチカーペット	全面接着工法	〃																																																					
タイルカーペット	タイルカーペット全面接着工法	〃																																																					
8. 断熱・防露 (18.9.2~18.9.3)	<p>断熱材打込み工法の材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒューズ法ポリスチレンフォーム (種類: 厚さ: mm) 押出法ポリスチレンフォーム (種類: 厚さ: mm) 硬質ウレタンフォーム (種類: 厚さ: mm) <p>製造所名: 難燃1級 難燃2級 難燃2級A 難燃3級</p> <p>吹付け厚さ: mm</p>	<p>22 カーテンウォール工事</p> <p>1. 性能 (22.1.3)</p> <p>2. メタルカーテンウォール (22.2.2)</p> <p>3. PCカーテンウォール (22.3.3)</p> <p>4. ガラス取付用材料 (9.5.5) (22.2.2) (22.2.3)</p> <p>5. その他</p>	<p>表16.2.1に常する性能基準 (JIS A4706 (サッシュ)) による</p> <table border="1"> <tr> <td>※耐風圧性</td> <td>S-5 S-6</td> <td>耐火性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※耐震性</td> <td></td> <td>耐温度差性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※水密性</td> <td>W-4 W-5</td> <td>遮音性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※気密性</td> <td>A-3 A-4</td> <td>※断熱性</td> <td></td> </tr> </table> <p>種類: ※アルミニウム製 鋼製 ステンレス製</p> <p>仕上げ: 天然石 タイル その他()</p> <p>※シーリング</p> <p>接着性試験: 引張接着性試験 簡易接着性試験</p> <p>構造用カスケット</p>	※耐風圧性	S-5 S-6	耐火性		※耐震性		耐温度差性		※水密性	W-4 W-5	遮音性		※気密性	A-3 A-4	※断熱性																																					
※耐風圧性	S-5 S-6	耐火性																																																					
※耐震性		耐温度差性																																																					
※水密性	W-4 W-5	遮音性																																																					
※気密性	A-3 A-4	※断熱性																																																					
19 舗装工事	1. 路床 (19.2.2)	<p>遮断層の適用: 適用する 適用しない</p> <p>路床安定処理: ※添加材料による安定処理 (厚さ30cm, 目標CBR5以上)</p> <p>路床の盛土材料: 種別 (表3.2.1) A種 B種 C種 D種</p> <p>遮断層用材料: ※海砂 川砂または良質山砂 その他()</p> <p>路床安定処理剤: 表19.2.2より()</p> <p>路床土の支持力比 (CBR) 試験</p> <p>※行う</p> <p>試験方法: 敷地調査共通仕様書 (4章11節) による</p> <p>位置: ※図示</p> <p>深さ: GLー Cmm</p> <p>路床の締固め度の試験: ※行う 行わない</p>	<p>23 ユニット及びその他の工事</p> <p>1. 適用一般 (23.2.2)</p> <p>2. 階段滑り止め (23.2.2)</p> <p>3. フリーアクセスフロア (23.2.4)</p> <p>4. 既製トレイブース (23.2.5)</p> <p>5. ブラインド (23.2.6)</p> <p>6. カーテン (23.2.7)</p> <p>7. コーナービート (23.2.12)</p> <p>8. 点検口</p> <p>9. 鋼製書架及び棚</p> <p>10. かぎ箱</p> <p>11. くつふきマット</p> <p>12. ステンレス流し台</p> <p>13. コンロ台</p> <p>14. つり戸棚</p> <p>15. 水切り棚</p> <p>16. 防震ゴム工事</p> <p>17. エレベーター工事</p> <p>18. 避難器具</p>	<p>2. 路盤 (19.3.2)</p> <p>3. アスファルト舗装 (19.4.1) (19.4.2) (19.4.4) (19.4.5)</p> <p>4. コンクリート舗装 (19.5.3~19.5.4)</p> <p>5. ブロック系舗装 (19.8.3)</p> <p>6. その他の舗装等の適用 (19.6.1) (19.7.3) (19.9.2) (19.10.2)</p> <p>7. その他</p>	<p>下記の仕様に従い、見本又はカタログにより適用する</p> <p>材種: ※ステンレス (SUS304) 製 (ビニールタイヤ入り)</p> <p>幅 (mm): ※35程度 その他()</p> <p>取付工法: ※接着工法 埋込み工法</p> <p>構造材の材質: パネル構造 溝構造</p> <p>構成材の寸法等: 製造所の仕様による</p> <p>表面仕上: ※メラミン樹脂化粧板 (標準色、アルミ製コーナーエッジ付き)</p> <p>製造所: その他()</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>※横型ブラインド</th> <th>縦型ブラインド</th> </tr> <tr> <td>スラットの材質</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※アルミニウム合金製 ・クロス製</td> </tr> <tr> <td>開閉方式</td> <td>※ギヤー式 ・コード式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラットの形成幅 (mm)</td> <td>※25</td> <td>・80 ・100</td> </tr> <tr> <td>昇降テープの材質</td> <td>※ポリエステル繊維</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>名称・品質等</th> <th>ひだの種類</th> <th>形式</th> <th>引分け装置の有無</th> </tr> <tr> <td>リビング、和室</td> <td></td> <td></td> <td>・片引き</td> <td>・有</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・片引き</td> <td>・有</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・片引き</td> <td>・有</td> </tr> </table> <p>カーテンレールの材質: ※ステンレス製</p> <p>形状: ※C形 D形又は角材 その他()</p> <p>材種: ※ステンレス製 (SUS304) アルミニウム合金製</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>名称・品質等</th> <th>寸法</th> <th>タイプ</th> <th>製造</th> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>※アルミニウム製</td> <td>※450×450</td> <td>※額縁タイプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>※アルミニウム製</td> <td>※600×600</td> <td>※目地タイプ</td> <td></td> </tr> </table>	形式	※横型ブラインド	縦型ブラインド	スラットの材質	※アルミニウム合金製	※アルミニウム合金製 ・クロス製	開閉方式	※ギヤー式 ・コード式		スラットの形成幅 (mm)	※25	・80 ・100	昇降テープの材質	※ポリエステル繊維		施工箇所	名称・品質等	ひだの種類	形式	引分け装置の有無	リビング、和室			・片引き	・有				・片引き	・有				・片引き	・有	施工箇所	名称・品質等	寸法	タイプ	製造	天井	※アルミニウム製	※450×450	※額縁タイプ		床	※アルミニウム製	※600×600	※目地タイプ	
	形式	※横型ブラインド	縦型ブラインド																																																				
スラットの材質	※アルミニウム合金製	※アルミニウム合金製 ・クロス製																																																					
開閉方式	※ギヤー式 ・コード式																																																						
スラットの形成幅 (mm)	※25	・80 ・100																																																					
昇降テープの材質	※ポリエステル繊維																																																						
施工箇所	名称・品質等	ひだの種類	形式	引分け装置の有無																																																			
リビング、和室			・片引き	・有																																																			
			・片引き	・有																																																			
			・片引き	・有																																																			
施工箇所	名称・品質等	寸法	タイプ	製造																																																			
天井	※アルミニウム製	※450×450	※額縁タイプ																																																				
床	※アルミニウム製	※600×600	※目地タイプ																																																				
20 排水工事	<p>1. 排水管 (20.2.1)</p> <p>2. 排水桝及びふた (20.2.2)</p> <p>3. 埋め戻し土 (20.2.3)</p> <p>4. その他</p>	<p>材種等</p> <ul style="list-style-type: none"> 遠心力鉄筋コンクリート管 (呼び径 mm) 種類: ※外圧管B型1種 その他() 硬質塩化ビニル管 (呼び径 mm) 種類: VP VU <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形式</th> <th>安全荷重 (kgf)</th> </tr> <tr> <td>鋼鉄製マンホールふた</td> <td>・密閉型</td> <td>・500 (T-2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・木封型</td> <td>・1500 (T-6)</td> </tr> <tr> <td>グレーチングふた</td> <td>受枠付</td> <td>・歩行用</td> </tr> <tr> <td>※鋼製ステンレス製</td> <td></td> <td>・T-14</td> </tr> </table> <p>鋼製グレーチング (枠共) の表面仕上げ</p> <p>※亜鉛めっきA種 その他()</p> <p>表3.2.1による</p> <p>※B種 C種 D種</p>	種類	形式	安全荷重 (kgf)	鋼鉄製マンホールふた	・密閉型	・500 (T-2)		・木封型	・1500 (T-6)	グレーチングふた	受枠付	・歩行用	※鋼製ステンレス製		・T-14	<p>21 植栽工事</p> <p>1. 植栽地の試験 (21.1.3)</p> <p>2. 植栽基盤の整備 (21.2.3~21.2.5)</p>	<p>土壌の酸度及び塩分量の試験</p> <p>※行わない</p> <p>植栽基盤の工法</p> <p>樹木: ※行う (※A種 C種 D種)</p> <p>芝: ※行う (※B種 C種 D種)</p> <p>土壌改良: 行う 行わない</p>																																				
種類	形式	安全荷重 (kgf)																																																					
鋼鉄製マンホールふた	・密閉型	・500 (T-2)																																																					
	・木封型	・1500 (T-6)																																																					
グレーチングふた	受枠付	・歩行用																																																					
※鋼製ステンレス製		・T-14																																																					

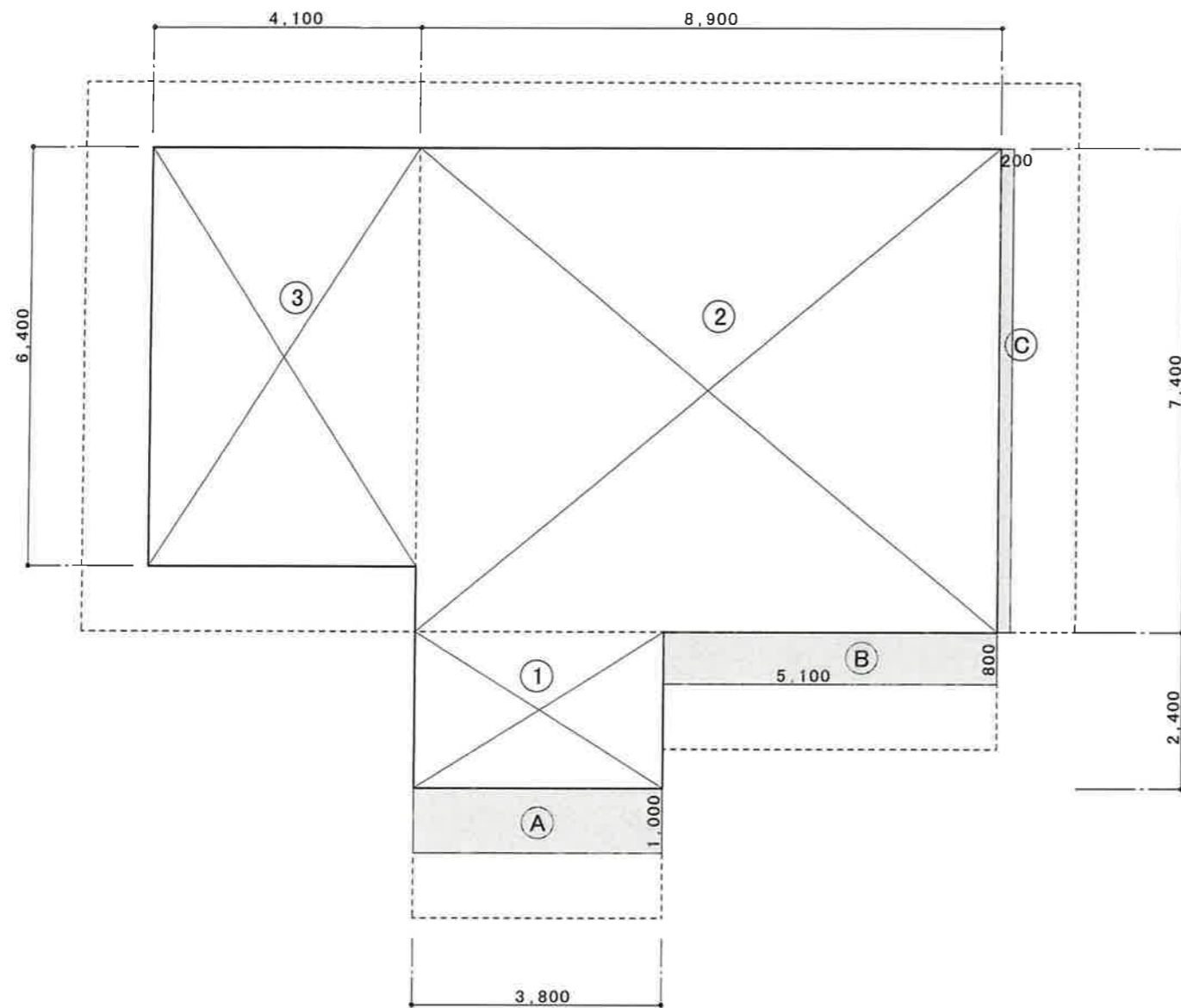


敷地面積 S=1/200

敷地面積	
①	$29.65 \times 14.19 \times 1/2 = 210.3667$
②	$29.65 \times 16.31 \times 1/2 = 241.7957$
③	$17.88 \times 3.50 \times 1/2 = 31.2900$
合計 483.4524㎡	
∴ 483.45㎡ (146.5坪)	



附近見取図 S=1/3000

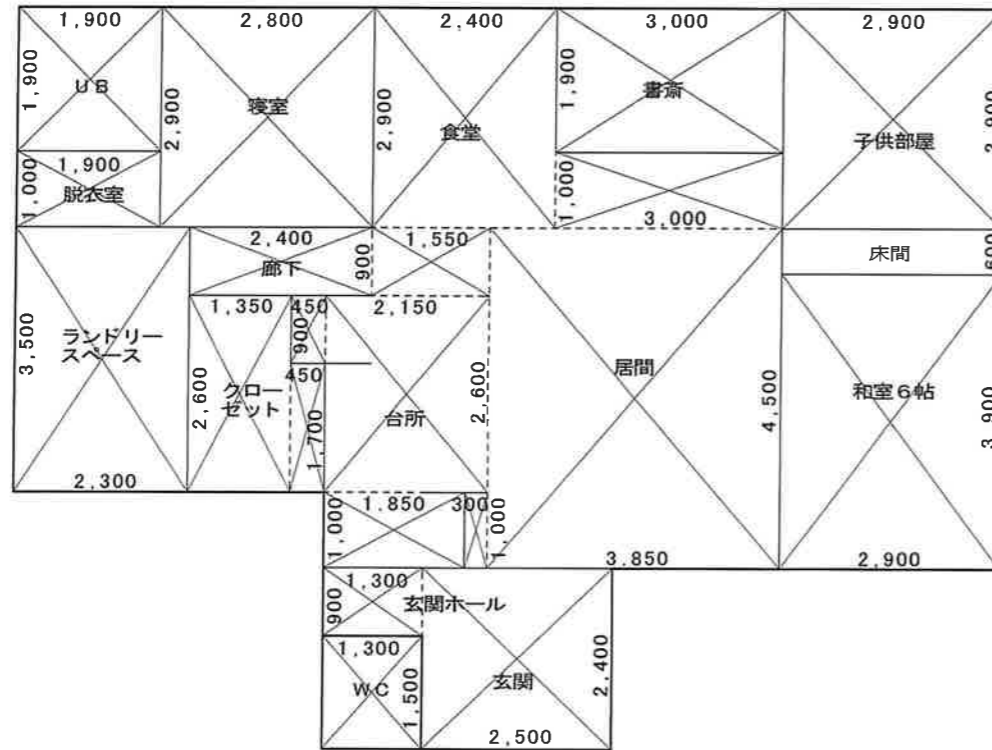


建築面積

①	$3.80 \times 2.40 = 9.12$
②	$8.90 \times 7.40 = 65.86$
③	$6.40 \times 4.10 = 26.24$
A	$3.80 \times 1.00 = 3.80$
B	$5.10 \times 0.80 = 4.08$
C	$7.40 \times 0.20 = 1.48$
小計 110.58㎡	

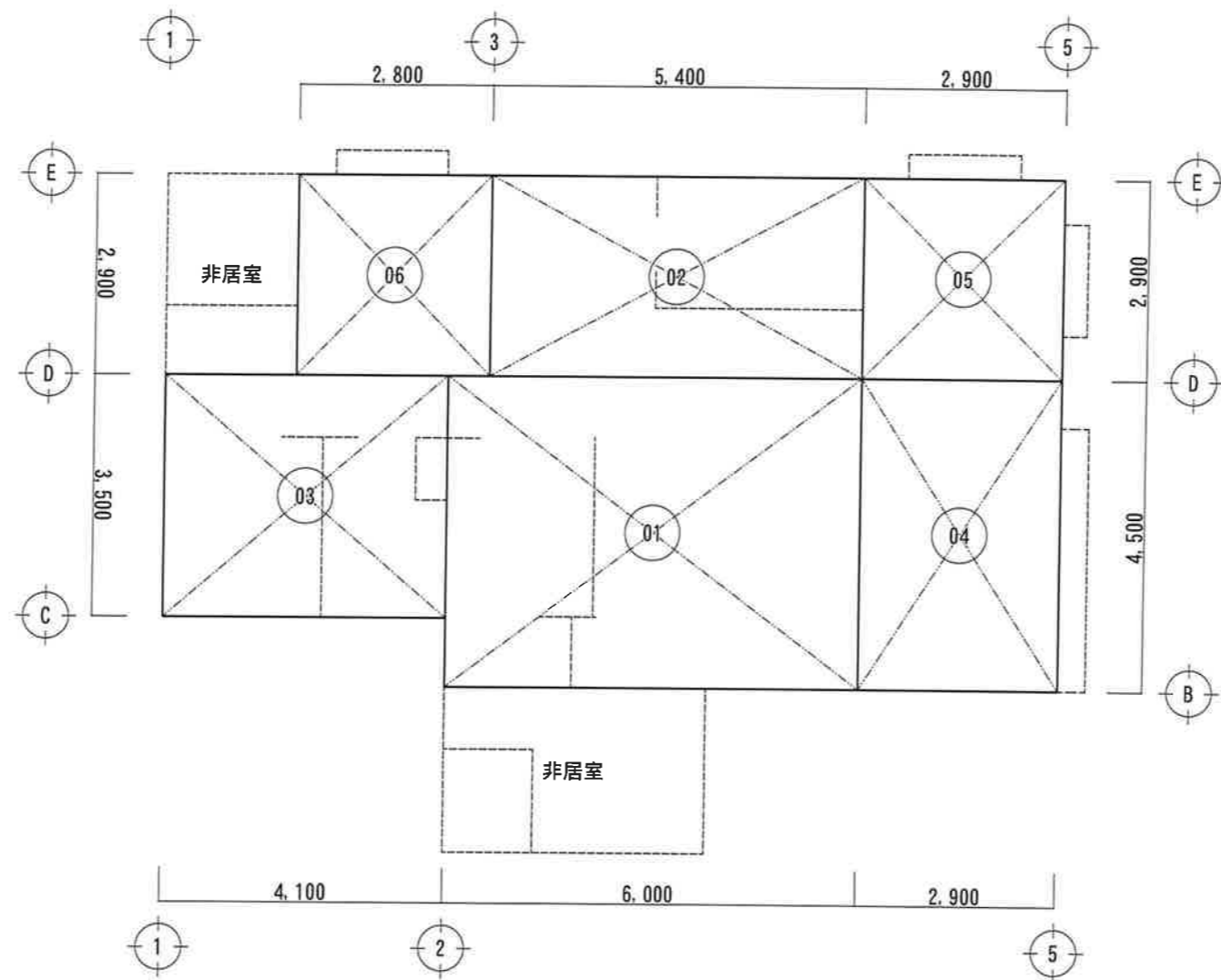
床面積

①	$3.80 \times 2.40 = 9.12$
②	$8.90 \times 7.40 = 65.86$
③	$6.40 \times 4.10 = 26.24$
小計 101.22㎡	



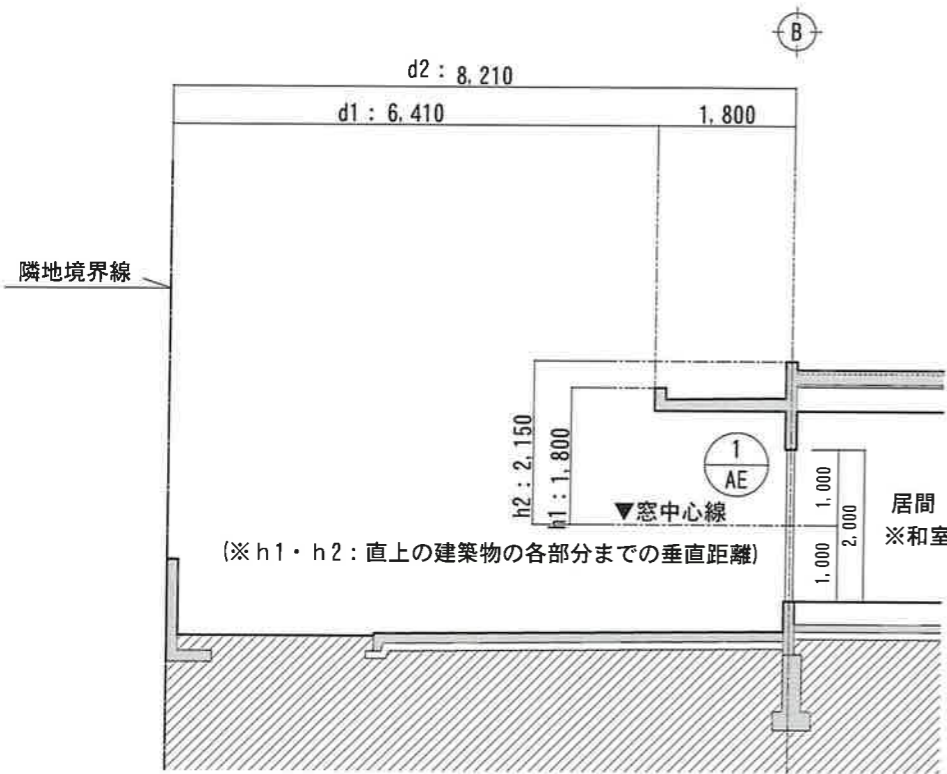
1階 居室毎の床面積（換気経路ではない納戸、押入は対象外）

室名	計算	合計
玄関・玄関ホール	$(2.50 \times 2.40) + (1.30 \times 0.90)$	7.17
W C	1.50×1.30	1.95
居間	$(4.50 \times 3.85) + (3.00 \times 1.00) + (1.00 \times 0.30)$	20.625
台所	$(2.60 \times 2.15) + (0.90 \times 0.45) + (1.85 \times 1.00)$	7.845
食堂	2.90×2.40	6.96
和室6帖	3.90×2.90	11.31
子供部屋	2.90×2.90	8.41
書斎	3.00×1.90	5.70
寝室	2.90×2.80	8.12
クローゼット	$(2.60 \times 1.35) + (1.70 \times 0.45)$	4.275
ランドリースペース	3.50×2.30	8.05
洗面脱衣室	1.90×1.00	1.90
浴室（UB）	1.90×1.90	3.61
廊下	$(2.40 \times 0.90) + (1.55 \times 0.90)$	3.555
	合計	99.48㎡

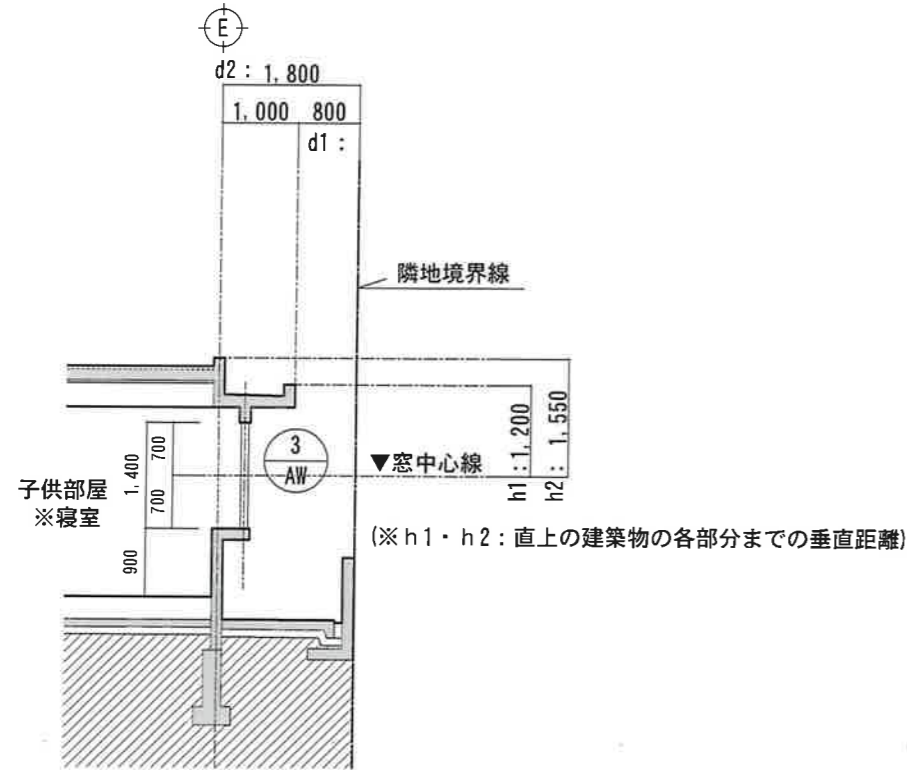


居室床面積求積図 S=1 : 100

■居室別床面積算定表					(単位 m ²)	
階	室名	記号	計算式	面積	計	
1階	LDK+書斎 (ラフト・リスペース) (クローゼット)	01	6.000 × 4.500	27.000	57.010	
		02	5.400 × 2.900	15.660		
		03	4.100 × 3.500	14.350		
	和室	04	2.900 × 4.500	13.050	13.050	
	子供部屋	05	2.900 × 2.900	8.410	8.410	
	寝室	06	2.800 × 2.900	8.120	8.120	
計					86.59 m ²	



部分断面図-A S=1: 100



部分断面図-B S=1: 100

○居室の有効採光率の判定

※採光補正係数: $A=d/h \times \alpha - \beta$, $\alpha=10.0$, $\beta=1.0$ ただし、 $A \leq 3$ とする。
 ・無指定区域: $\alpha=10.0$, $\beta=1.0$
 ・h: 窓の中心から直上の建築物の各部分までの垂直距離
 ・d: 窓の直上にある建築物の各部分から隣地境界線等までの水平距離
 ※同条件の場合、厳しい方で算出する。

■LDK+書斎(ワン・リス・ス・ス、加・ゼット) (法28条: 住宅の居室)

計算式① $6.41(d1) \div 1.80(h1) \times 10 - 1 = 34.61$
 計算式② $8.21(d2) \div 2.15(h2) \times 10 - 1 = 37.18$
 ※上記計算式の内、条件の厳しい①を採用。≥3 の為、補正係数は「3」とする。
 有効採光計算式(令第116条の2第1項第一号)
 ・必要採光面積: $57.01 \div 7 = 8.15m^2$
 ・有効採光面積
 AE-1: $1.70 \times 2.00 \times 3$ (補正係数) = $10.20m^2$
 ・判定: $10.20m^2 > 8.15m^2$. . . OK

■和室(法28条: 住宅の居室)

計算式① $6.41(d1) \div 1.80(h1) \times 10 - 1 = 34.61$
 有効採光計算式(令第116条の2第1項第一号)
 ・必要採光面積: $13.05 \div 7 = 1.87m^2$
 ・有効採光面積
 AE-1: $1.70 \times 2.00 \times 3$ (補正係数) = $10.20m^2$
 ・判定: $10.20m^2 > 1.87m^2$. . . OK

■子供部屋(法28条: 住宅の居室)

計算式① $0.80(d1) \div 1.20(h1) \times 10 - 1 = 5.66$
 計算式② $1.80(d2) \div 1.55(h2) \times 10 - 1 = 10.61$
 ※上記計算式の内、条件の厳しい①を採用。≥3 の為、補正係数は「3」とする。
 有効採光計算式(令第116条の2第1項第一号)
 ・必要採光面積: $8.41 \div 7 = 1.20m^2$
 ・有効採光面積
 AW-3: $1.40 \times 1.10 \times 3$ (補正係数) = $4.62m^2$
 ・判定: $4.62m^2 > 1.20m^2$. . . OK

■寝室(法28条: 住宅の居室)

計算式① $0.80(d1) \div 1.20(h1) \times 10 - 1 = 5.66$
 計算式② $1.80(d2) \div 1.55(h2) \times 10 - 1 = 10.61$
 ※上記計算式の内、条件の厳しい①を採用。≥3 の為、補正係数は「3」とする。
 有効採光計算式(令第116条の2第1項第一号)
 ・必要採光面積: $8.12 \div 7 = 1.16m^2$
 ・有効採光面積
 AW-3: $1.40 \times 1.10 \times 3$ (補正係数) = $4.62m^2$
 ・判定: $4.62m^2 > 1.16m^2$. . . OK

○居室の有効換気の判定

■LDK+書斎(ワン・リス・ス・ス、加・ゼット)

・必要換気面積: $57.01 \div 20 = 2.85m^2$
 ・有効換気面積
 AE-1(引違い): $1.70 \times 2.00 \times 0.5 = 1.70m^2$
 AW-4(引違い): $1.60 \times 0.40 \times 0.5 \times 2$ カ所 = $0.64m^2$
 AW-6・AW-7(突出し): $0.40 \times 0.40 \times 2$ カ所 = $0.32m^2$
 AW-8(突出し): $0.50 \times 0.40 = 0.20m^2$
 ・判定: $2.86m^2 > 2.85m^2$. . . OK

■和室

・必要換気面積: $13.05 \div 20 = 0.66m^2$
 ・有効換気面積
 AE-1(引違い): $1.70 \times 2.00 \times 0.5 = 1.70m^2$
 ・判定: $1.70m^2 > 0.66m^2$. . . OK

■子供部屋

・必要換気面積: $8.41 \div 20 = 0.43m^2$
 ・有効換気面積
 AW-3(引違い): $1.40 \times 1.10 \times 0.5 = 0.77m^2$
 ・判定: $0.77m^2 > 0.43m^2$. . . OK

■寝室

・必要換気面積: $8.12 \div 20 = 0.41m^2$
 ・有効換気面積
 AW-3(引違い): $1.40 \times 1.10 \times 0.5 = 0.77m^2$
 ・判定: $0.77m^2 > 0.41m^2$. . . OK

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2026.3	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号	A-11-b
		工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名	法規チェック図		縮尺	S=1/100・60

内部仕上表

室名	天井高	床		巾木	壁		天井		廻り縁	備考			
		塗装	下地		塗装	下地	塗装	下地					
玄関	2,680	300角磁器質タイル	-	石(マ-フィル)	-	ア)12.5石膏ボード下地、ビニールクロス貼り	-	GLI法	ア)9石コウボード下地、ビニールクロス貼り	-	軽量鉄骨	塩ビ製	下駄箱(造付)
玄関ホール	2,500	床置下地の上、ア)12耐水合板下地の上 ノダJネクシオ(同等品)貼り	-	製品巾木 H-60	-	同上	-	GLI法	同上	-	軽量鉄骨	塩ビ製	
WC	2,300	磁器質タイル 150×600	-	-	-	腰壁H-1050:磁器質床タイル 150×600 壁H-1250:ア)12.5耐水石膏ボード下地、ビニールクロス貼り	-	-	バスリブ天井	-	軽量鉄骨	塩ビ製	
居間	2,650	床置下地の上、ア)12耐水合板下地の上 ノダJネクシオ(同等品)貼り	-	製品巾木 H-60	-	同上	-	GLI法	ア)9石コウボード下地、ア)9ロックウール吸音板貼り	-	軽量鉄骨	塩ビ製	棚(造付)
台所	2,500	同上	-	製品巾木 H-60	-	同上	-	GLI法	ア)9石コウボード下地、ビニールクロス貼り	-	軽量鉄骨	塩ビ製	
食堂	2,500	同上	-	製品巾木 H-60	-	同上	-	GLI法	同上	-	軽量鉄骨	塩ビ製	
書斎	2,500	同上	-	製品巾木 H-60	-	同上	-	GLI法	同上	-	軽量鉄骨	塩ビ製	収納
子供部屋	2,500	同上	-	製品巾木 H-60	-	同上	-	GLI法	同上	-	軽量鉄骨	塩ビ製	収納棚、φ38ハンガーパイプ
寝室	2,500	同上	-	製品巾木 H-60	-	同上	-	GLI法	同上	-	軽量鉄骨	塩ビ製	
和室6帖	2,500	床置下地の上、ア)12耐水合板下地の上 タタミ敷	-	タタミ寄せ	-	同上	-	GLI法	同上	-	軽量鉄骨	塩ビ製	
廊下	2,500	床置下地の上、ア)12耐水合板下地の上 ノダJネクシオ(同等品)貼り	-	製品巾木 H-60	-	同上	-	GLI法	同上	-	軽量鉄骨	塩ビ製	
ウォークイン クローゼット	2,500	同上	-	製品巾木 H-60	-	同上	-	GLI法	同上	-	軽量鉄骨	塩ビ製	内部収納棚 φ38ハンガーパイプ付
ランドリー スペース	2,500	同上	-	製品巾木 H-60	-	同上	-	GLI法	同上	-	軽量鉄骨	塩ビ製	棚、物入(造付)
洗面脱衣室	2,400	床置下地の上、ア)12耐水合板下地の上 ノダJネクシオ(同等品)貼り	-	製品巾木 H-60	-	ア)12.5耐水石膏ボード下地、ビニールクロス貼り	-	GLI法	バスリブ天井	-	軽量鉄骨	塩ビ製	棚(造付)
浴室(UB)	2,100	ユニットバス(別途工事)									軽量鉄骨	塩ビ製	

外部仕上表

屋根	コンクリート金コテ仕上げの上、遮熱断熱防水塗装
外壁	コンクリート補修の上、吹付タイルRE仕様(小柄模様)
縦樋	φ75塩ビパイプ(カラー管)
建具	アルミサッシ(ブラック)80、100mm アルミ雨戸(ブラック)
玄関ポーチ	コンクリート洗いだし仕上
デッキテラス	150×600磁器質タイル貼り(デッキタイル)
犬走り	コンクリート直均し目地切仕上げ(溶接金網 5×150×150)
アプローチ	コンクリート洗いだし仕上

特記事項

1.仕上表に表示されている塗装記号は、下記の通りとする。 使用塗料材は全て、大臣認定品又は、F☆☆☆☆とする。	4.シックハウス対策 ホルムアルデヒドとして、内装材、建具、棚類、及び施工材 (接着剤、塗料)は全て、大臣認定品又はF☆☆☆☆の建材 を使用する事。
UC.....ウレタン樹脂マニス塗 CL.....クリヤーラッカー塗 FT-1...内装薄塗材 E FT-2...防水形複層塗材 E EP.....合成樹脂エマルジョンペイント塗 EP-G...つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗 ACL.....アクリルクリアー塗 SOP.....合成樹脂調合ペイント塗	
2.造作材 特記なき場合、メラビー材(防虫、防蟻処理を施すこと)	
3.構造材 特記なき場合、杉材(防虫、防蟻処理を施すこと)	

特記事項 用途地域：無指定

容積率：200%

建ぺい率：60%

(有) 都一級建築設計事務所

〒906-0013

宮古島市平良字下里1379-5

TEL:(0980)72-7104

FAX:(0980)73-3813

工事名称

楚南邸新築工事

工事場所

宮古島市平良字西仲宗根740-12

年月日

2026.3

図面名

仕上表

縮尺

S=1/100

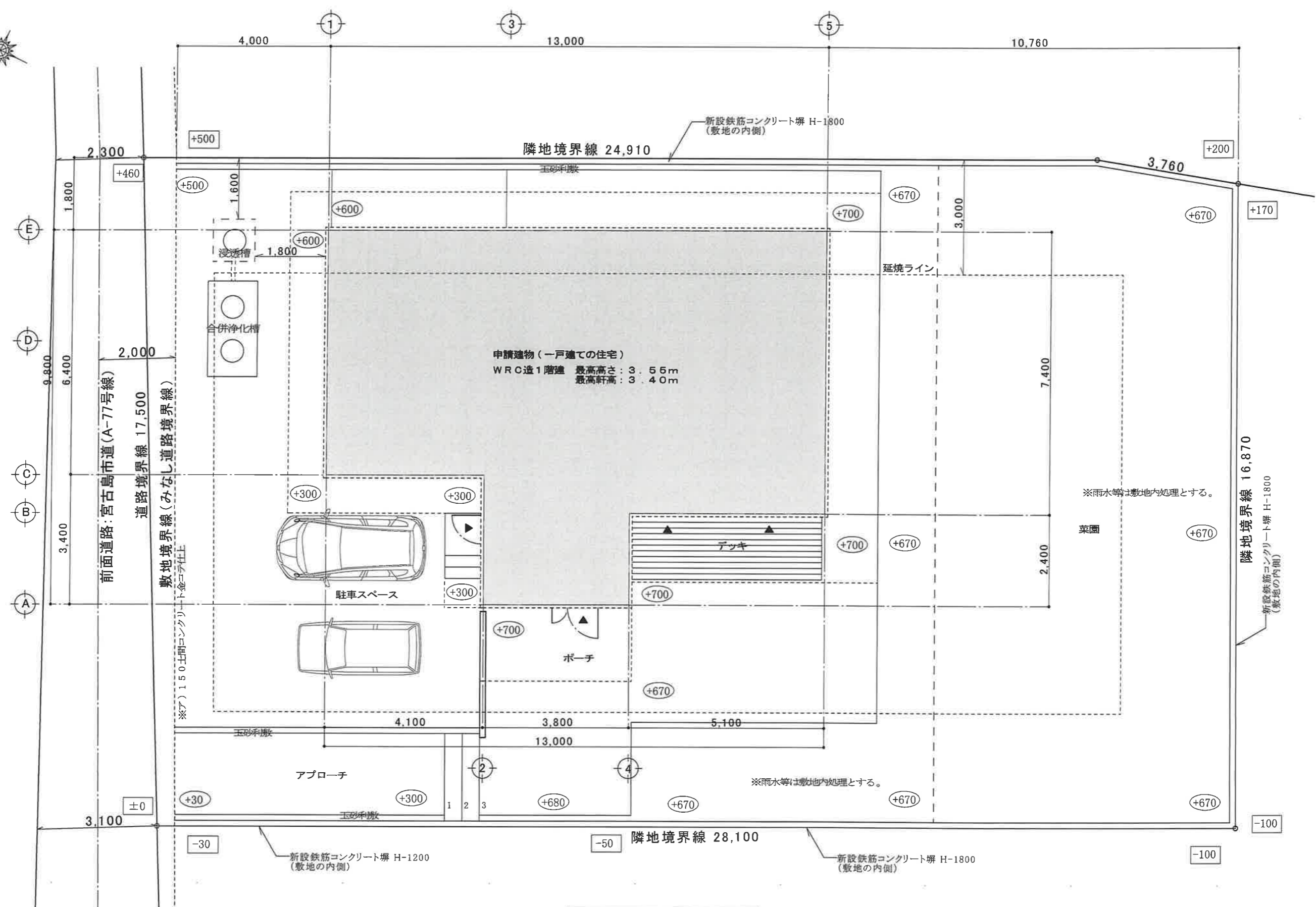
沖縄県知事事務所登録147-442

一級建築士大臣登録第157466号

垣花正昭 印

図面番号

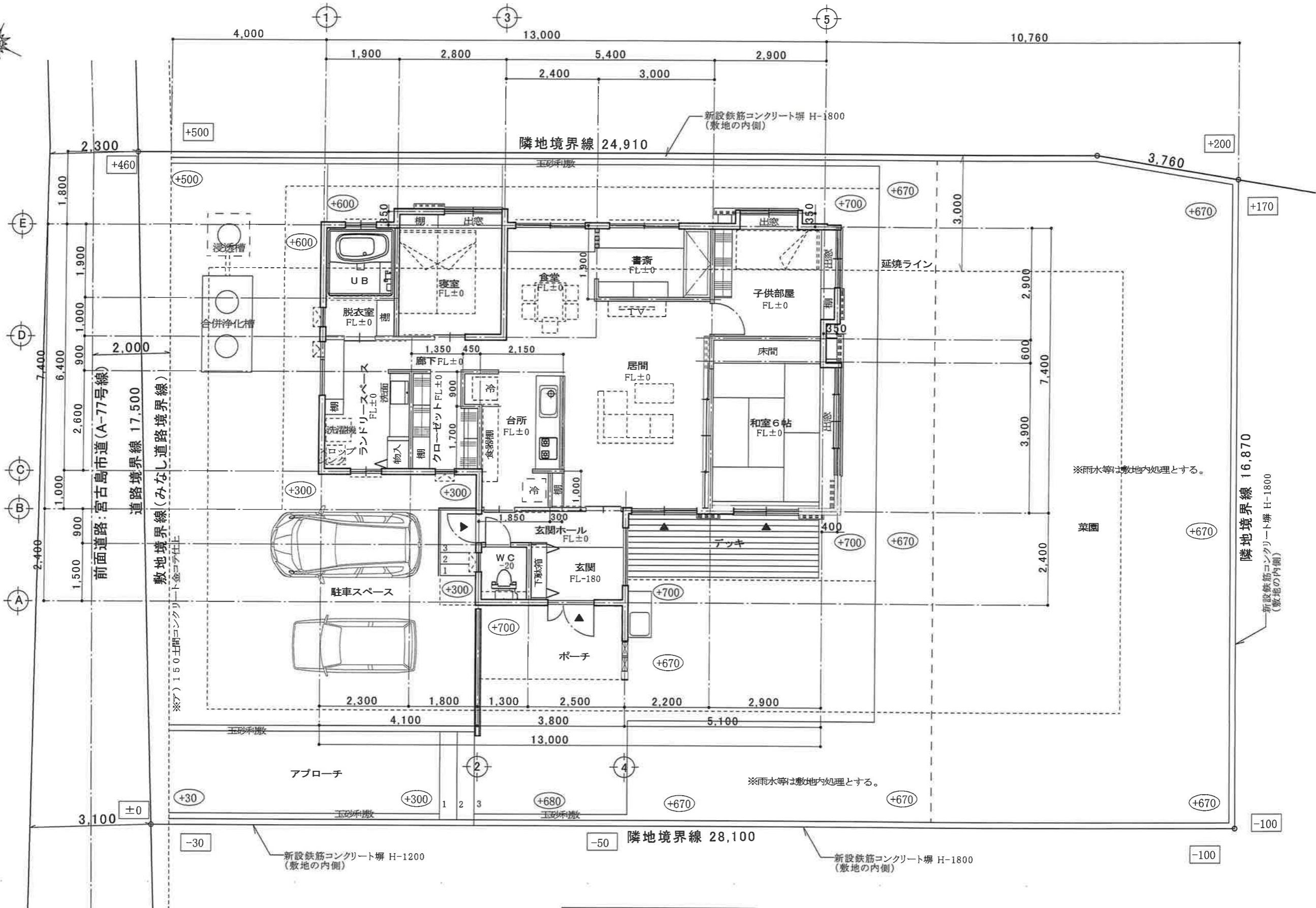
A-12



配置図 S=1/100

■凡例 ○: 計画高さ □: 現況高さ

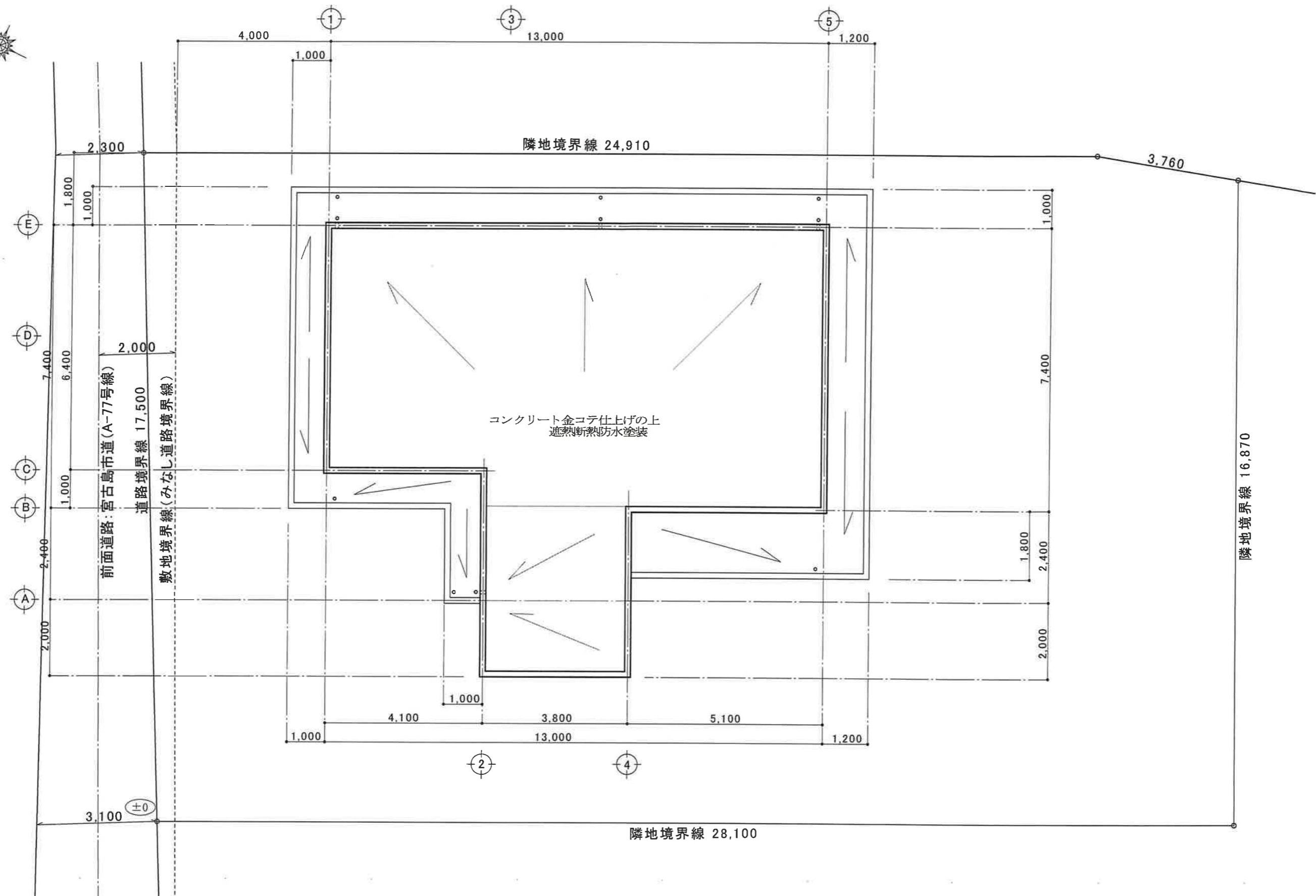
特記事項 用途地域: 無指定 容積率: 200% 建ぺい率: 60%	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813		工事名称 越南邸新築工事 工事場所 宮古島市平良字西仲宗根740-12	年月日 2026.3 図面名 配置図 縮尺 S=1/100	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-13



平面図 S=1/100

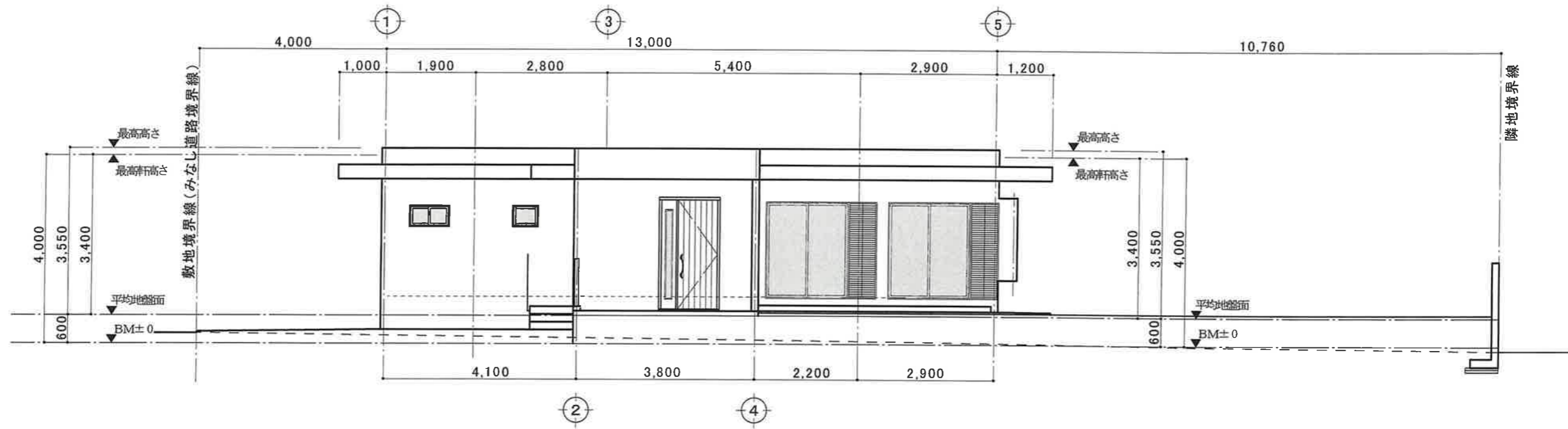
- 凡例 ○: 計画高さ
□: 現況高さ

特記事項 用途地域: 無指定 容積率: 200% 建ぺい率: 60%	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813		工事名称 楚南邸新築工事 工事場所 宮古島市平良字西仲宗根740-12	年月日 2026.3 図面名 平面図 縮尺 S=1/100	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-14

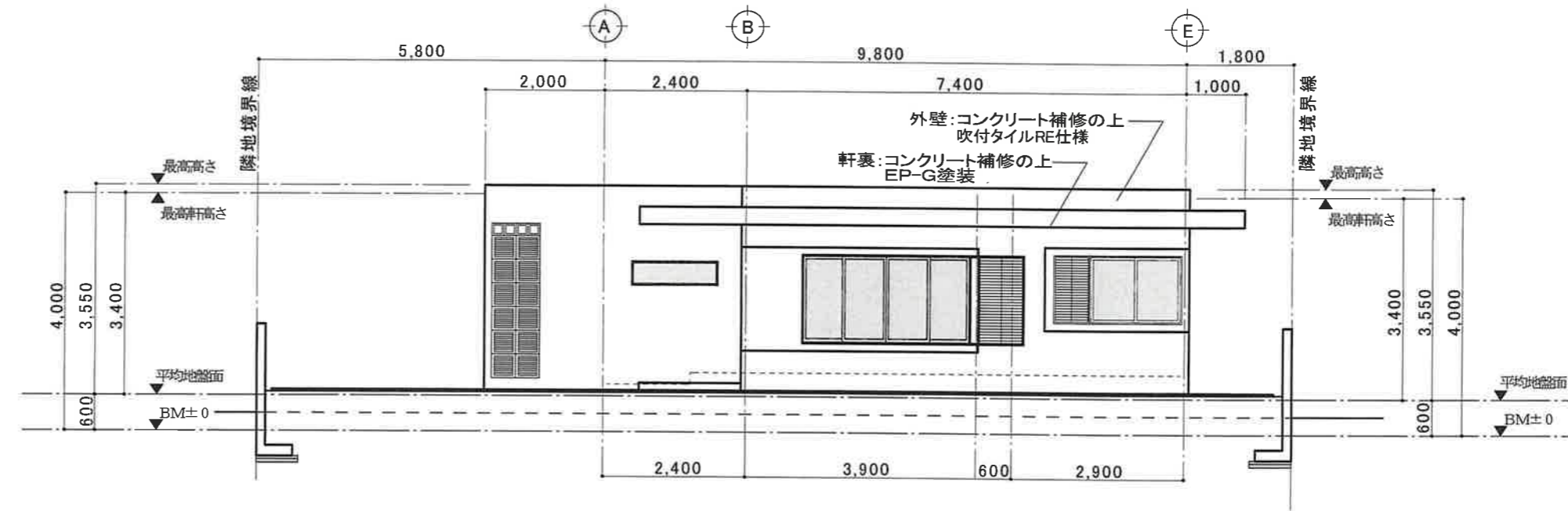


屋根伏図 S=1/100

特記事項 用途地域：無指定 容積率：200% 建ぺい率：60%	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL：(0980) 72-7104 FAX：(0980) 73-3813	工事名称 楚南邸新築工事	年月日 2026.3	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-15
		工事場所 宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名 屋根伏図		
		縮尺 S=1/100			

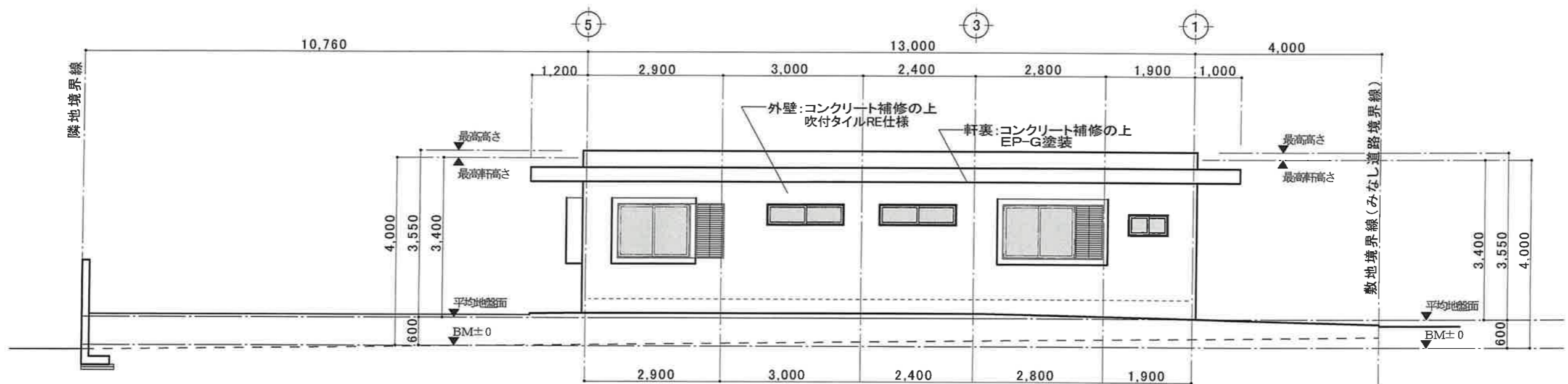


西側立面図 S=1/100

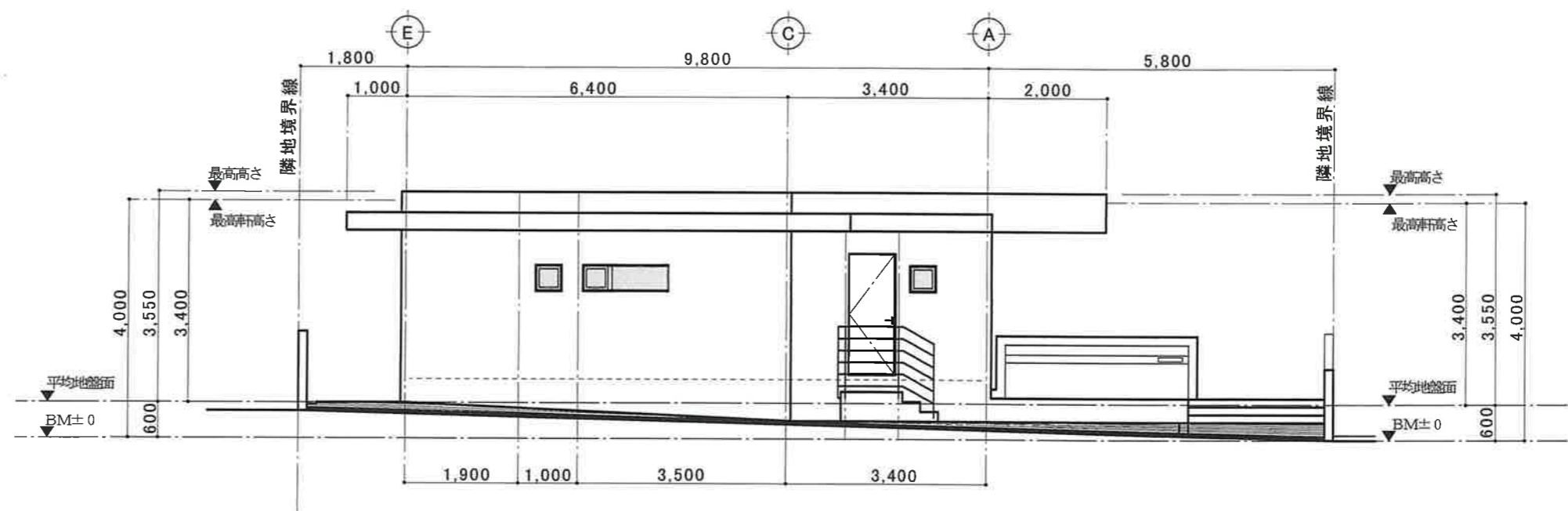


南側立面図 S=1/100

特記事項 用途地域：無指定 容積率：200% 建ぺい率：60%	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL：(0980) 72-7104 FAX：(0980) 73-3813	工事名称 楚南邸新築工事	年月日 2026.3	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-16
		工事場所 宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名 立面図(1)		
		縮尺 S=1/100			

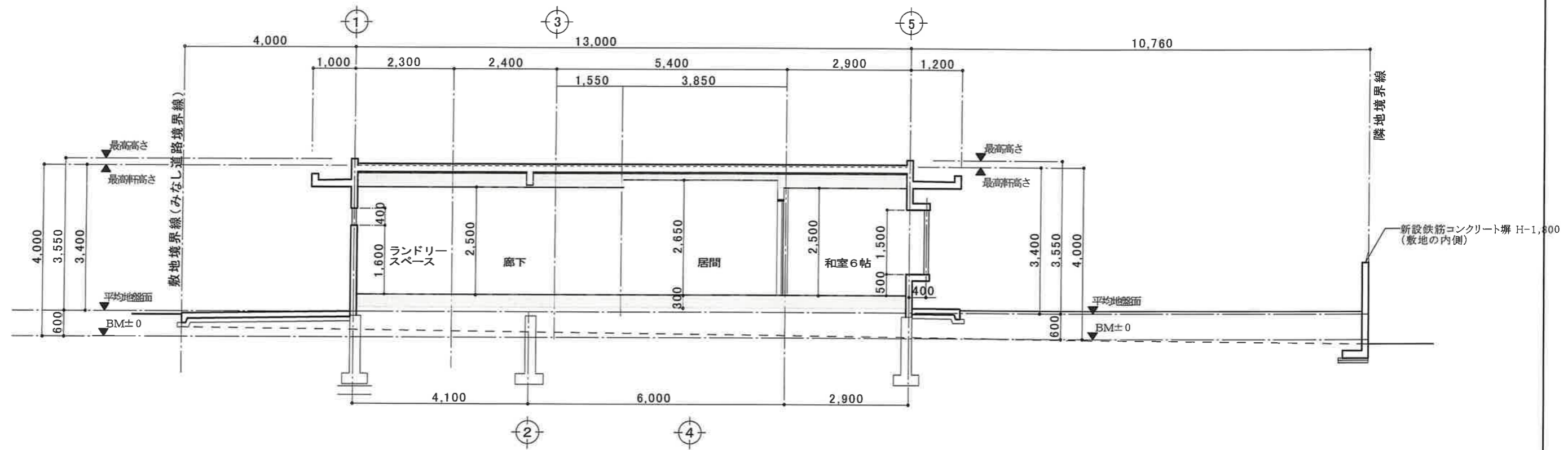


東側立面図 S=1/100

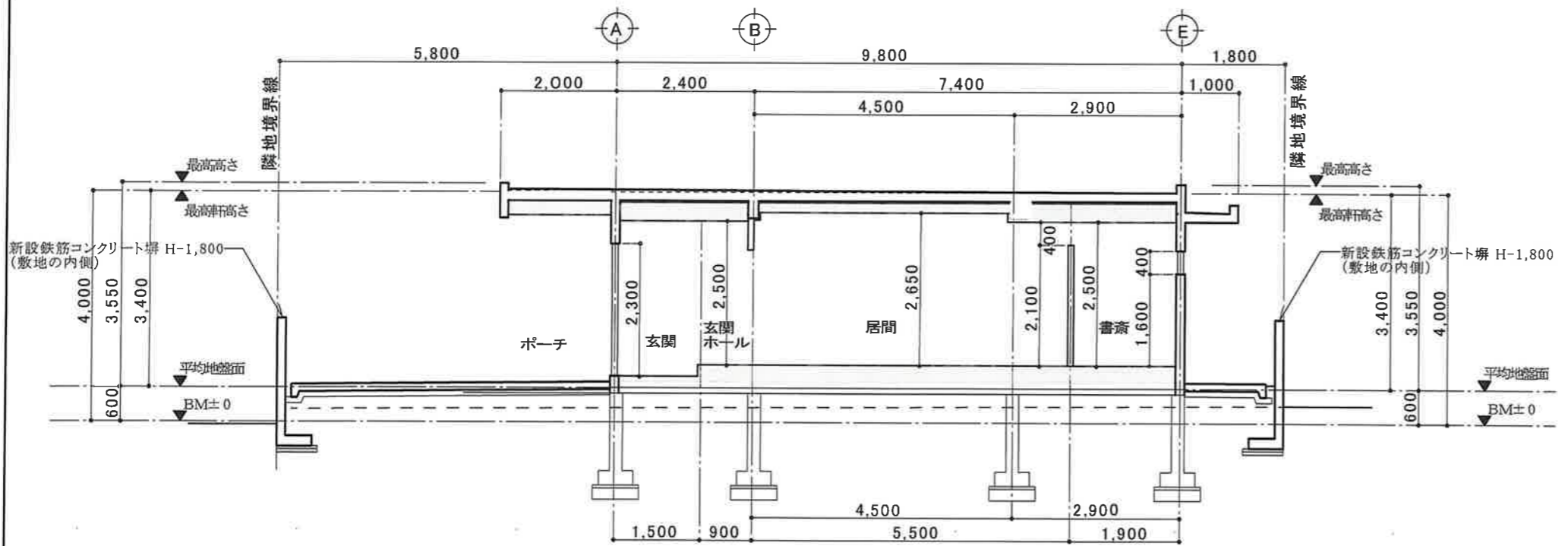


北側立面図 S=1/100

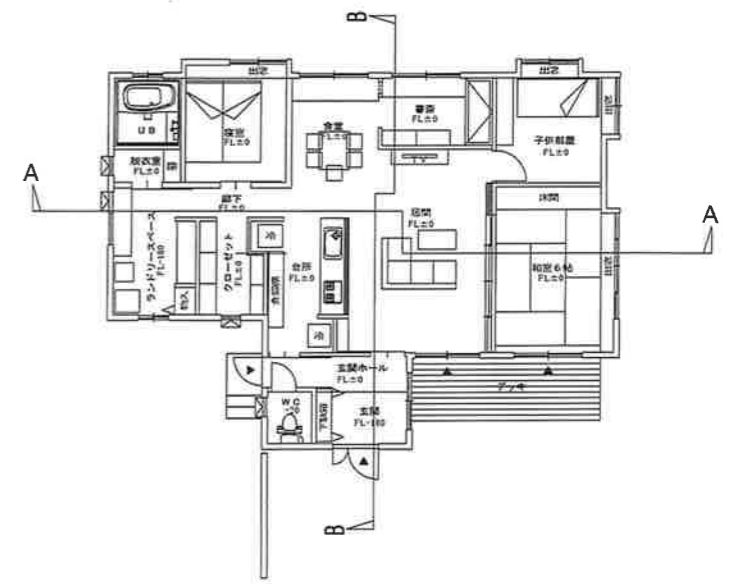
特記事項 用途地域：無指定 容積率：200% 建ぺい率：60%	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL：(0980) 72-7104 FAX：(0980) 73-3813	工事名称 楚南邸新築工事	年月日 2026.3	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-17
		工事場所 宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名 立面図(2)		
		縮尺 S=1/100			



A - A 断面図 S=1/100

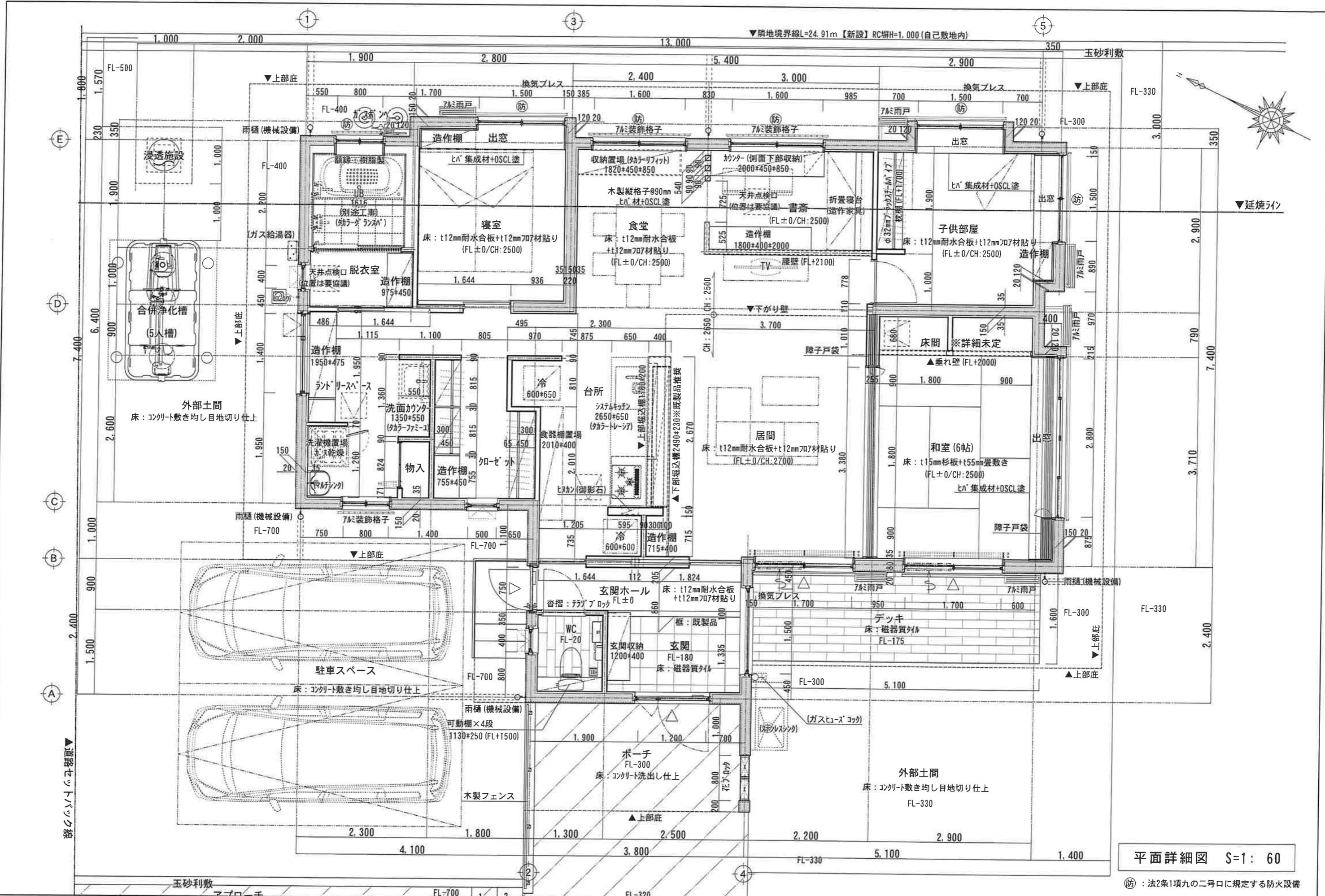


B - B 断面図 S=1/100



高さ制限チェック(指定なし)
 ※道路斜線制限: 前面道路{4.00+(3.00+3.00)}=10.0m
 よって建物は10.0m以下にあるため道路斜線はクリアします。
 ※隣地斜線制限: 建物は2.0m以下にあるため隣地斜線はクリアします。

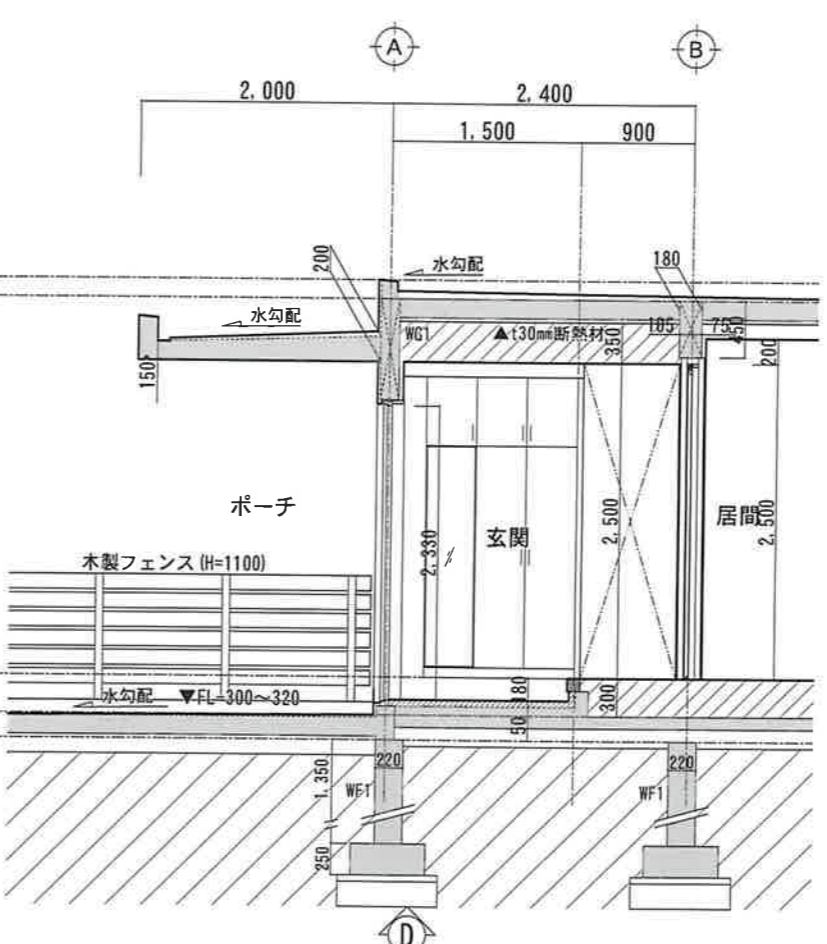
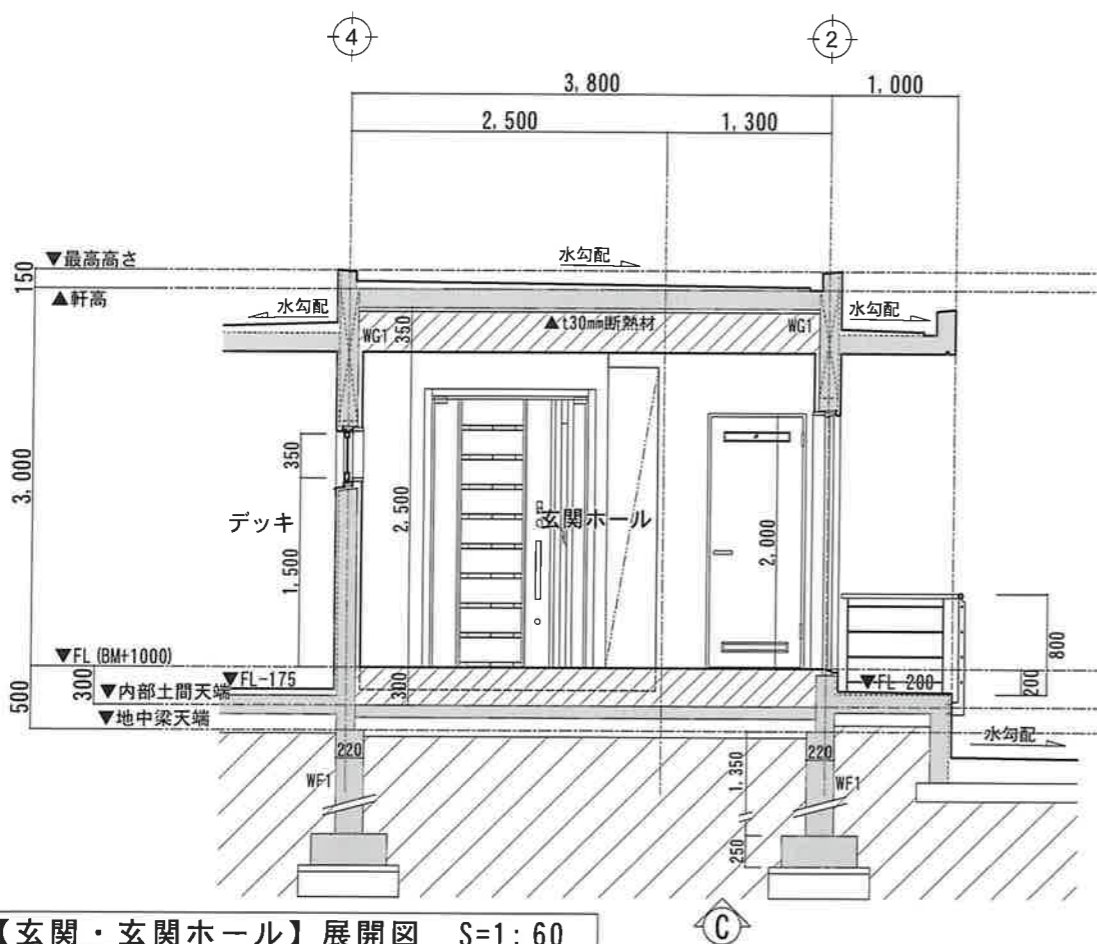
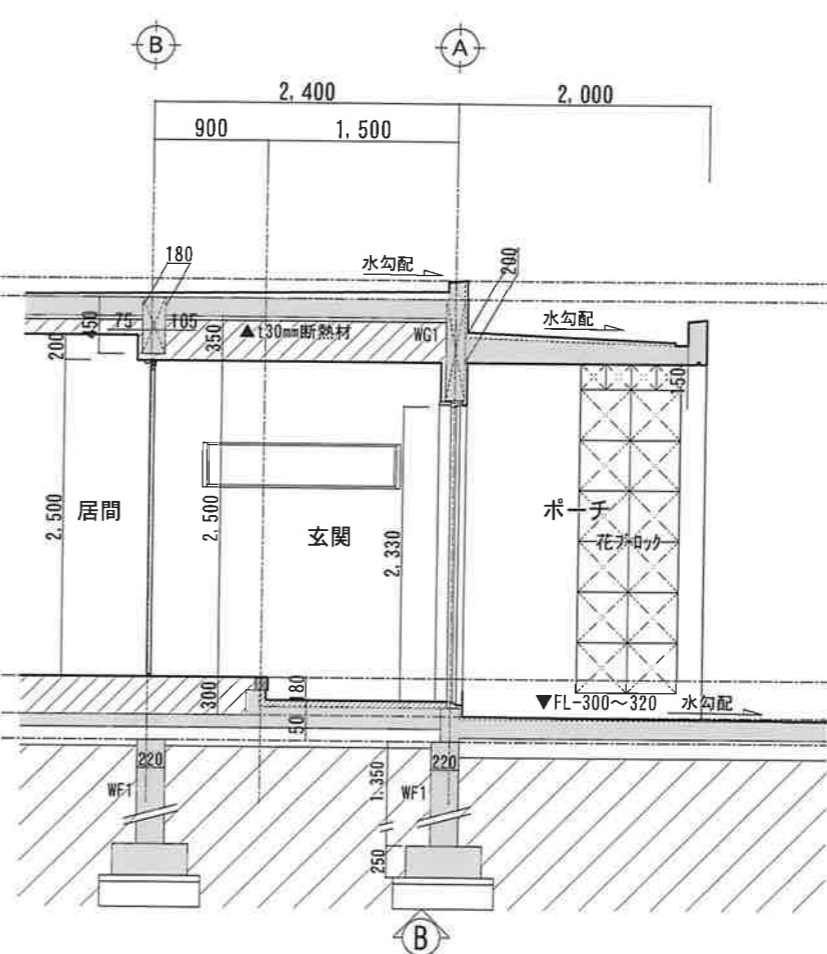
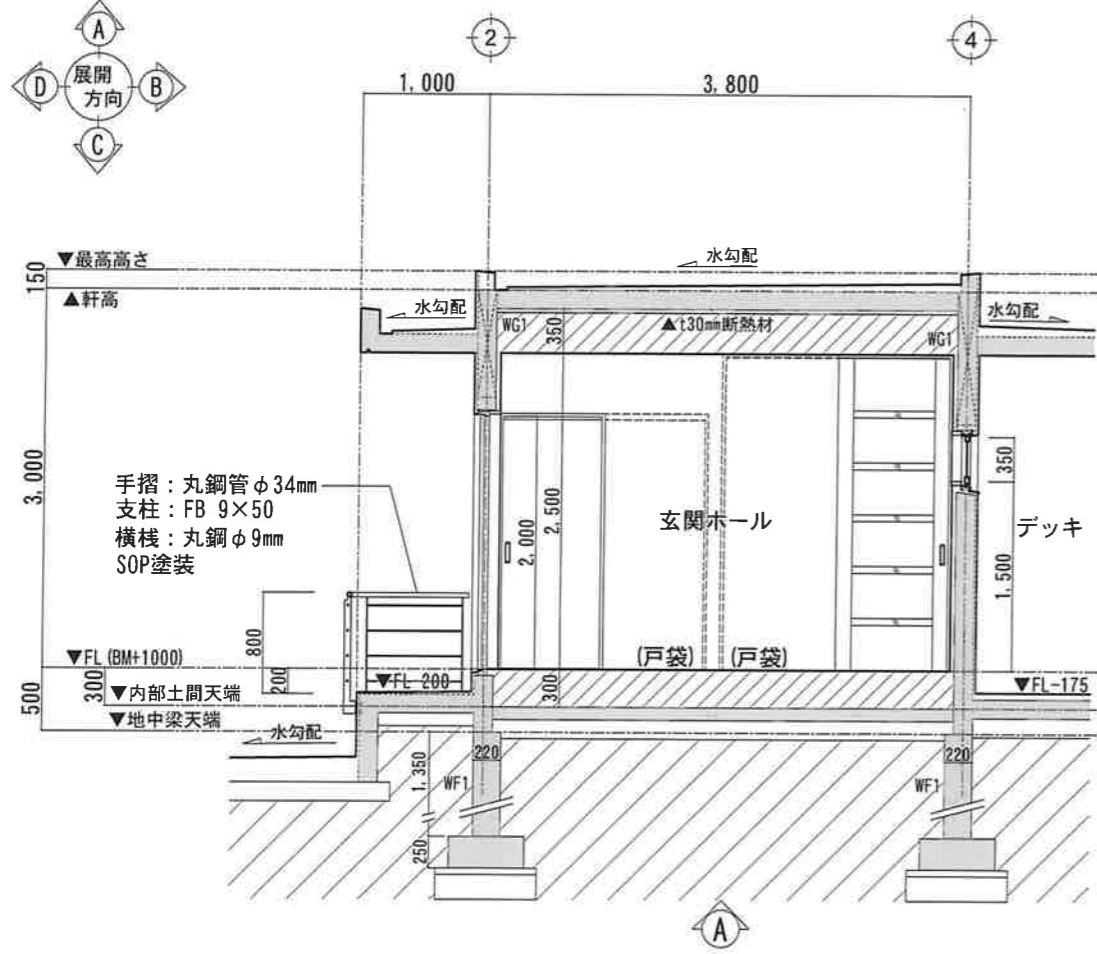
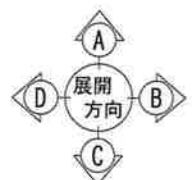
特記事項 用途地域: 無指定 容積率: 200% 建ぺい率: 60%	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称 楚南邸新築工事	年月日 2026.3	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-18
		工事場所 宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名 断面図		縮尺 S=1/100



平面詳細図 S=1:60

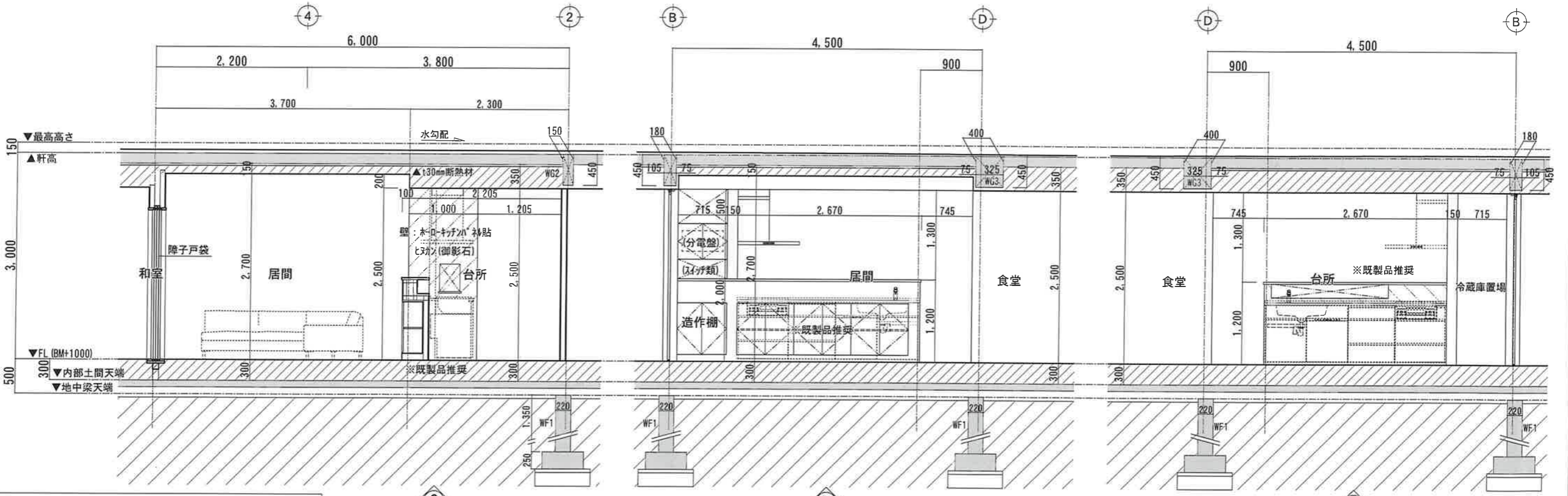
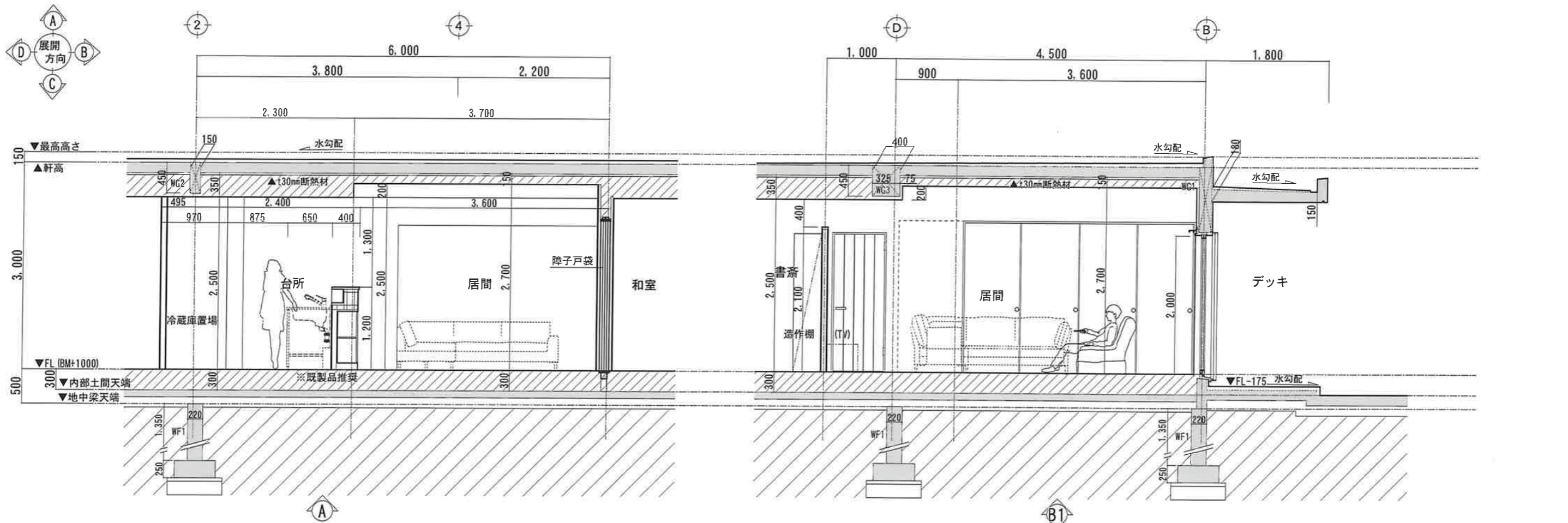
Ⓜ：法2条1項九の二号口に規定する防火設備

特記事項	アプローチ 床：コンクリート洗出し仕上	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2026.4	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-21
			工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名	平面詳細図		



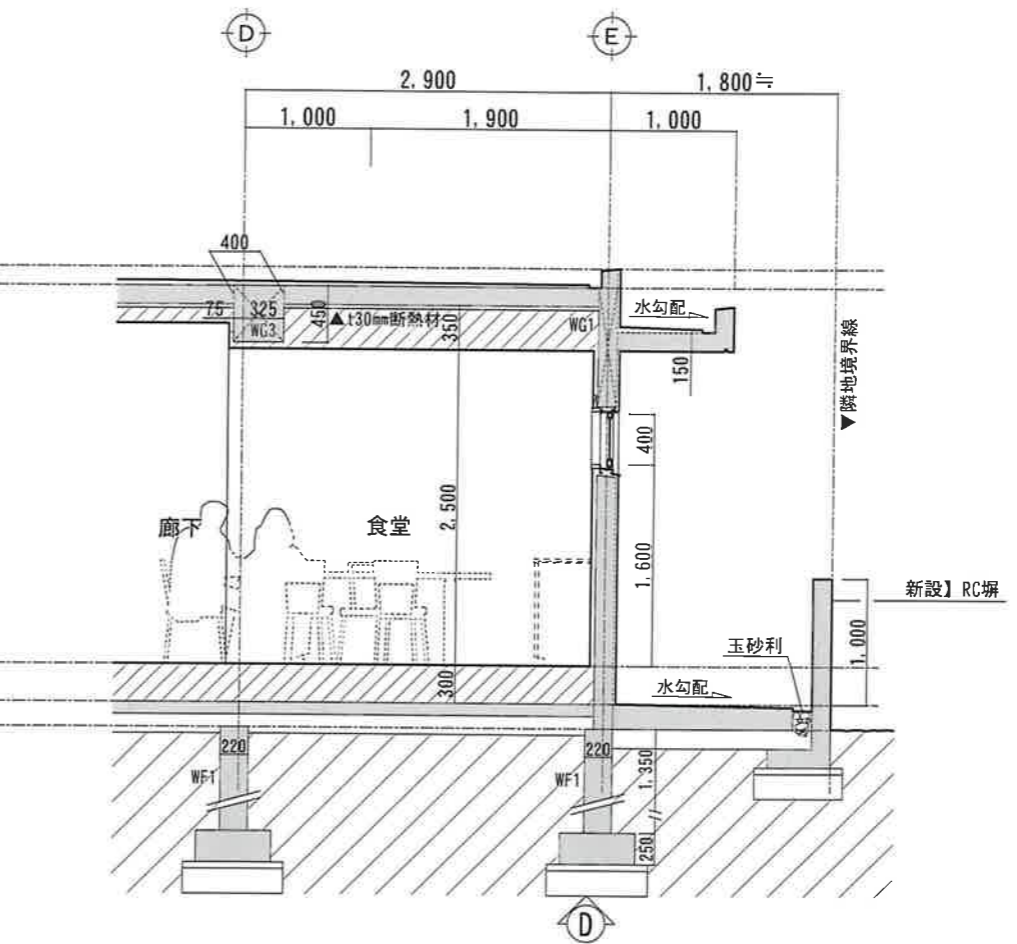
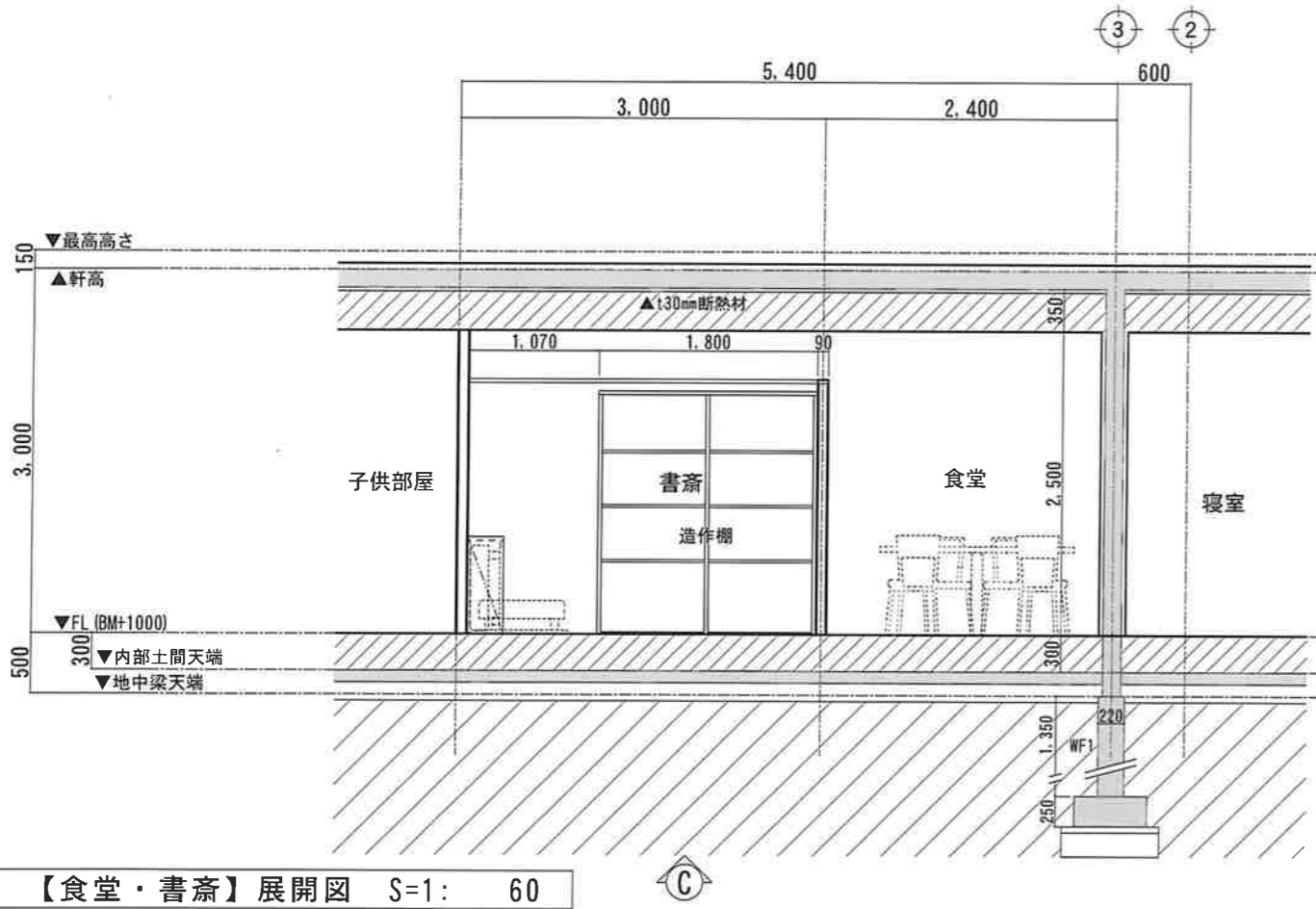
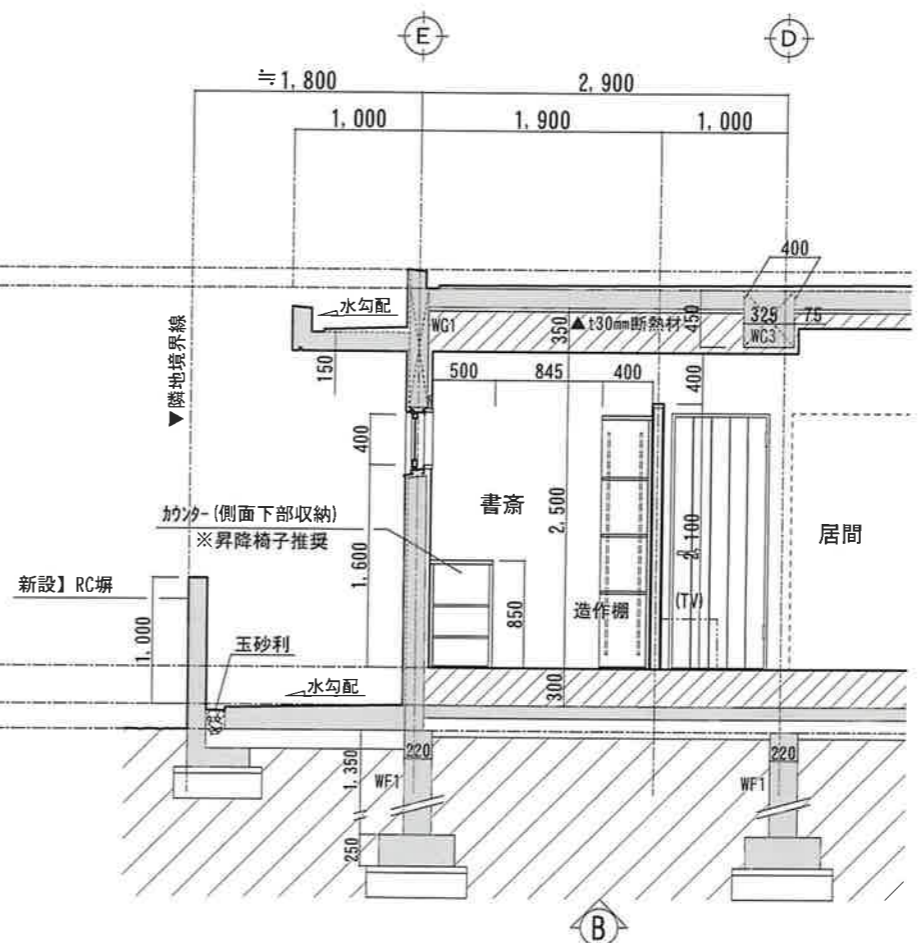
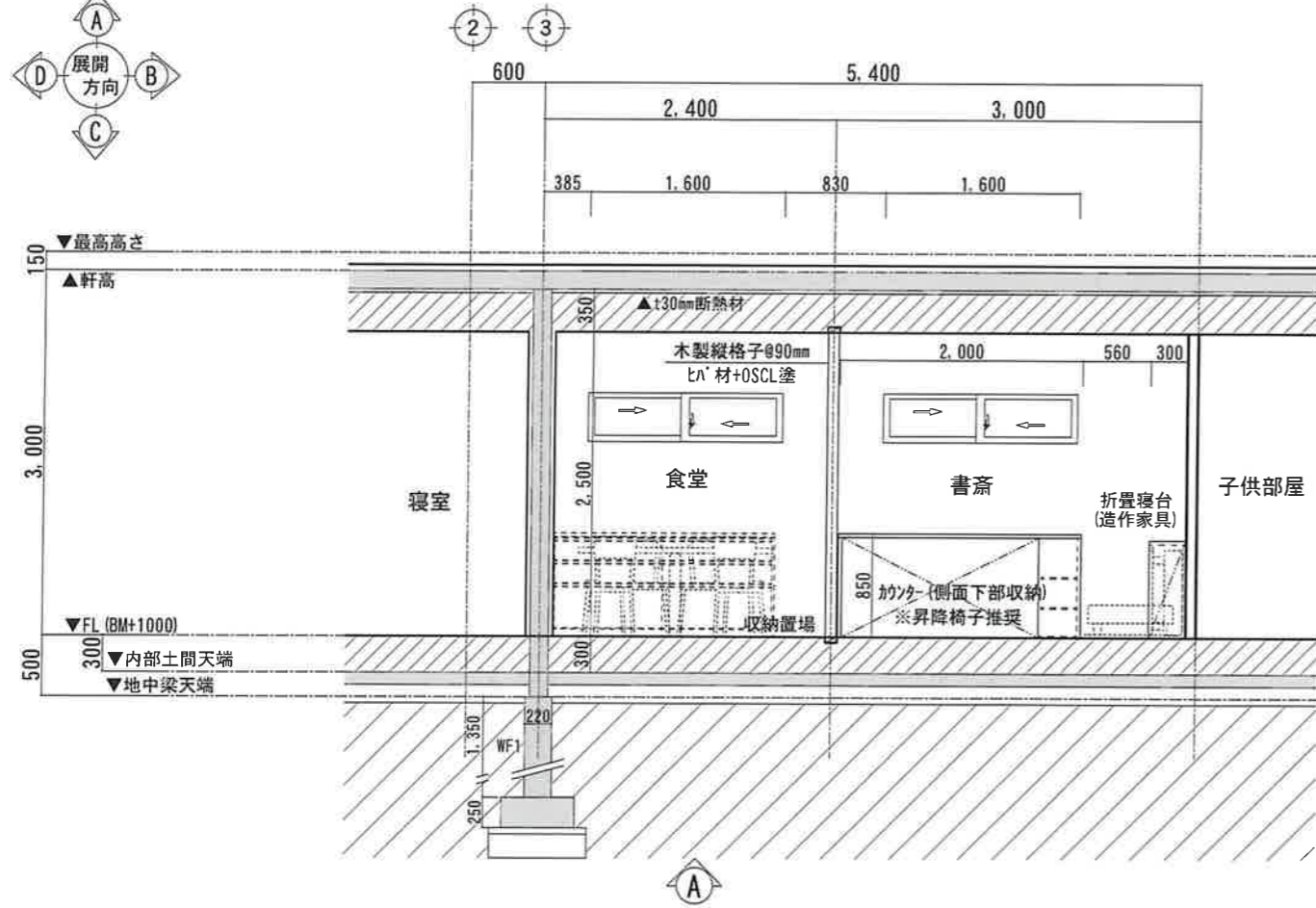
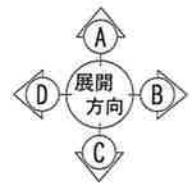
【玄関・玄関ホール】展開図 S=1:60

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2026.4	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-22
		工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名	展開図(1)		
				縮尺	S=1/100		



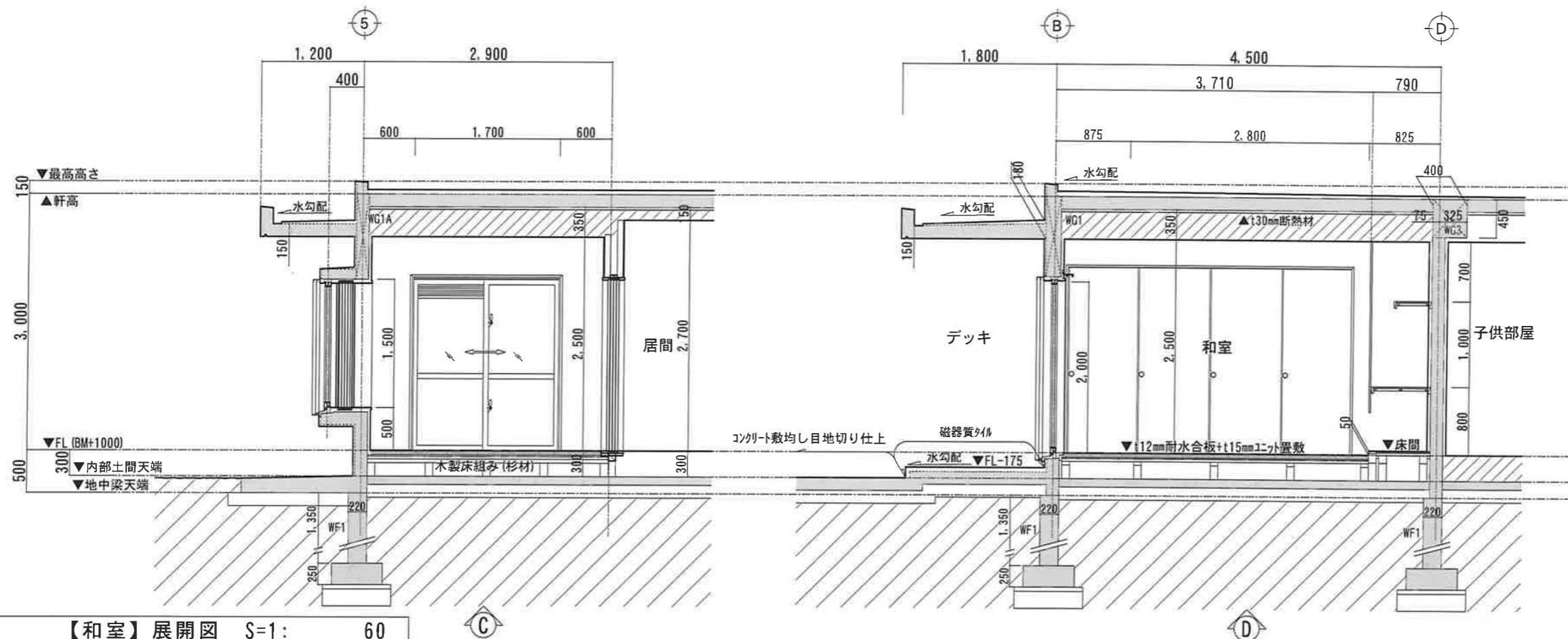
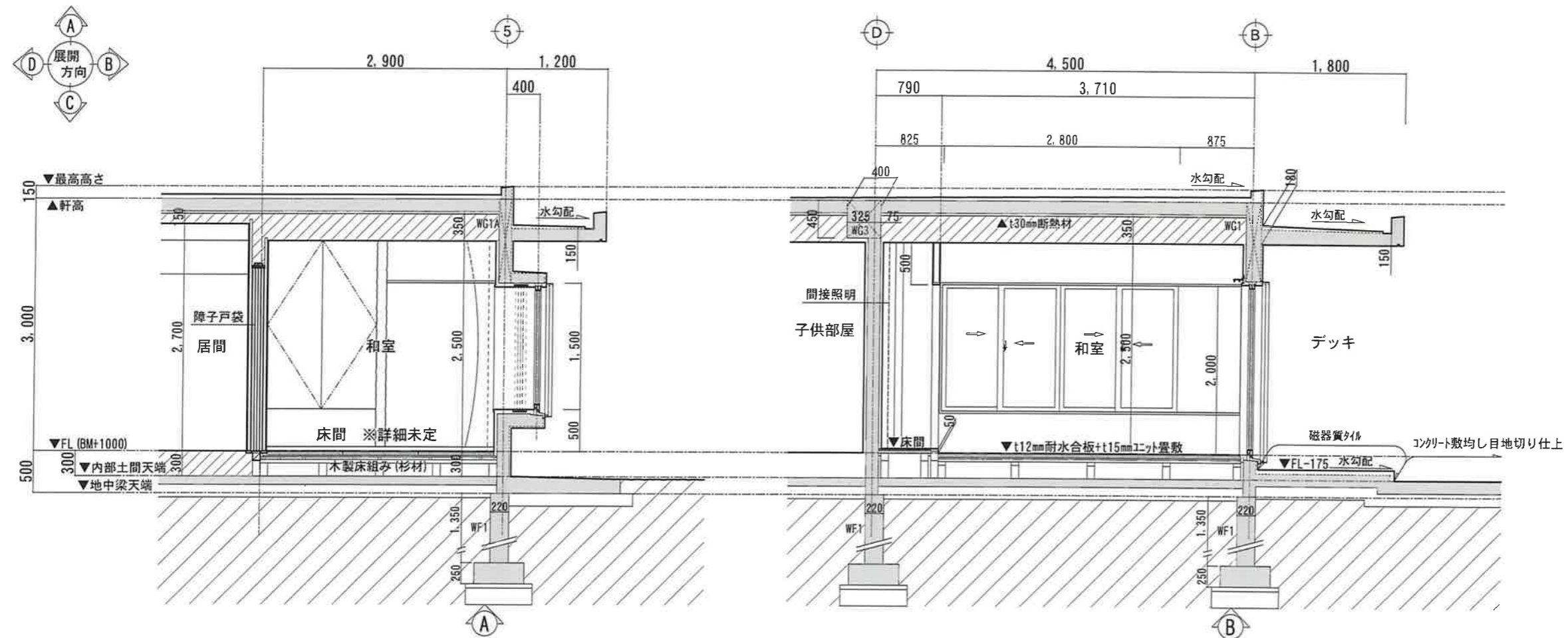
【台所・居間】展開図 S=1: 60

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2026.4	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157488号 垣花正昭 印	図面番号 A-23
		工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名	展開図(2)		
				縮尺	S=1/60		



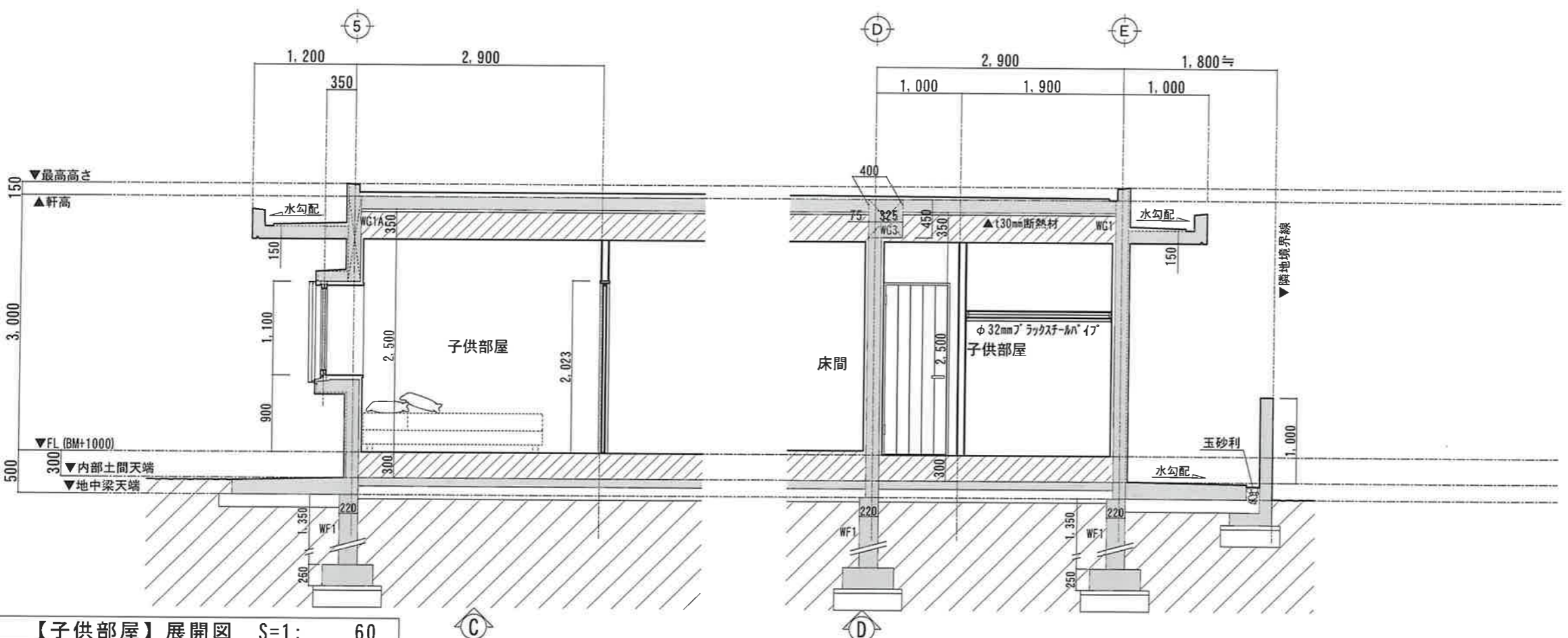
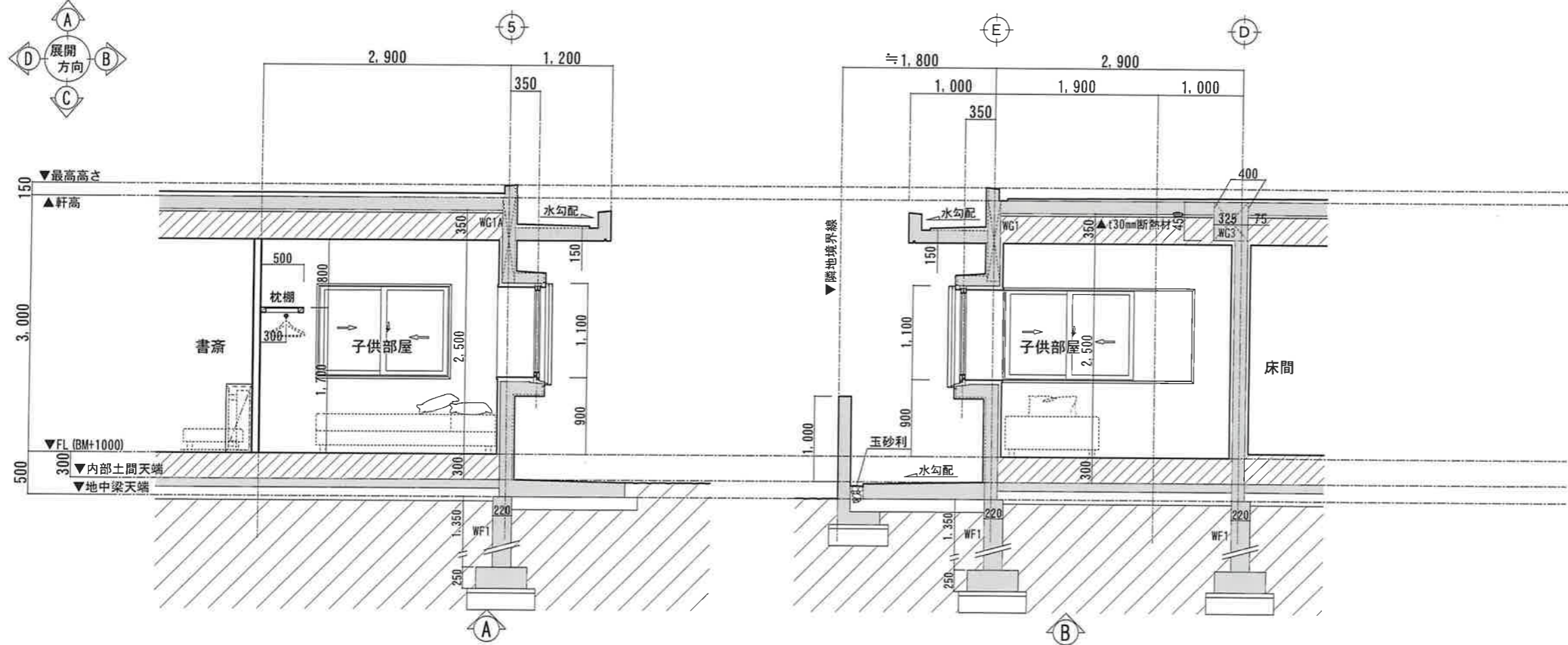
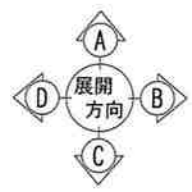
【食堂・書斎】展開図 S=1: 60

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2026. 4	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-24
		工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名	展開図(3)		
				縮尺	S=1/60		



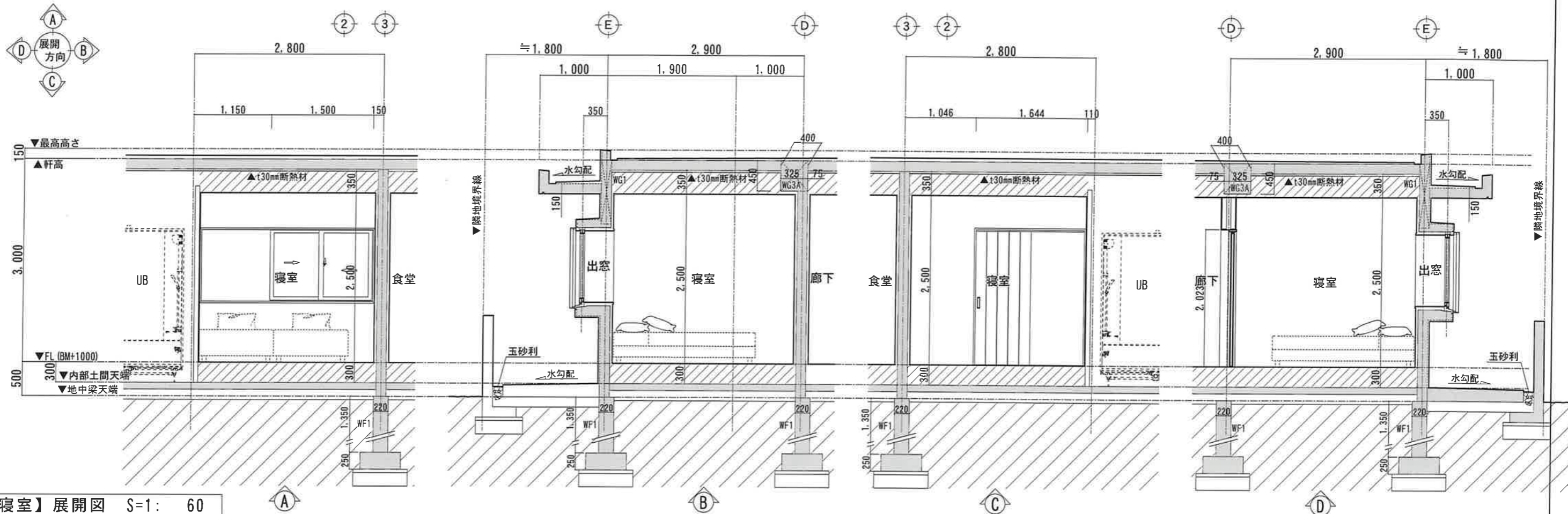
【和室】展開図 S=1: 60

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2026. 4	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-25
		工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名	展開図(4)		
				縮尺	S=1/60		

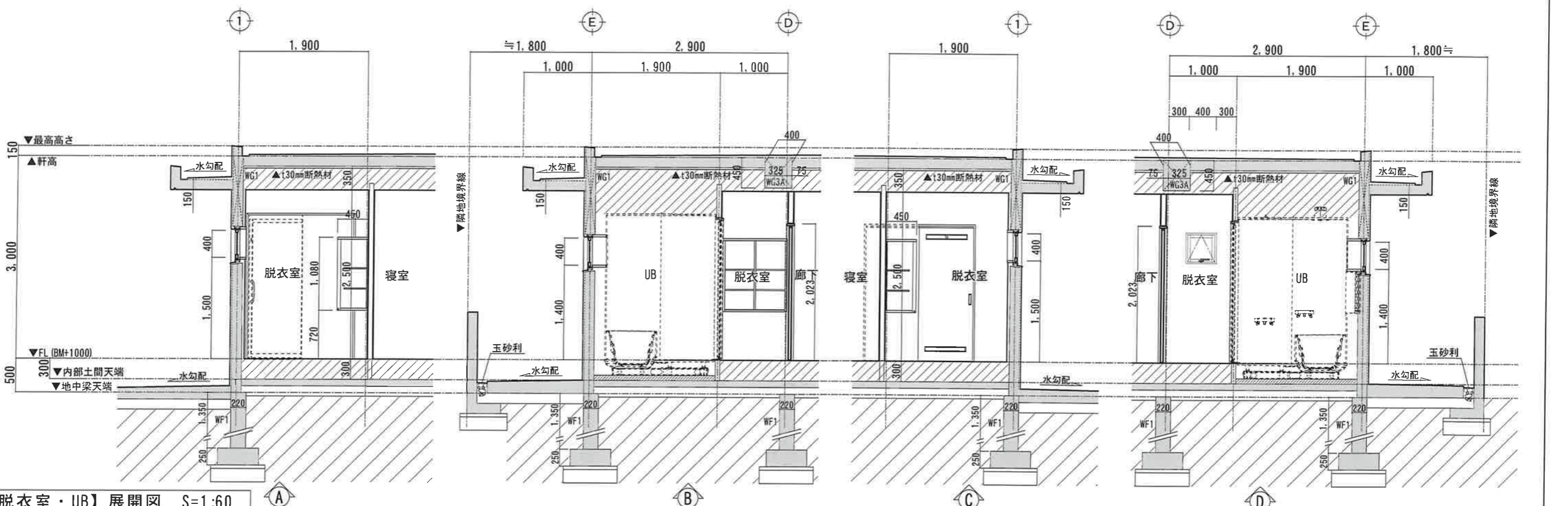


【子供部屋】展開図 S=1: 60

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2026. 4	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157486号 垣花正昭 印	図面番号 A-26
		工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名	展開図(5)		
				縮尺	S=1/60		

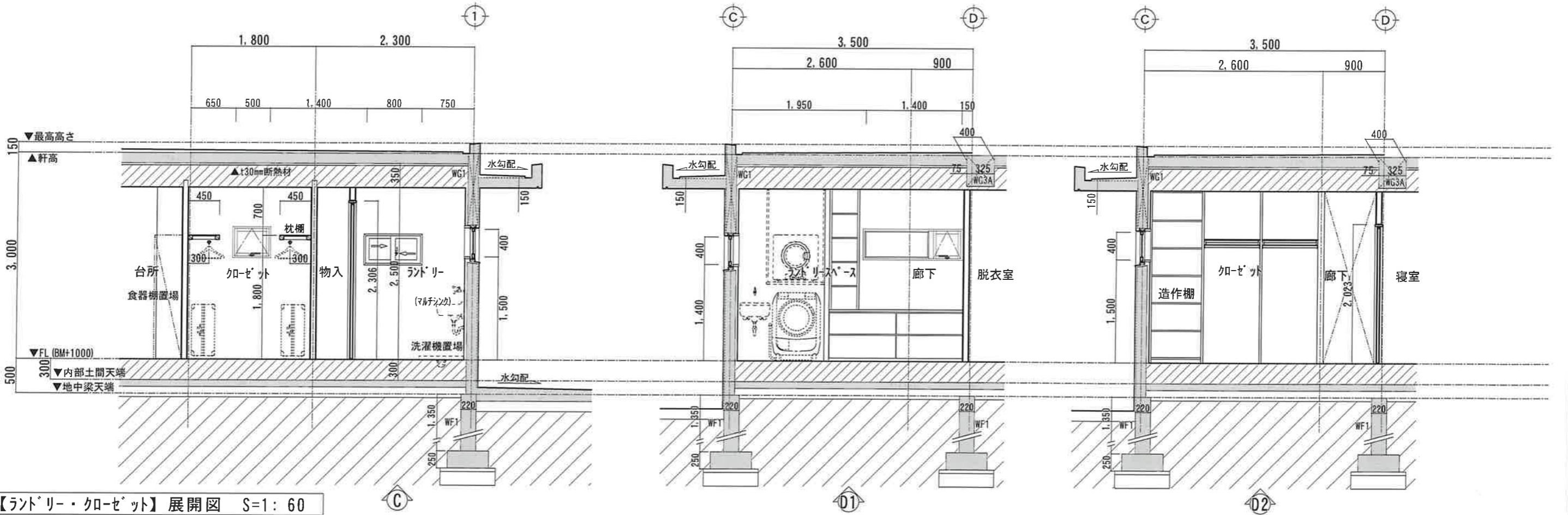
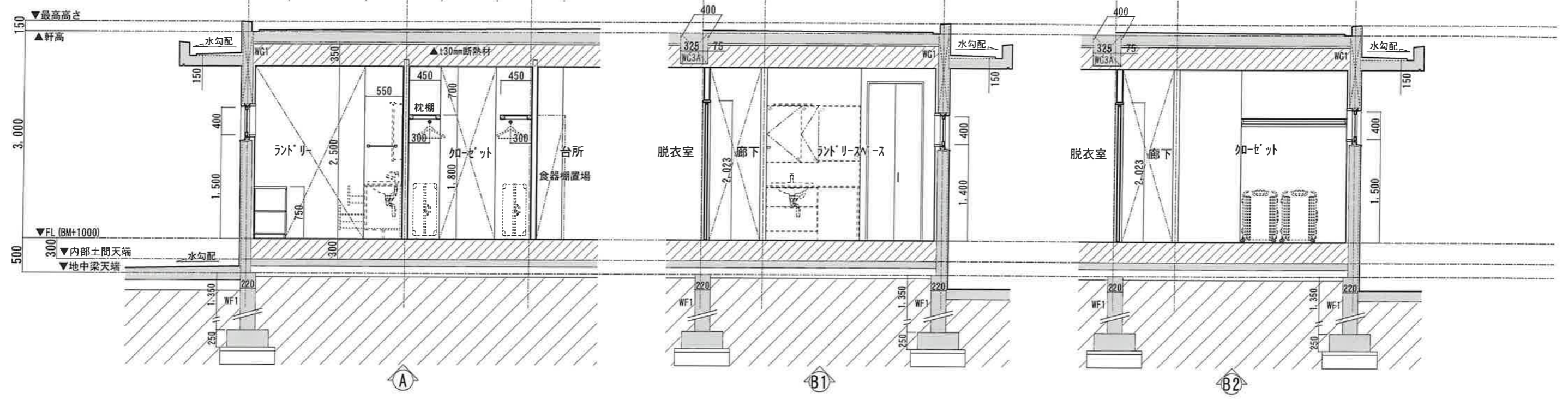


【寝室】展開図 S=1: 60



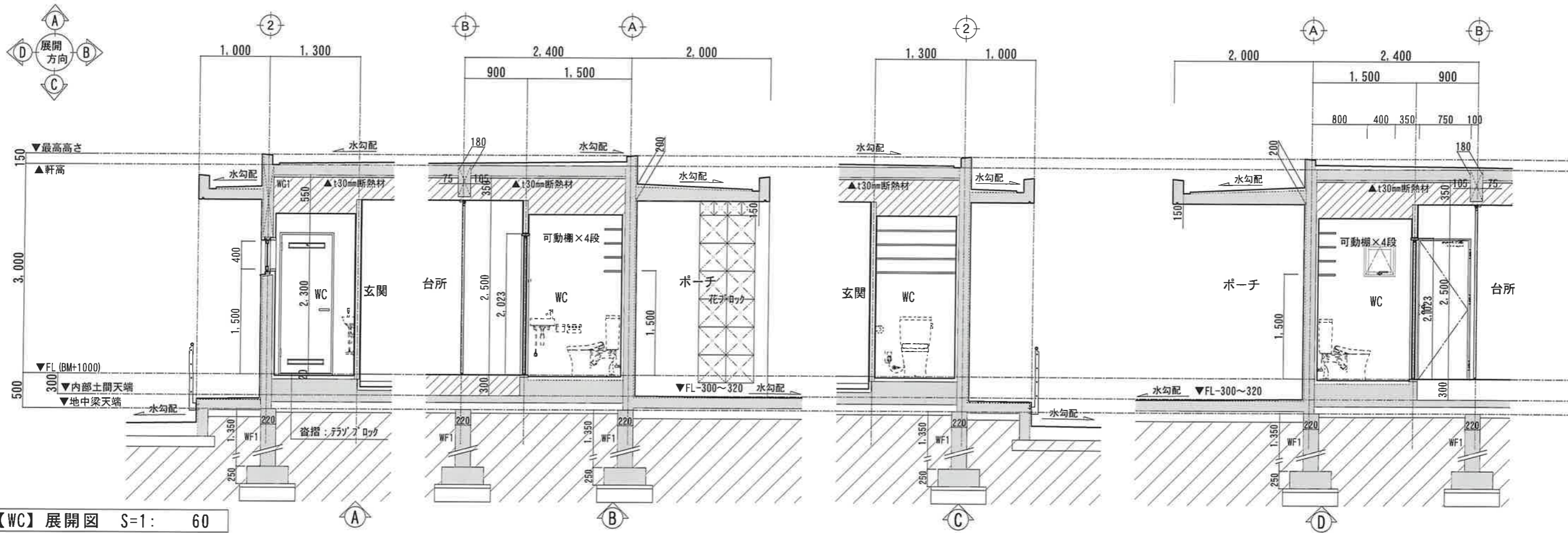
【脱衣室・UB】展開図 S=1:60

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2026. 4	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-27
		工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名	展開図(6)		
				縮尺	S=1/60		



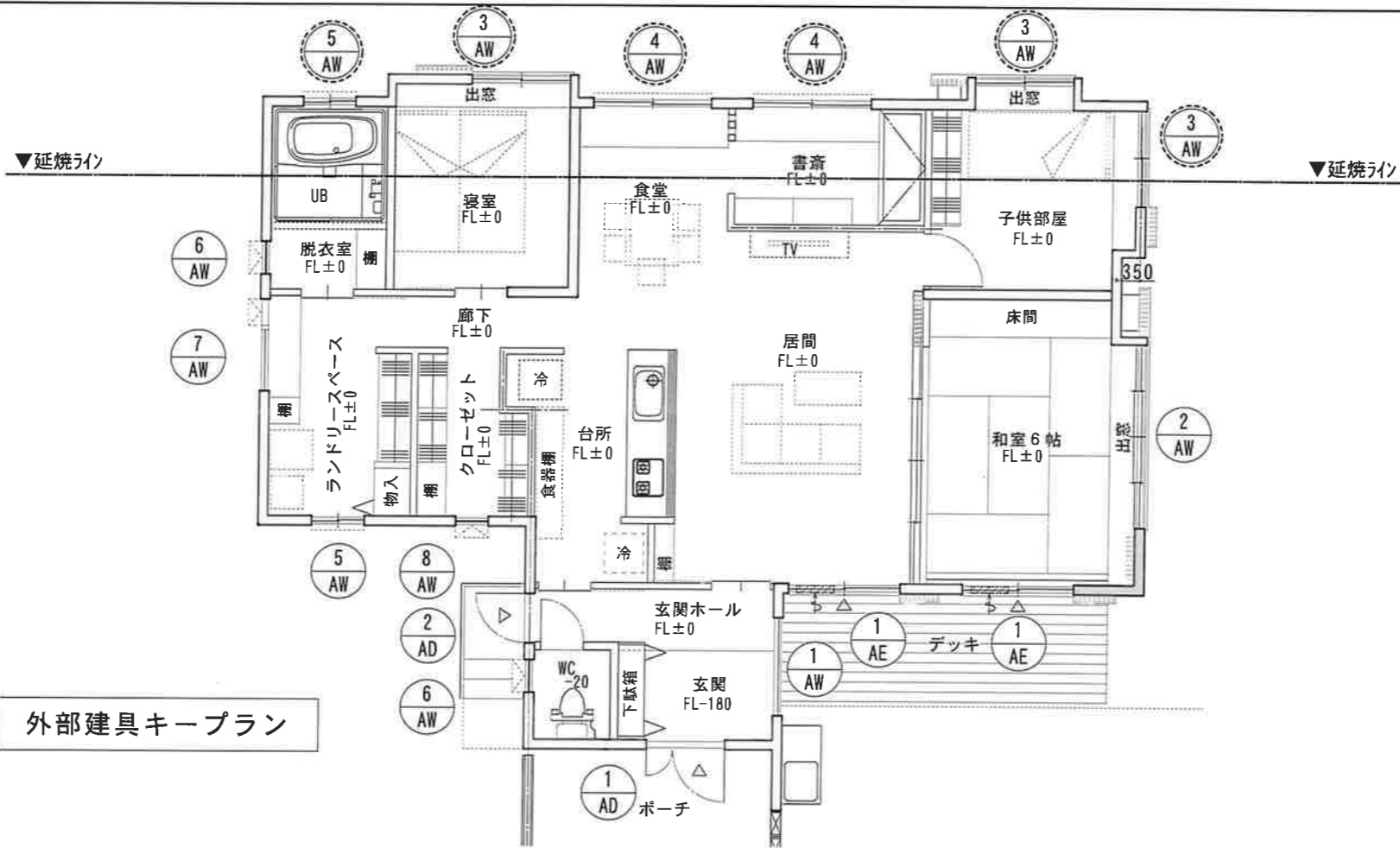
【ランドリー・クローゼット】展開図 S=1:60

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2026. 4	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-28
		工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名	展開図(7)		
				縮尺	S=1/60		



【WC】展開図 S=1: 60

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒 906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2026. 4	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-29
		工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名	展開図 (8)		



外部建具キープラン

○: 法2条1項九の二号口に規定する防火設備

■金属建具表

記号・名称	1 AD 高断熱玄関親子ドア イノベスト (YKK) 同等品	2 AD 片開きドア	1 AE 2枚引違い戸	
姿図				
場所・数量	玄関 1カ所	玄関ホール 1カ所	居間・和室 2カ所	
材質・見込	アルミ付処理 (扉: 断熱P [®] 祿) 108mm	アルミ (ブラック) 70mm	アルミ (ブラック) 70mm	
ガラス	---	---	t6mm フロート板ガラス	
金物	錠前 (セキュリティサムターン・シャッター付シリンダー)・ドアガード・A型把手 戸当り (壁付)・標準仕様附属金物一式	レバーハンドル・本締錠・ドアクローザー (ストップ付) 戸当り (壁付)・附属金物一式	アルミ雨戸 (落し付)・ロック付クレント・掘込引手・戸当り アルミ水切・換気プレス・附属金物一式	
備考	※扉カラー・デザイン及びオプションは発注前に施主確認の事。			
		ステンレス下枠: 1.5mm SUS304		

※特記事項

- ・本紙に記載してある建具は全て施工図を提出し係員の確認を得ること。
- ・本工事に使用する材料及び金具類は全て見本品を提出し係員の確認を得ること。
- ・サッシュ廻りのコーキングはC種 (シリコン系) とし建築工事に含む
- ・アルミサッシュ及びガラス等の養生及び清掃を入念に行う事
- ・各錠は美和又はコール同等以上とする (納品する錠は各3部とする)
- ・全ての建具のガラス留めコーキングは二液性変成シリコンシーリングとする。
- ・建具周辺に額縁が取り付け場合は取り付け用アングルを設けること。
- ・建具金物の取り付け部分は、ビス止め用裏板補強を行うこと。
- ・ドアクローザーの取り付けは、ステンレス通しボルトとし、当て板 (SUS t2.0) を設ける。
- ・サッシアンカーは防錆処理を行う。
- ・網入りガラスの小口には、ガラス用防錆剤塗料又は防錆テープを用いて防錆処理を行う。
- ・本工事に於いて疑義のある場合は、係員と協議の上工事の進行を図ること。
- ・ドアには全てドアチェック (ストップ付) 戸当り (フック付) 等の取付を行う。
- ・但しフロアーヒンジの箇所は戸当たりのみとする
- ・耐風圧性能・・・1階: 3350Pa 2階: 3,740Pa
- ・水密性能: W-5 ・気密性能: A-4を基本性能とする。

■金属建具表

記号・名称	1 AW	FIX窓	2 AW	4枚引違い窓	3 AW	2枚引違い窓	4 AW	2連引違い窓
姿 図								
場所・数量	玄関、玄関ホール 1カ所		和室 1カ所		子供部屋・寝室 3カ所		食堂・書斎 2カ所	
材質・見込	アルミ(ブラック) 70mm		アルミ(ブラック) 70mm		アルミ(ブラック) 70mm		アルミ(ブラック) 70mm	
ガラス	t6mm フロート板ガラス		t6mm フロート板ガラス		t6.8mm網入り板ガラス		t6.8mm網入り板ガラス	
金物	アルミ水切・附属金物一式		アルミ雨戸(落し付)・アルミ水切・ロック付クレセント・掘込引手 附属金物一式		アルミ雨戸(落し付)・アルミ水切・ロック付クレセント・掘込引手 附属金物一式		アルミ裝飾格子・アルミ水切・ロック付クレセント・掘込引手 附属金物一式	
備考					【個別認定防火設備】		【個別認定防火設備】	

※面格子形状は発注前に施主確認の事。

■金属建具表

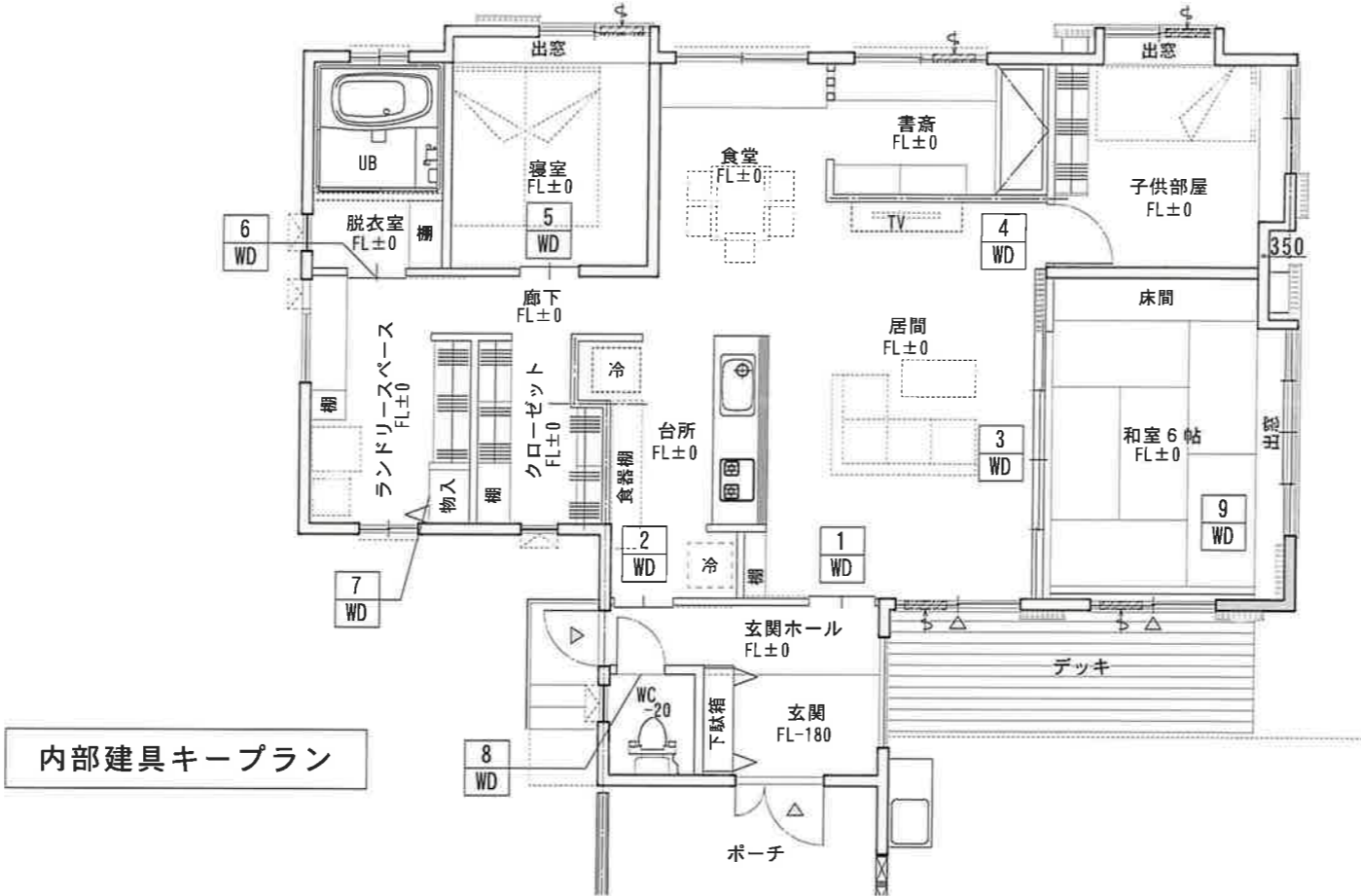
記号・名称	5 AW	2枚引違い窓	6 AW	突き出し窓	7 AW	突き出し窓+FIX窓	8 AW	突き出し窓
姿 図								
場所・数量	UB・ランドリースペース 2カ所		脱衣室・WC 2カ所		ランドリースペース 1カ所		クローゼット 1カ所	
材質・見込	アルミ(ブラック) 70mm		アルミ(ブラック) 70mm		アルミ(ブラック) 70mm		アルミ(ブラック) 70mm	
ガラス	t6.8mm網入り板ガラス(UB)・t4+4mm 合わせガラス(乳白色)		t4+4mm 合わせガラス(乳白色)		t4+4mm 合わせガラス(乳白色)		t4+4mm 合わせガラス(乳白色)	
金物	アルミ裝飾格子・アルミ水切・ロック付クレセント・掘込引手 附属金物一式		アルミ水切・突き出し丁番 附属金物一式		アルミ水切・突き出し丁番 附属金物一式		アルミ水切・突き出し丁番 附属金物一式	
備考	【個別認定防火設備(UBのみ)】							

※()内寸法はランドリースペースを示す。
※面格子形状は発注前に施主確認の事。

※特記事項

- ・本紙に記載してある建具は全て施工図を提出し係員の確認を得ること。
- ・本工事に使用する材料及び金具類は全て見本品を提出し係員の確認を得ること。
- ・サッシュ廻りのコーキングはC種(シリコン系)とし建築工事に含む
- ・アルミサッシュ及びガラス等の養生及び清掃を入念に行う事
- ・各錠は美和又はコール同等以上とする(納品する錠は各3部とする)
- ・全ての建具のガラス留めコーキングは二液性変成シリコンシーリングとする。
- ・建具周辺に額縁が取り付け用は取り付け用アングルを設けること。
- ・建具金物の取り付け部分は、ビス止め裏板補強を行うこと。
- ・ドアクローザーの取付けは、ステンレス通しボルトとし、当て板(SUS t2.0)を設ける。
- ・サッシアンカーは防錆処理を行う。
- ・網入りガラスの小口には、ガラス用防錆剤塗料又は防錆7-Fを用いて防錆処理を行う。
- ・本工事に於いて疑義のある場合は、係員と協議の上工事の進行を図ること。
- ・ドアには全てドアチェック(ストップ付)戸当り(フック付)等の取付を行う。
- ・但しフロアヒンジの箇所は戸当たりのみとする
- ・耐風圧性能・・・1階:3350Pa 2階:3,740Pa
- ・水密性能:W-5 ・気密性能:A-4を基本性能とする。

特記事項	<p>(有) 都一級建築設計事務所</p> <p>〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813</p>	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2026.4	<p>沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印</p>	図面番号	A-31
		工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名	金属製建具表(2)		縮尺	



内部建具キープラン

■木製建具表

記号・名称	1 WD	2 WD	3 WD
	LIXIL ラジック 片引込み戸 Vル方式 同等品	LIXIL ラジック 片引込み戸 上吊り方式 同等品	4枚引込戸 ふすま
姿 図			
場所・数量	玄関ホール 1カ所	玄関ホール 1カ所	和室 1カ所
材質・見込	既製品 90mm	既製品 90mm	枠：ヒノキ材 扉：杉材組+シバニヤ+ガラス張り仕上 255mm
ガラス	既製品附属	---	---
金物	引手・ソフコ-ザ- 標準仕様附属金物一式	引手・ソフコ-ザ- 標準仕様附属金物一式	引手・附属金物一式
備 考	※扉カラー・デザイン及びオプションは発注前に施主確認の事。		

※特記事項
 ・本紙に記載してある建具は全て施工図を提出し係員の確認を得ること。
 ・アルミサッシュ及びガラス等の養生及び清掃を入念に行う事
 ・各錠は美和又はコール同等以上とする (納品する錠は各3部とする)
 ・本工事において疑義のある場合は、係員と協議の上工事の進行を図ること。

■木製建具表

記号・名称	4 WD	LIXIL ラシッパ 片開ドア 同等品	5 WD	LIXIL ラシッパ 片引き戸 上吊り方式 同等品	6 WD	LIXIL ラシッパ 片引き戸 上吊り方式 同等品	7 WD	LIXIL ラシッパ 折れ戸 同等品
姿 図								
	ATH2-LBB		AUK-LBB		AUK-LYA/LYB		ACN-LAA/LAB	
場所・数量	子供部屋 1ヵ所		寝室 1ヵ所		脱衣室 1ヵ所		物入 1ヵ所	
材質・見込	既製品 90mm		既製品 90mm		既製品 90mm		既製品 90mm	
ガラス	---		---		---		---	
金 物	レバーハンドル・簡易錠・ドアカギ・ドア戸当り 標準仕様附属金物一式		引手・簡易錠・ソフトカギ 標準仕様附属金物一式		引手・表示錠・ソフトカギ 標準仕様附属金物一式		引手・ソフトカギ 標準仕様附属金物一式	
備 考	※扉カラー・デザイン及びオプションは発注前に施主確認の事。		※扉カラー・デザイン及びオプションは発注前に施主確認の事。		※扉カラー・デザイン及びオプションは発注前に施主確認の事。		※扉カラー・デザイン及びオプションは発注前に施主確認の事。	

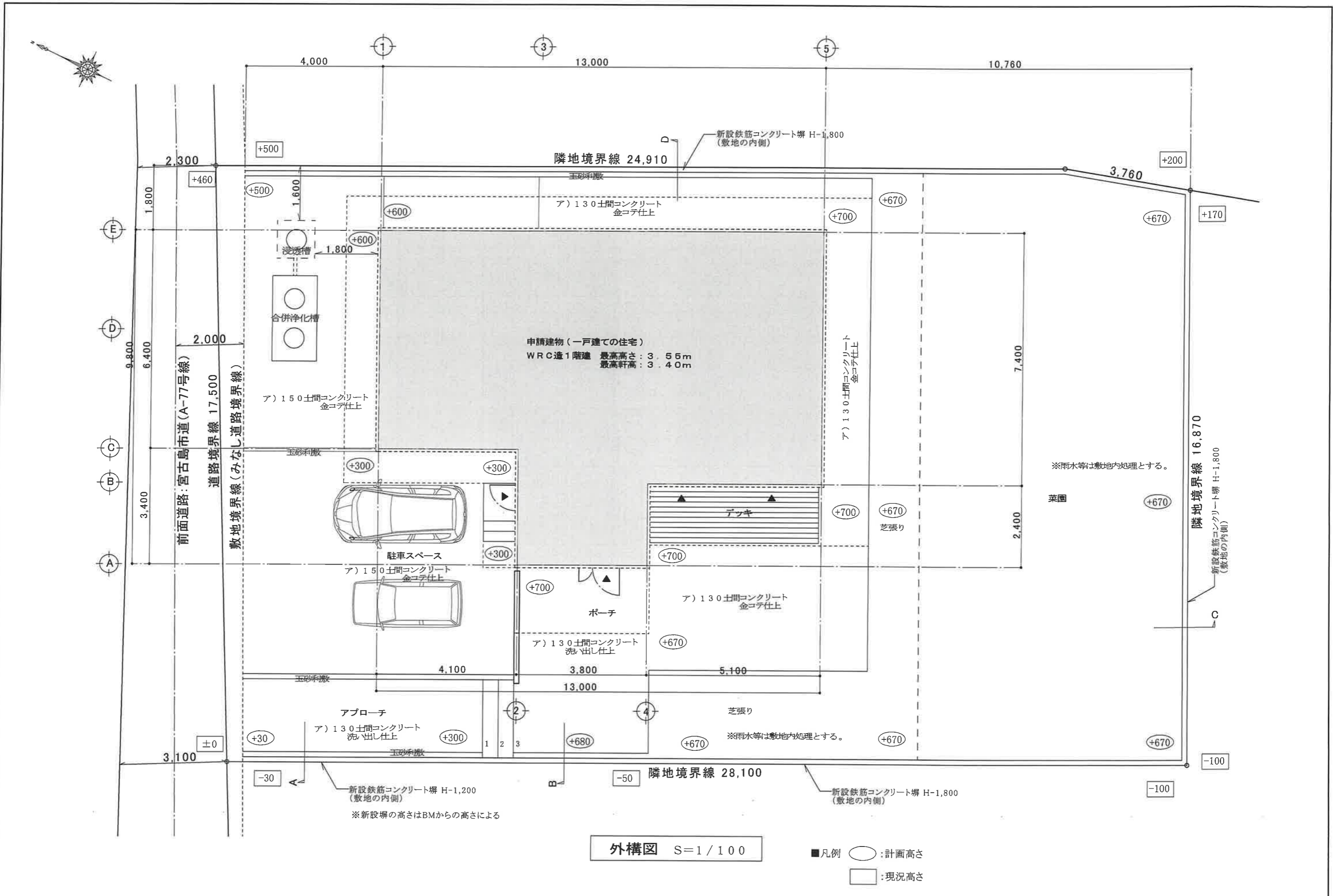
■木製建具表

記号・名称	8 WD	LIXIL ラシッパ 片開ドア 同等品	9 WD	4枚引込 障子
姿 図				
	ATH2-LYA/LYB		(戸袋)	
場所・数量	WC 1ヵ所		和室 1ヵ所	
材質・見込	既製品 90mm		枠・扉：ヒバ材 185mm	
ガラス	---		--- ※障子紙	
金 物	レバーハンドル・表示錠・ドアカギ・ドア戸当り 標準仕様附属金物一式		引手・附属金物一式	
備 考	※扉カラー・デザイン及びオプションは発注前に施主確認の事。			

※特記事項

- ・本紙に記載してある建具は全て施工図を提出し係員の確認を得ること。
- ・アルミサッシュ及びガラス等の養生及び清掃を入念に行う事
- ・各錠は美和又はコール同等以上とする (納品する錠は各3部とする)
- ・本工事において疑義のある場合は、係員と協議の上工事の進行を図ること。

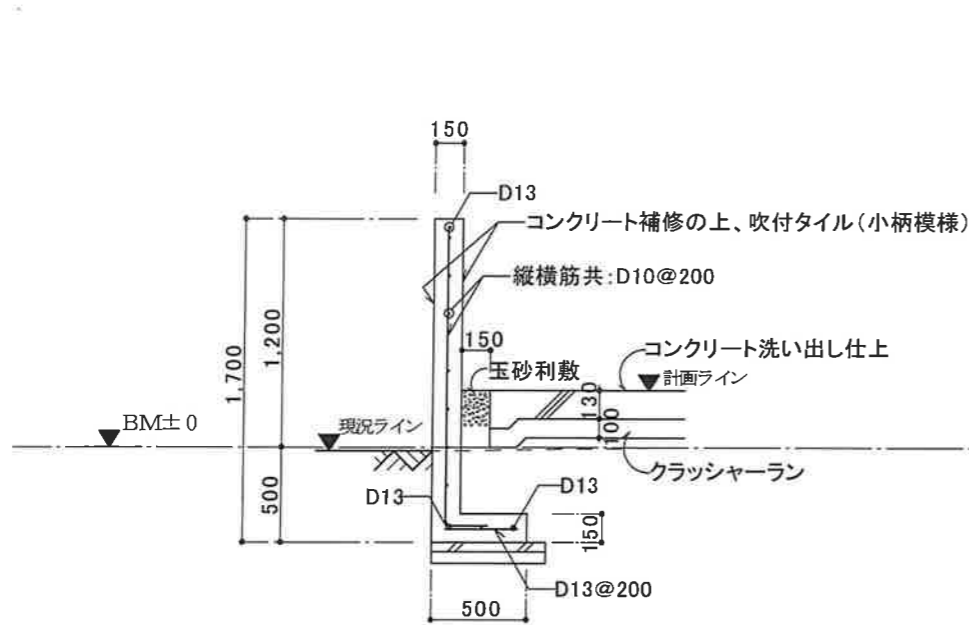
特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2026.4	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-33
		工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名	木製建具表 (2)		



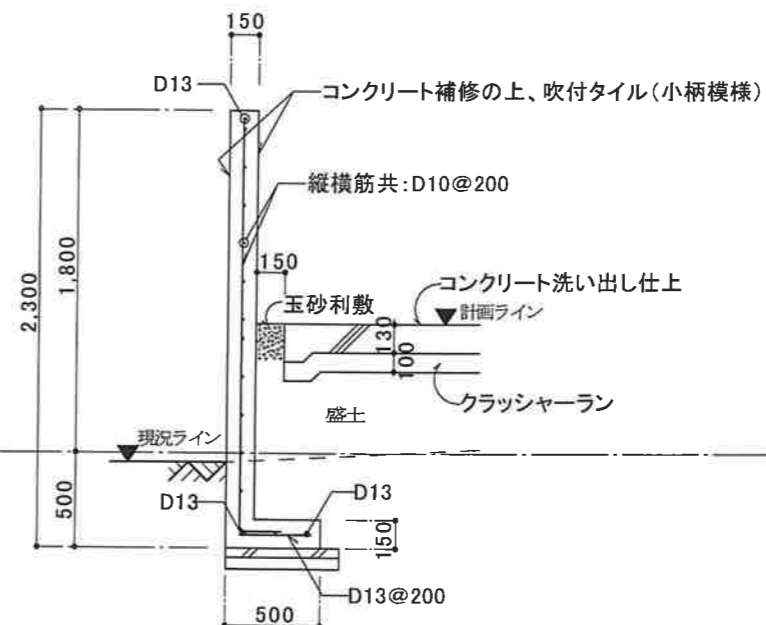
外構図 S=1/100

- 凡例 ○: 計画高さ
- : 現況高さ

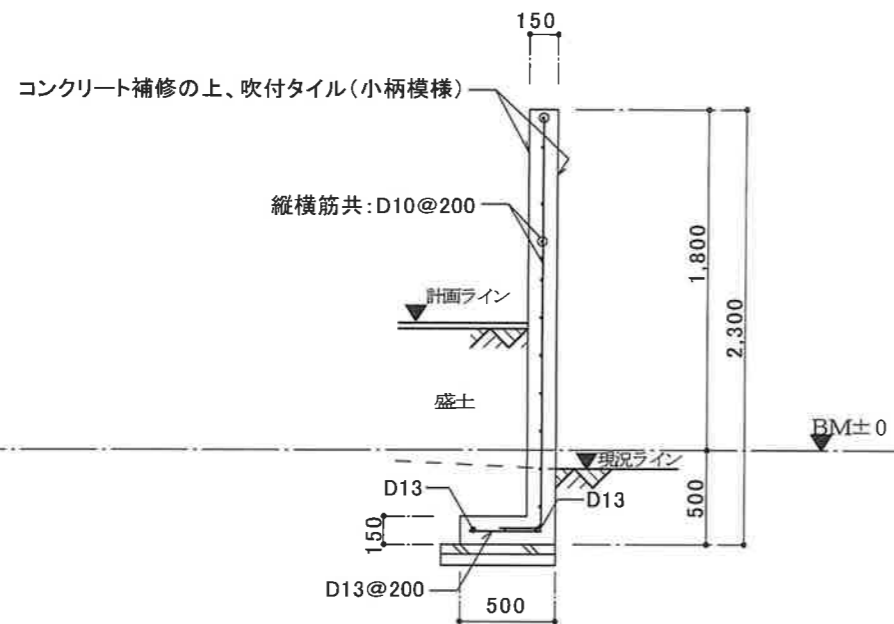
特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒 906-0013 宮古島市平良字下里 1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2026.4	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号	A-35
		工事場所	宮古島市平良字西仲宗根 740-12	図面名	外構図(1)			



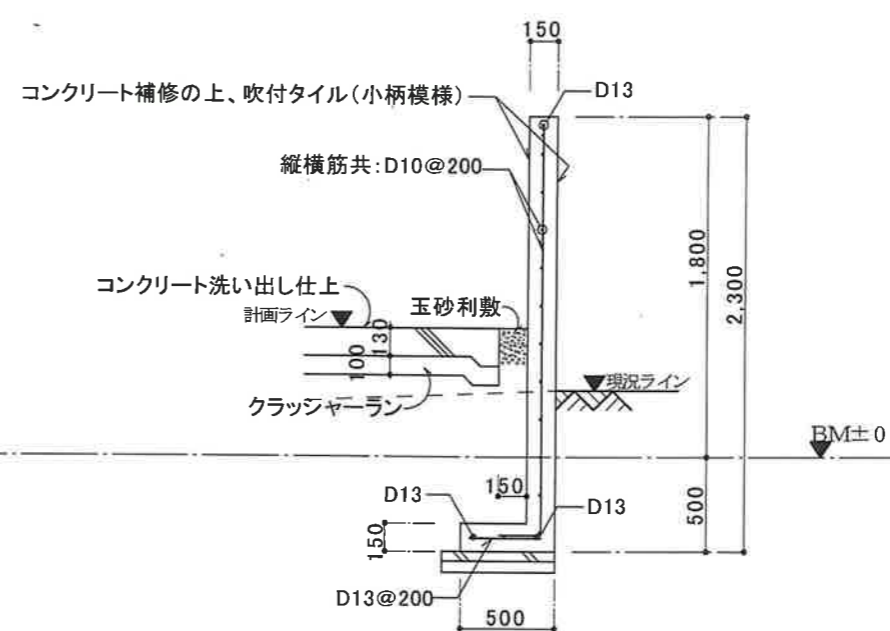
A断面 S=1/40



B断面 S=1/40



C断面 S=1/40



D断面 S=1/40

特記事項	(有) 都一級建築設計事務所 〒906-0013 宮古島市平良字下里1379-5 TEL: (0980) 72-7104 FAX: (0980) 73-3813	工事名称	楚南邸新築工事	年月日	2026.4	沖縄県知事事務所登録147-442 一級建築士大臣登録第157466号 垣花正昭 印	図面番号 A-36
		工事場所	宮古島市平良字西仲宗根740-12	図面名	外構図(2)		
				縮尺	S=1/100		

構造設計標準仕様

適用は ④ 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 楚南邸新築工事
建築場所 宮古島市平良字西仲宗根740-3
- (2) 工事種別 新築 増築 増改築 改築
- (3) 構造種別
木造 (W) 補強コンクリートブロック造 (CB) 鉄骨造 (S)
鉄筋コンクリート造 (RC) 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WORC)
プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC)
- (4) 階数
地下 階 地上 1階 塔屋 階
- (5) 主要用途 一戸建ての住宅
- (6) 屋上付属物
広告塔 高架水槽 ton 室外機
煙突 キュービクル ton
- (7) 増築計画 有 () 無
- (8) 付帯工事 別紙参照
門扉 塀壁
- (9) 特別な荷重
エレベータ人乗 () リフト ton ホイスト ton
倉庫積載床用 kg/m² 受水層 ton
- (10) 構造計算ルート X方向ルート (1) Y方向ルート (1)

2. 使用構造材料

(1) コンクリート 水セメント比 55%以下とする。※()内はJIS 28591の標準値を示す。

適用箇所	種類	設計基準強度 F _C =N/mm ²	品質管理強度 (呼び強度)	スランプ cm	備考 構造体強度 値(正値28.5)
均しコンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	18	18	15	
土間コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	21	21	15	
土間スラブ	<input type="checkbox"/> 普通				
基礎、基礎梁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	21	21+3(6)	15	3(6)
躯体	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	21	21+3(6)	18	3(6)
躯体	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量				
躯体	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量				

混和剤

(2) コンクリートブロック (CB)
A種 B種 C種 厚 100 120 150 190

(3) 鉄筋

種類	径	使用箇所	継手工法	
異形鉄筋	<input checked="" type="checkbox"/> SD295	D10~D16	躯体一般	■ 重ね継手 D10~D16
	<input type="checkbox"/> SD345	D19~D25	柱・梁主筋等	□ ガス圧接継手 D19以上
	<input type="checkbox"/> SD390			
高強度せん断補強筋	<input type="checkbox"/>			□ 特殊継手
丸 鋼	<input type="checkbox"/> SR235			()
溶接金網 (JIS G 3551)	<input type="checkbox"/>			

(4) 鉄骨

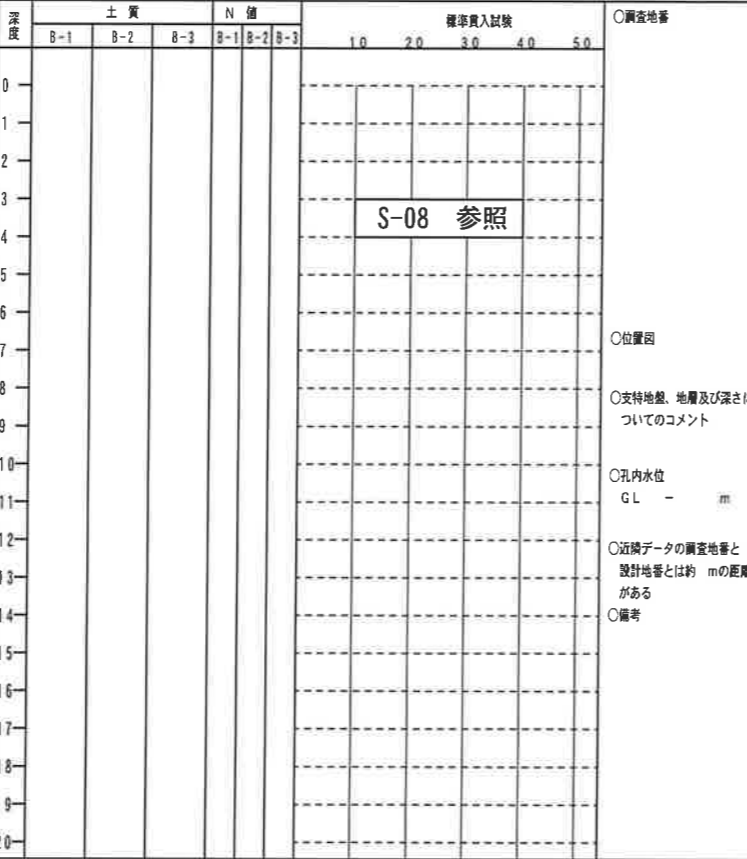
種類	使用箇所	現場溶接	備考
<input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> SS490 <input type="checkbox"/> SN400A, B, C	鋼 柱、梁、小梁	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SS490 <input type="checkbox"/> STRK430 <input type="checkbox"/> BCR295 <input type="checkbox"/> BCP235	ダイアフラム C材	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SN490 <input type="checkbox"/> SN490B, C	高強度鋼 鋼 柱	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SN490 <input type="checkbox"/> SN490B, C	ダイアフラム C材	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SNR400	B, PL C材	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

- (5) ボルト
- 高力ボルト 普通: F8T (溶融亜鉛ドブ漬け 大臣認定品)
 普通: F10T 特殊: S10T 認定品 M12 M16 M20 M22 M24)
- 中ボルト
M M 高力ボルトすべり係数試験 要 否
高力ボルト導入係数試験 要 否
- アンカーボルト
 ABR400 伸び能力有 M L= 800 mm ナット (シングル ダブル)
 ABR400 伸び能力有 M L= 900 mm ナット (シングル ダブル)
 ABR490 伸び能力有 M L= 900 mm ナット (シングル ダブル)
- 頭付スタッド
φ= mm L= mm 仕様箇所 (柱 大梁 小梁)
φ= mm L= mm 仕様箇所 (柱 大梁 小梁)

- (6) 屋根、床、壁
- ALC板 (管理棟) 厚 50
- 折板 H= 150, 88 厚 0.8
- デッキプレート (管理棟) 形式 QL 厚 1.2
- キーストンプレート 形式 厚
- 特殊デッキプレート 形式 厚
- 押出成形セメント板 厚 60

3. 地盤

- (1) 地盤調査資料
有 (④敷地内 近隣) ボーリング調査 平板載荷試験 水平地盤反力係数の測定
無 (調査予定 有 無)
- (2) 地盤調査計画
ボーリング調査 静的貫入試験 標準貫入試験 水平地盤反力係数の測定
土質試験 物理探査 平板載荷試験 目視調査
- (3) 地盤状況により基礎の深さを変更する場合もある
- (4) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎、杭の位置を明記すること)
※ボーリング調査報告書による。



4. 地業工事

- (1) 直接基礎 バタ基礎 布基礎 独立基礎 試験掘 有 無
深さBM-1.60m、支持層一粘土混じり砂礫 長期許容支持力 100KN/m²(長期)
- (2) 杭基礎
- | 杭種 | 材料 | 施工法 | 備考 |
|--|--|--|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> PC <input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> H鋼 <input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 摩擦杭 <input type="checkbox"/> | PC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)
PHC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)
鋼材 <input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> STK400
<input type="checkbox"/> ガイアバイル工法用鋼管 | <input type="checkbox"/> 打ち込み (打撃併用)
<input type="checkbox"/> 埋込み (セメントミルク工法)
<input type="checkbox"/> プレボーリング打撃工法
<input type="checkbox"/> ガイアバイル工法 | |
| <input type="checkbox"/> 場所打ち
コンクリート杭 | コンクリート 土量 = kg/m ³
セメント量 SD
鉄筋 主筋 SD
HOOP SD | <input type="checkbox"/> オールケーシング <input type="checkbox"/> 掘削杭
<input type="checkbox"/> リバースサーキュレーション
<input type="checkbox"/> アースドリル <input type="checkbox"/> ミニアース
<input type="checkbox"/> BH <input type="checkbox"/> 深掘 <input type="checkbox"/> 機械掘 | 杭底抗
日本建築センター認定
第 号
年 月 日 |

杭仕様 施工計画書承認 杭施工結果報告書
試験杭 (有・無) (打ち込み・載荷)

杭径 (mm)	設計支持力 (t)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項
<input type="checkbox"/>	-KN/P	-m	-本	
<input type="checkbox"/>	-KN/P	-m	-本	

※杭の打撃力に関する措置については、建築工事監理指針の3節4・3・3に準ずる

5. 鉄筋コンクリート工事

- (1) コンクリート
- コンクリートは JIS 認定工場の製品とし施工に関しては JASS5 (新規格) による。
 セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
- 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、割合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
- フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
- 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は、打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指定なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4週用は3本を用いる。
- ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送機または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継ぎ目における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

- (2) 鉄筋
- 鉄筋は JIS G3112 の規格品を標準とする。 施工は JASS5 (新規格) による。
- 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継ぎ手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。
- D19未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D22以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
- ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (200箇所を超えるときは、200箇所ごと) に1回行い、1回の試験は5本以上とする。外観検査 有 無、引張試験 有 無、超音波探傷試験 有 無
- 柱の帯筋 (HOOP) の加工方法は、H型 (タガ型) W型 (溶接型) S型 (スパイラル型) とする。
- コンクリート及び鉄筋の試験は「沖縄県建設技術センター」等で現場代理人及び工事監理者双方の立会いの共で行うこと。

- (3) 型枠
- 材料 合板厚 12mm を標準とする。 施工は JASS5 (新規格) による。
 型枠設置期間

種類 部位	せき板		支 柱			
	基礎、はり側、柱、壁	スラブ下、はり下	スラブ下		はり下	
コンクリートの 圧縮強度	早強ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント
	2	3	4	6	8	17
	5	5	6	10	12	25
5℃未満	5	8	10	16	15	28
コンクリートの 圧縮強度	5.0N/mm ²		設計基準強度の50%		設計基準強度の85%	100%

- 注) 1 片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
- 注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
- 注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
- 注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
- 注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
- 注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
- 日本建築学会「JASS6」鉄骨精度検査基準「鉄骨工事技術指針」
 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
- (2) 工事監理者の承認を必要とするもの
- 製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書
建設省告示第1103号による認定工場 (大臣認定 H M R)
 材料規格証明書または試験成績書
 鋼材 高力ボルト 特殊ボルト スタッドボルト
 社内検査表
- (3) 工事監理者が行う検査項目
(印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
- 現状検査 組立・貫先検査 製品検査
 建方検査
- (4) 接合部の溶接は下記によること
 東京都アーク溶接工事管理規程 (建築構造設計指針第12章)
 鉄骨造建築物の溶接工事に関する東京都取組要綱 (建築構造設計指針第12章)
 日本建築学会「溶接工作規程、同解説I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
- (5) 接合部の検査
 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査又は検査数			備考
		社 内	第 三 者	工 事 監 理 者	
鋼骨接合部	探傷試験	%	%	%	手当試験結果1/3% 検査本数/検査本数
鋼骨溶接部	外観 (目視) 検査	%	%	%	
<input type="checkbox"/>	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名	工事監理者の承認を得ること。				

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

- 高力ボルトは「JIS B1186」の高力ボルトを標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面赤さびが50μ以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
- 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として1次2次締めとする。
- 締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。
- (6) 防錆塗装
 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5621、2回塗りを標準とする。
 現場における高力ボルト接合部及び接合部の赤さび調整は急に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。
- (7) 耐火被覆の材料

7. 設備関係

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
 床スラブ内に設備配管等を通す場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を3倍以上かつ5cm以上とする。C/D管の集中する床はワイヤメッシュ (4φ-150x150程度) を入れる等ひび割れ対策を行う事。
- 令129条の2の4の事項
建築物に設ける建築設備にあつては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
- 建築設備 (昇降機を除く)、建築設備の支持構造部及び緊結物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
 屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とする。
 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さは5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とする。
 建築物に設ける給水、排水その他の設備は、
 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること
 建築物の部分を通す配管等については、当該貫通部に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可換継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
- 法第20条第1号から第3号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突その他これらに類するものにあつては建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

8. その他

- 図諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

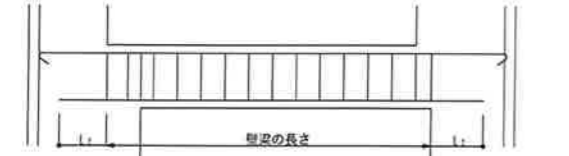
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 壁梁、小梁

Ⅲ 壁梁の標準配筋図

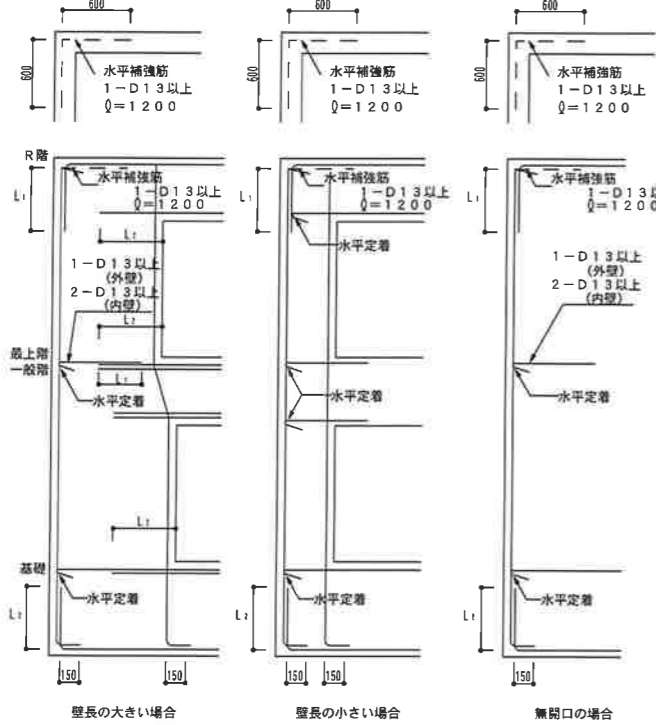


Ⅳ 壁梁の範囲

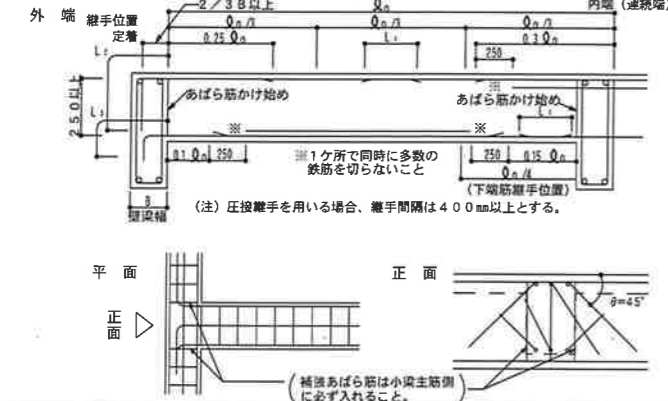


Ⅴ 定着

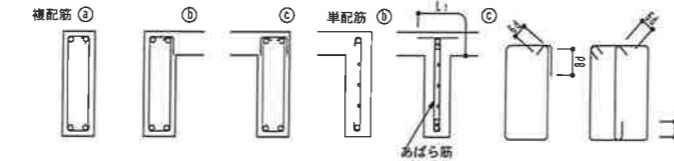
① 壁梁



② 小梁の定着・継手位置およびトップ筋長さ

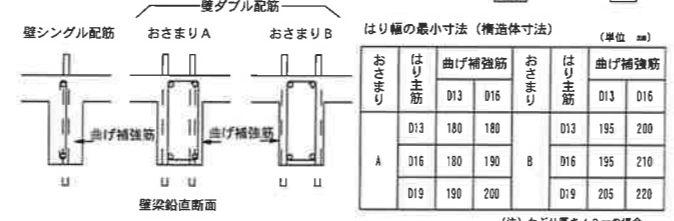


Ⅳ あばら筋の型



- (イ) 原則として①のフック先曲げとする。片側床版付(L型)梁で②、両側床版付(T型)梁で③とすることができる。
- (ロ) フックの位置は②にあっては交互、③にあってはスラブ側とする。

Ⅴ 壁梁と壁のおさまり



8. 床板

Ⅲ 定着および継手

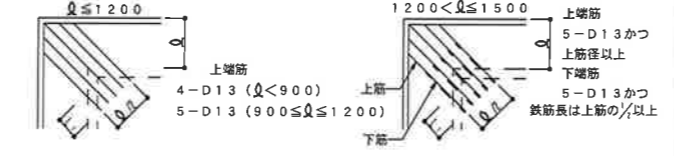
① 片持床スラブ



② 隣根スラブの補強



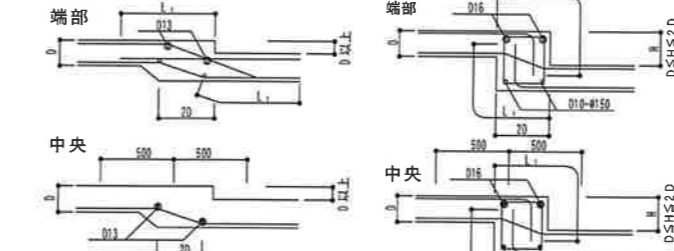
③ 片持ちスラブ出隅部補強



④ 床板開口部の補強 (開口の径500以上の場合)



Ⅵ 床板段差

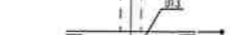


Ⅶ 土間コンクリート

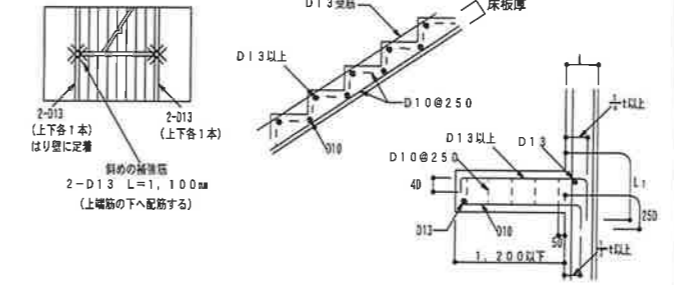
① 軽作業の土間



② 間仕切壁との交叉部

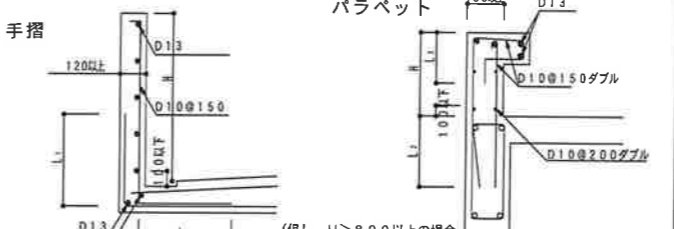


9. 階段

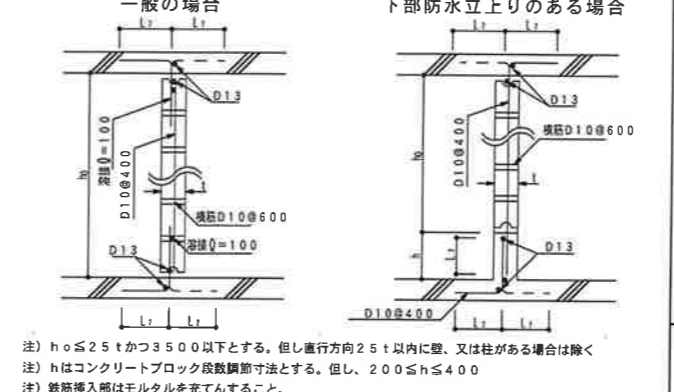


10. その他

Ⅲ 手摺、パラベット

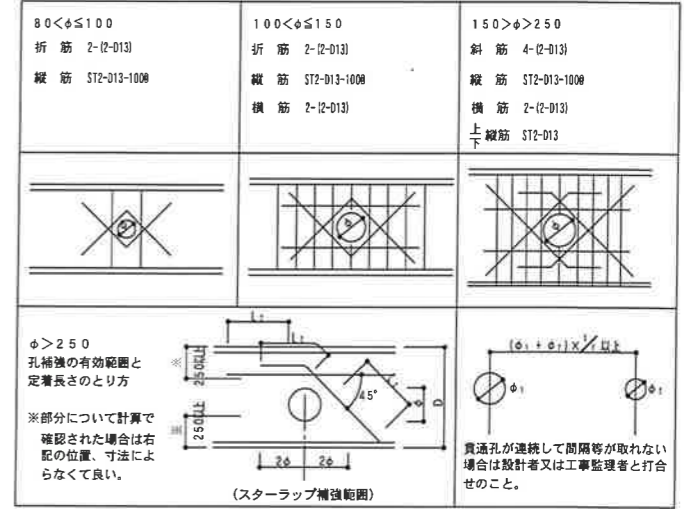


Ⅳ コンクリートブロック塀壁



11. 梁貫通孔補強

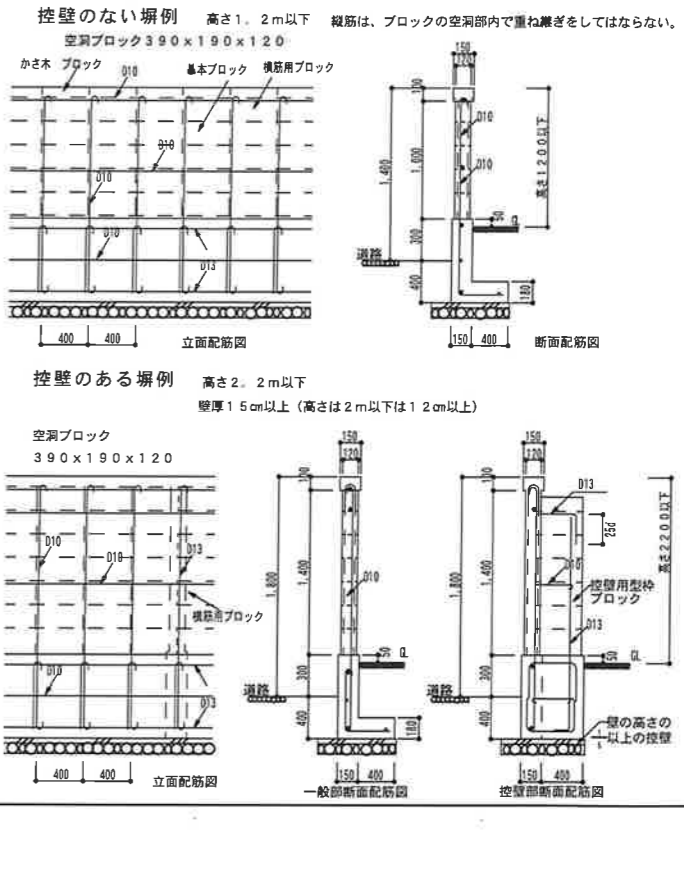
- Ⅲ 既製品 (使用するときには、設計者又は工事監理者と打合わせのこと)
 - リング型 □パイプ型 □金網型 □プレート型
- Ⅳ 鉄筋標準配筋 但しφ ≤ D/3とする
 - 設置可能範囲 梁端部 (スパンL/10以内かつ2D以内)は避ける

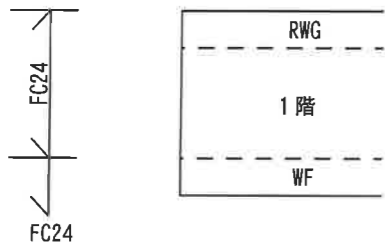


12. コンクリートブロック塀

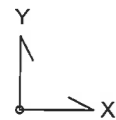
Ⅲ ブロック塀の高さ・厚さと基礎の構造

- a. 塀の高さ (地盤面に高低差のある場合は低い方による) は2.2m以下。
- b. 塀の厚さは、塀の高さ2m以下の場合12cm以上、2mを超える場合は15cm以上。
- c. 地盤が液状化の恐れのある砂質土および軟弱土の場合は、別途検討する。
- d. 鉄筋挿入部はモルタルを充てんすること。





コンクリート強度 (設計基準強度)
 ※耐久設計基準強度を採用する場合は
 大きい方の値を採用



基礎伏図 S=1/100

特記事項

設計支持力 Lfe=100KN/m² (長期)

コンクリート設計基準強度 別図による

鉄筋強度 D16以下 SD295 (JIS規格品)
 D19以上 SD345 (JIS規格品)

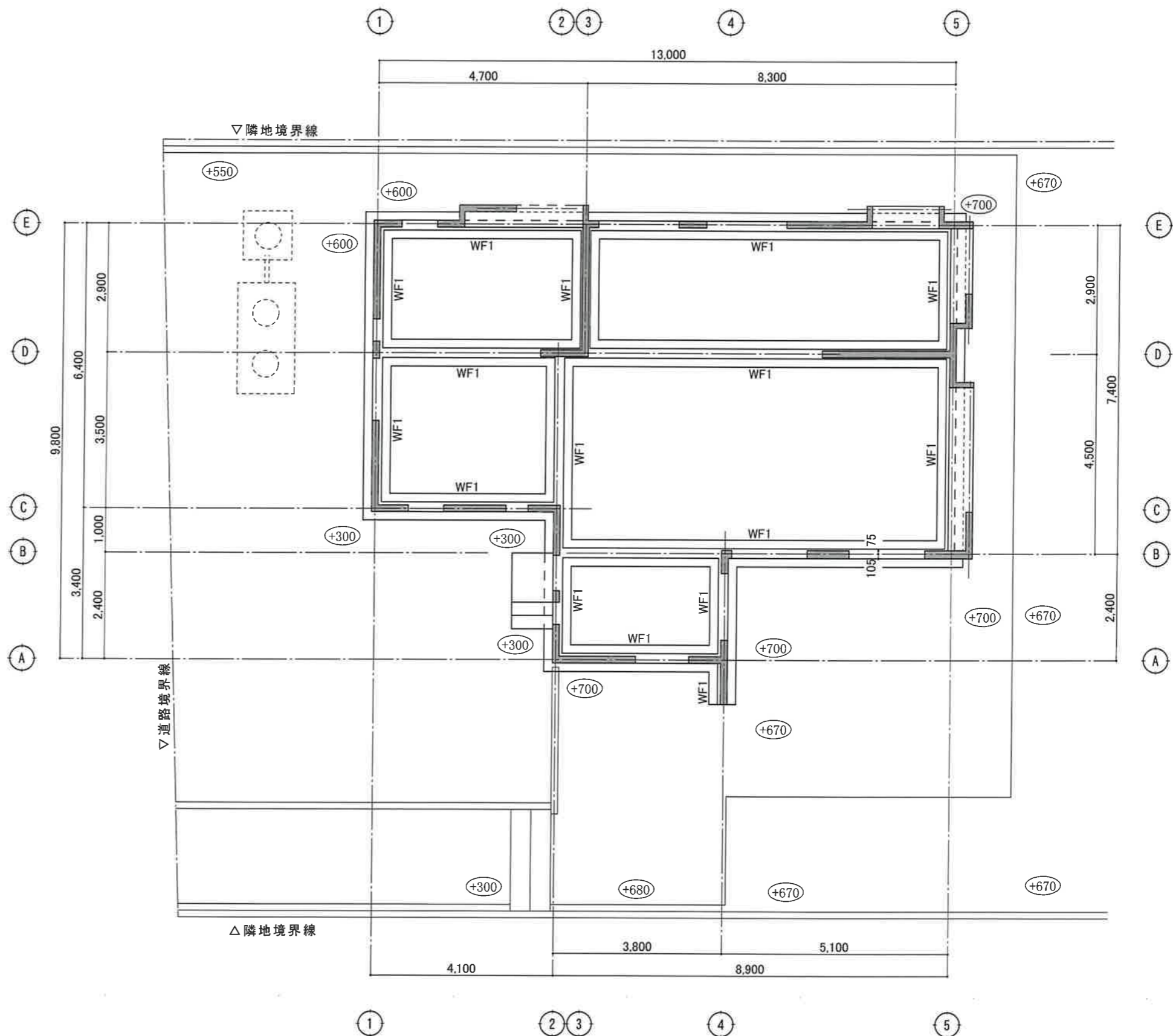
記入無き壁はR階梁伏図参照とする

記入無き床は土間コンクリートとする。
 ・土間コンクリートに有害な沈下が生じないように十分に
 転圧する事。
 ・ひび割れ誘発目地を配置する場合は3m以下の間隔とする。

特記無き地中梁天端 BM+500とする。

室内土間天端は意匠図面参照とする
 (犬走・駐車場等の土間高さは意匠図面参照)

BM±0=KBM±0



構造設計者
 名称 ASDplanning 一級建築士事務所登録第147-2879号
 資格者氏名 照屋 国彦 一級建築士登録(大臣)第309297号

(有) 都一級建築設計事務所

〒906-0013 TEL: (0980) 72-7104
 宮古島市平良字下里1379-5 FAX: (0980) 73-3813

工事名称

楚南邸新築工事

年月日 2026.2

図面名 基礎伏図

縮尺 S=1/100

工事場所

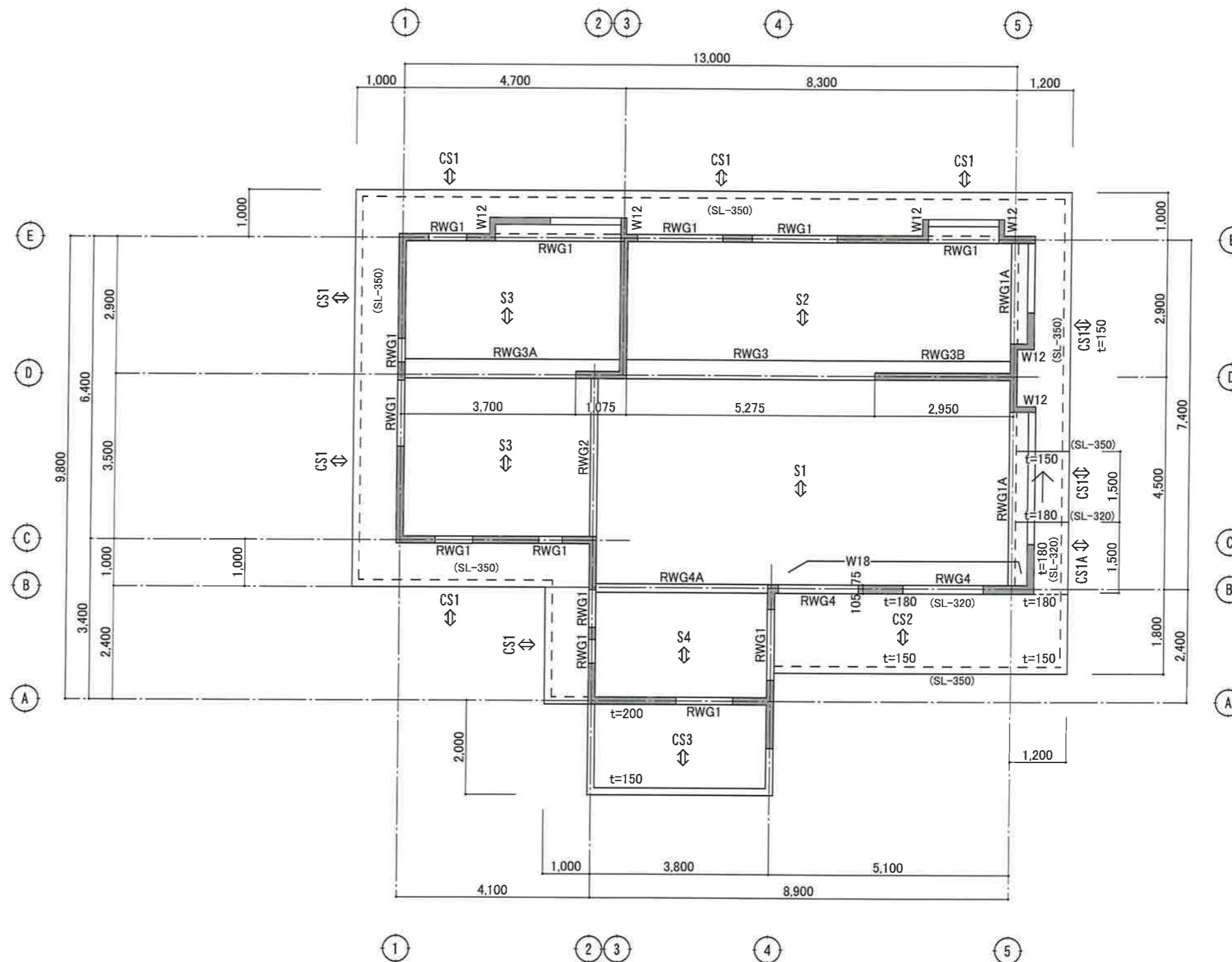
宮古島市平良字西仲宗根740-3

沖縄県知事事務所登録147-442
 一級建築士大臣登録第157466号

垣花正昭 印

図面番号

S-04



R階梁伏図 S=1/100 ※見上図

特記事項
コンクリート設計基準強度 別図による
鉄筋強度 D16以下 SD295 (JIS規格品) D19以上 SD345 (JIS規格品)
特記無き壁はW15とする
特記無きスラブ位置はSL±0とする

構造設計者
 名称 ASDe planning 一級建築士事務所登録第147-2879号
 資格者氏名 照屋 国彦 一級建築士登録(大臣) 第309297号

(有) 都一級建築設計事務所

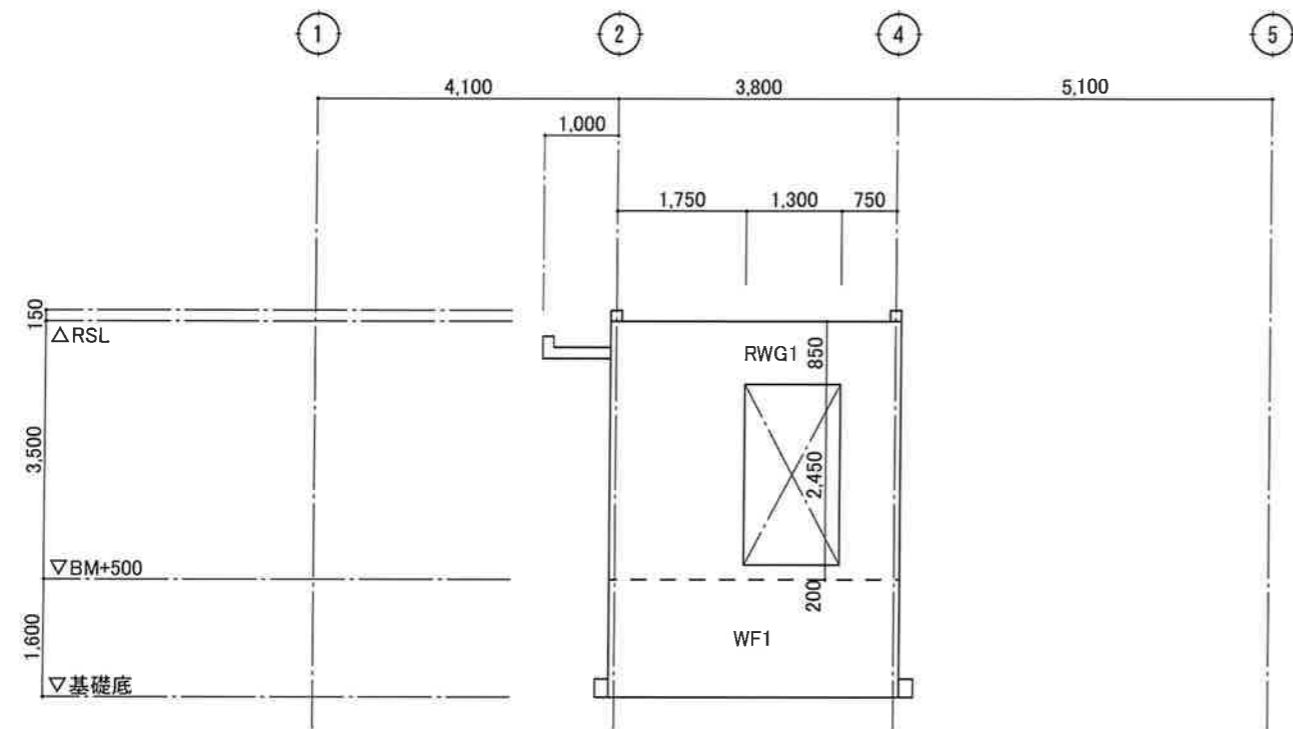
〒 906-0013 TEL: (0980) 72-7104
 宮古島市平良字下里1379-5 FAX: (0980) 73-3813

工事名称 楚南邸新築工事
 工事場所 宮古島市平良字西仲宗根740-3

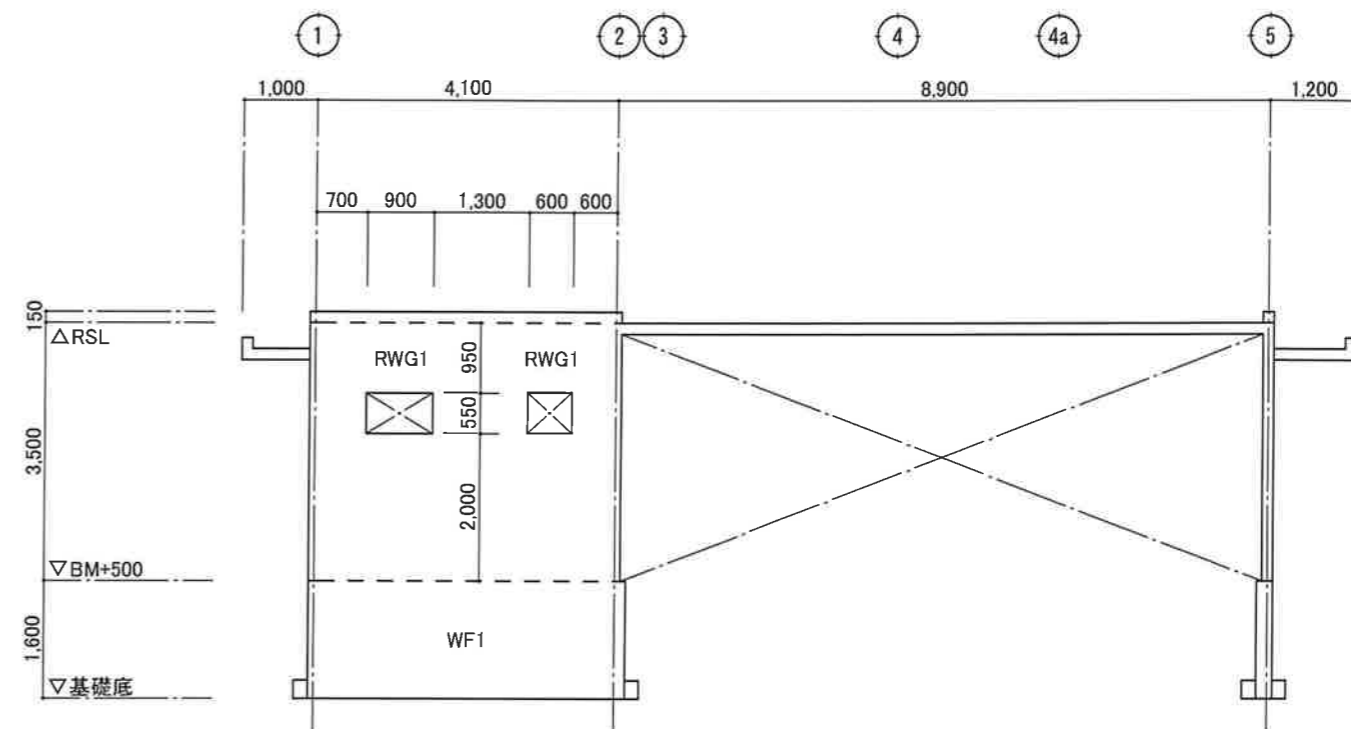
年月日 2026.2
 図面名 R階梁伏図
 縮尺 S=1/100

沖縄県知事事務所登録147-442
 一級建築士大臣登録第157466号
 垣花正昭 印

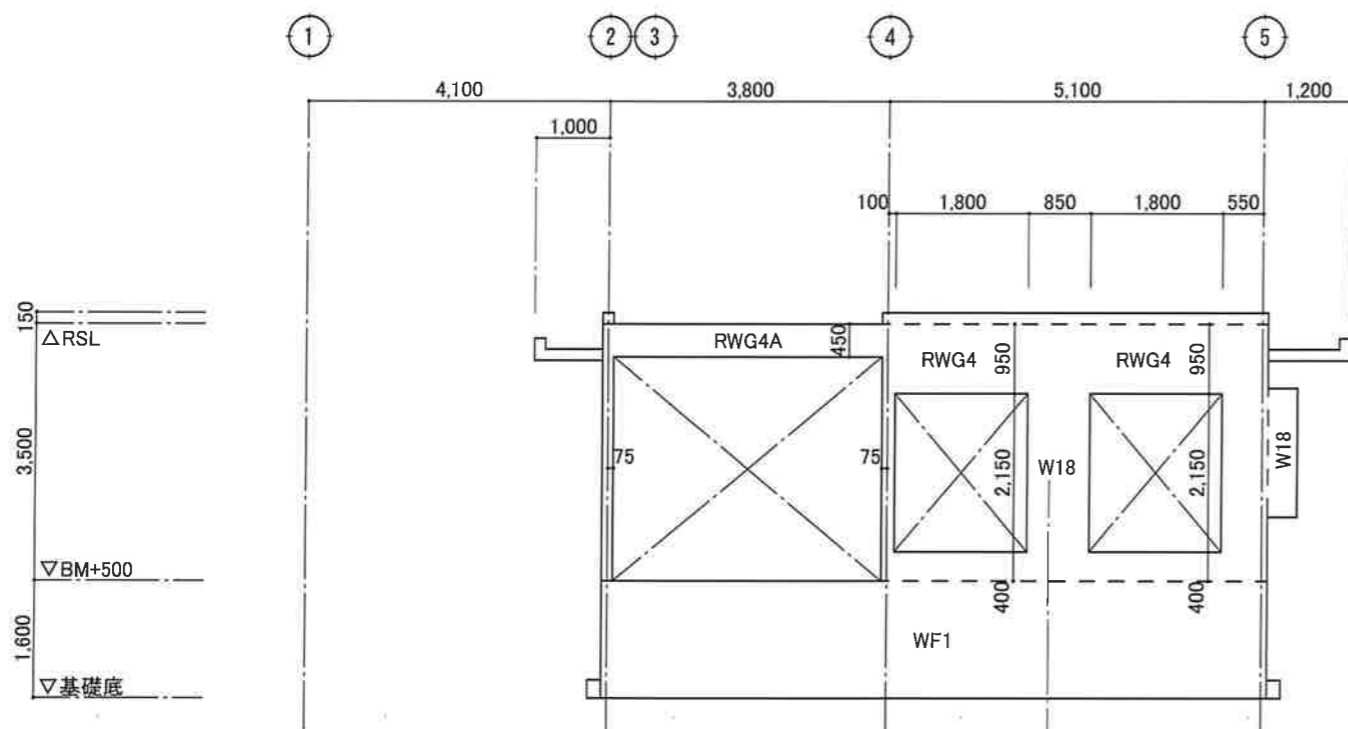
図面番号
 S-05



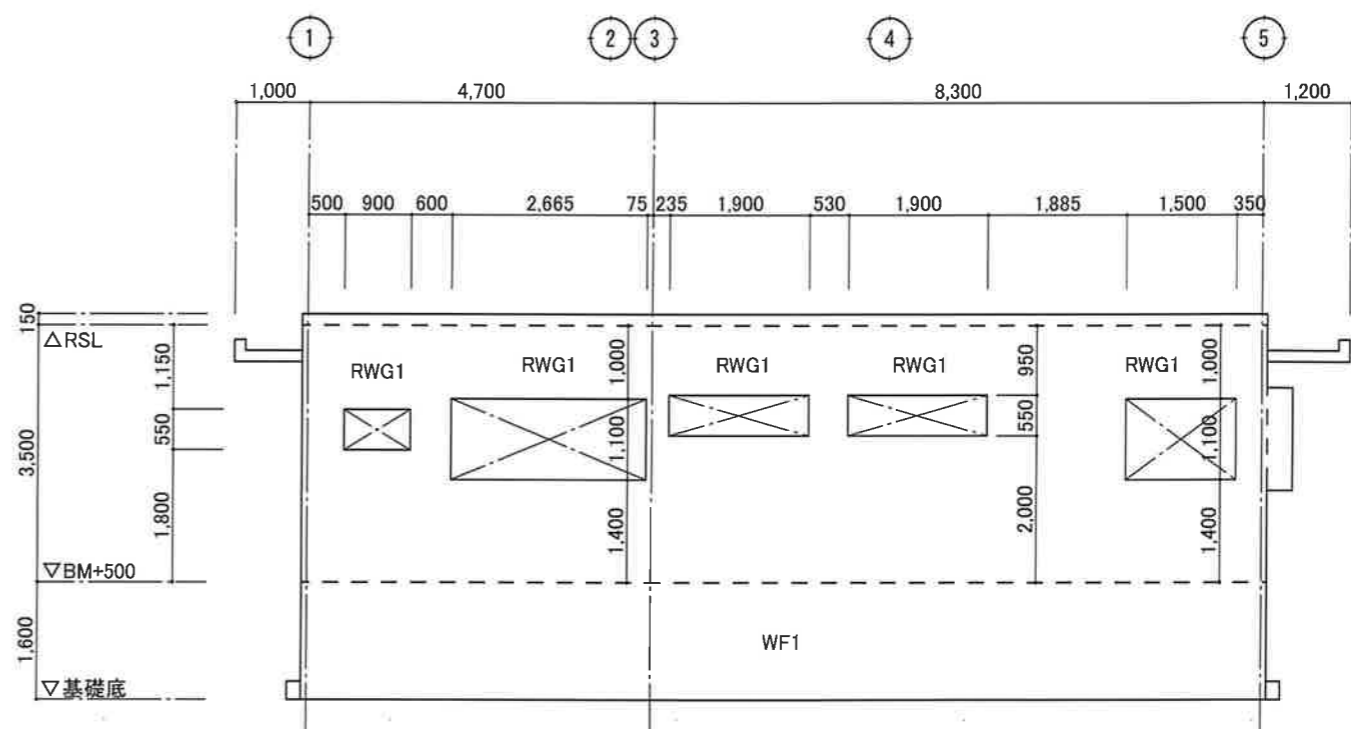
A通り軸組図 S=1/100
※記入無き壁はW15とする



C通り軸組図 S=1/100
※記入無き壁はW15とする



B通り軸組図 S=1/100



E通り軸組図 S=1/100
※記入無き壁はW15とする

構造設計者 ASDplanning 一級建築士事務所登録第147-2879号
名称 照屋 国彦 一級建築士登録(大臣)第309297号

(有) 都一級建築設計事務所

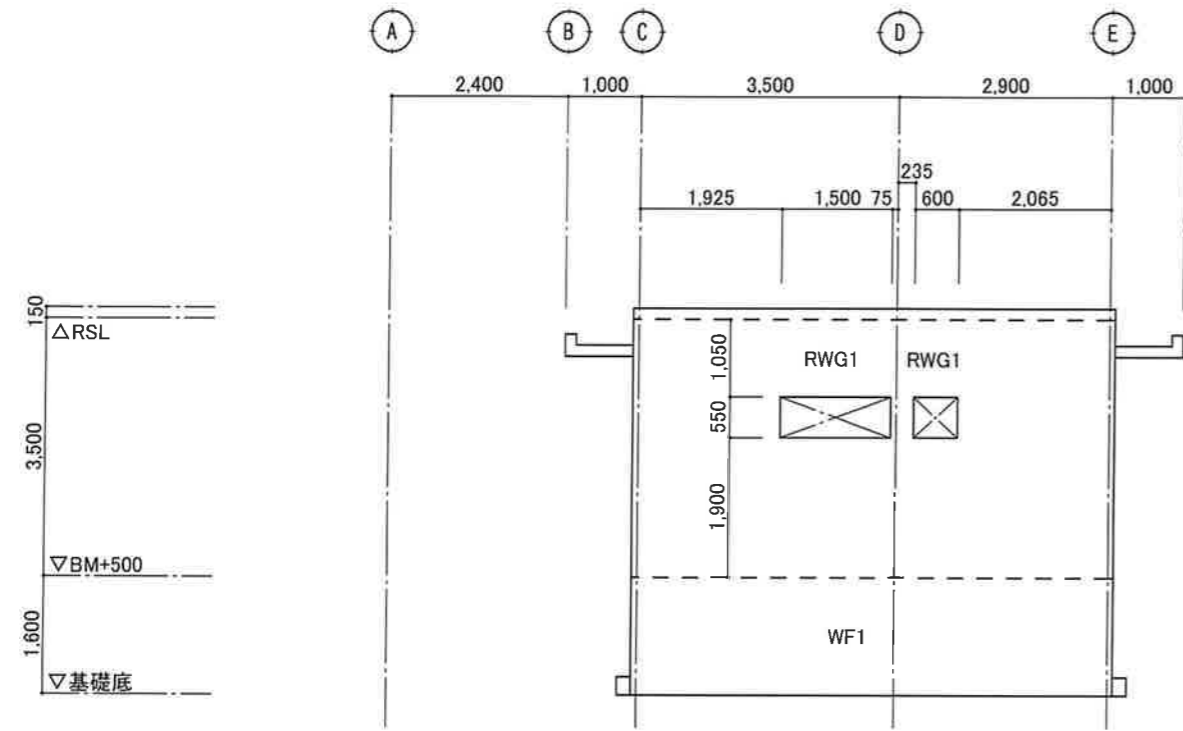
〒906-0013 TEL: (0980) 72-7104
宮古島市平良字下里1379-5 FAX: (0980) 73-3813

工事名称 楚南邸新築工事
工事場所 宮古島市平良字西仲宗根740-3

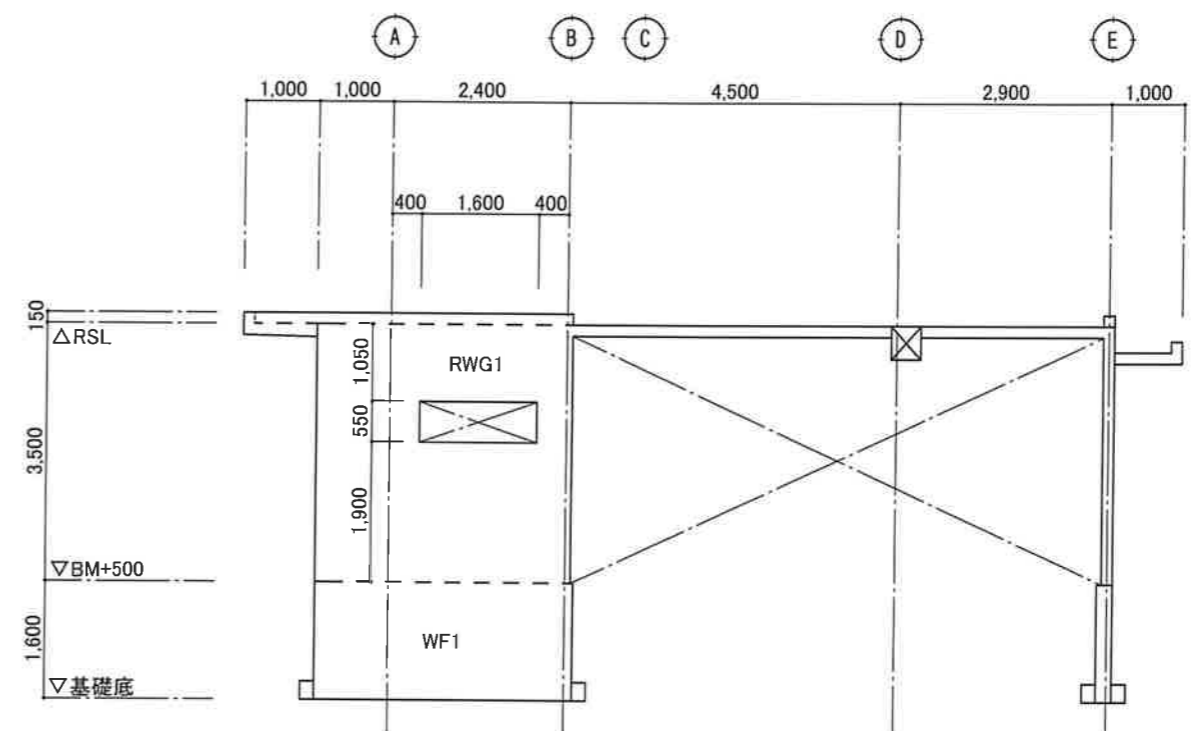
年月日 2026.2
図面名 軸組図(1)
縮尺 S=1/100

沖縄県知事事務所登録147-442
一級建築士大臣登録第157466号
垣花正昭 印

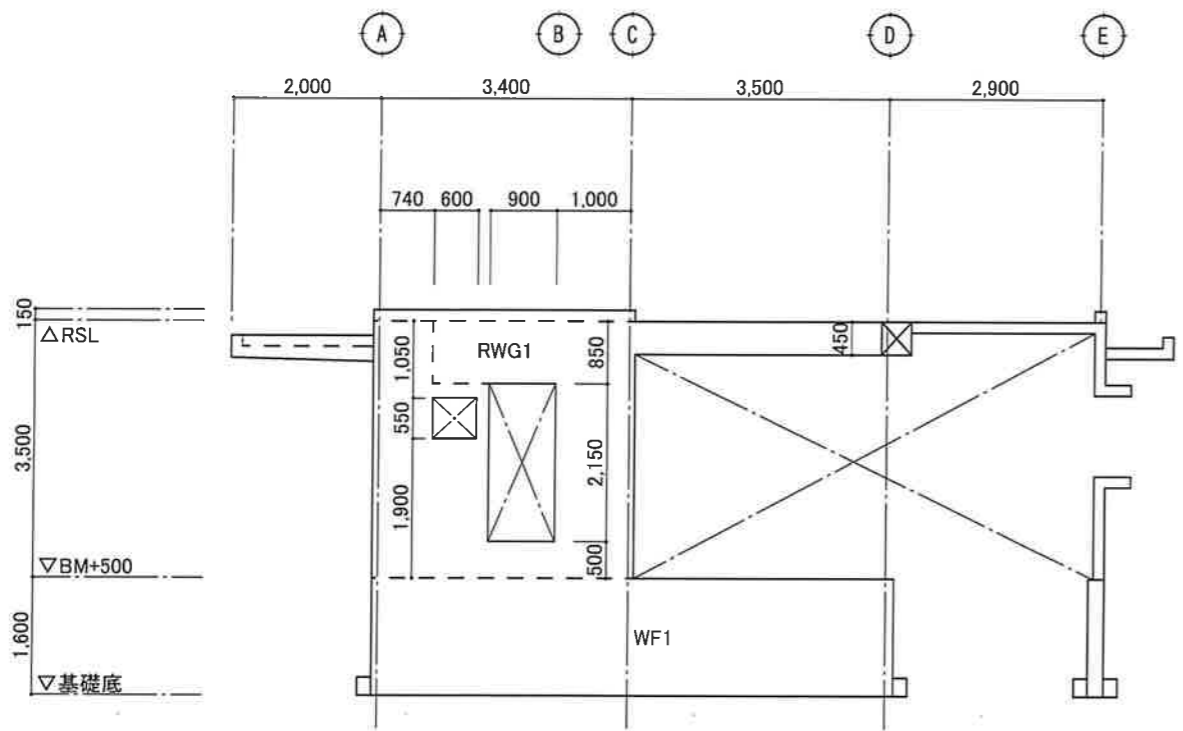
図面番号 S-06



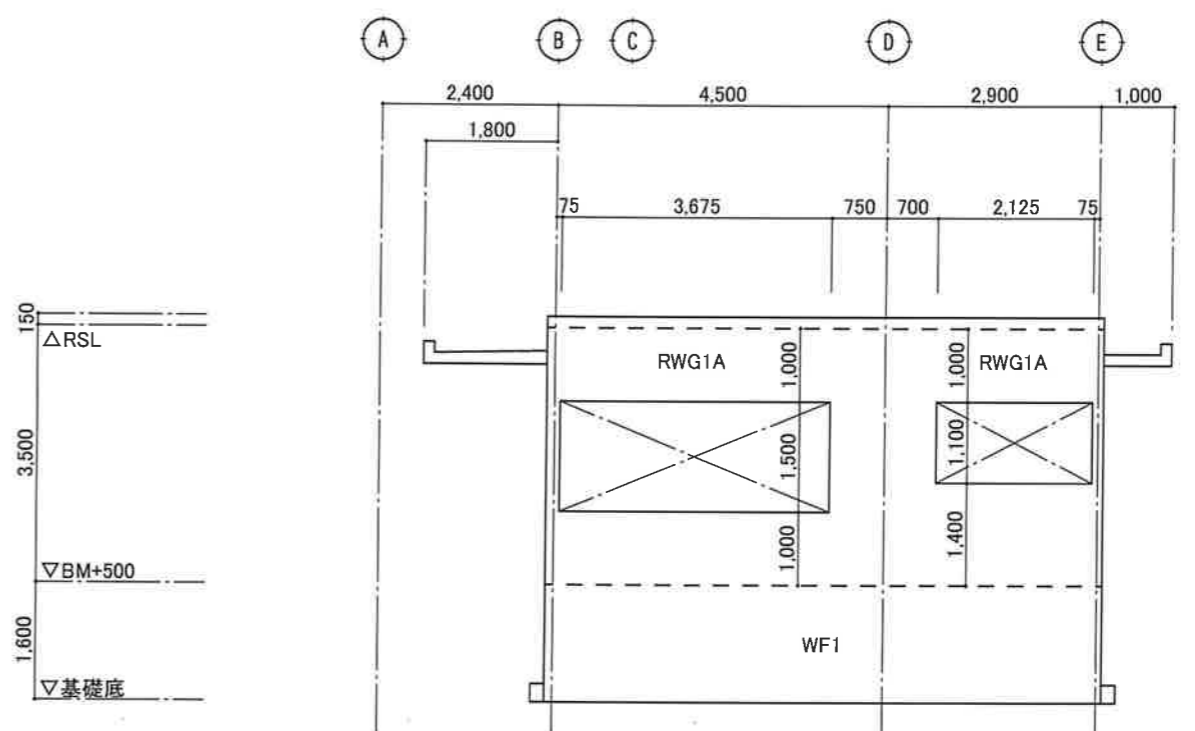
1通り軸組図 S=1/100
※記入無き壁はW15とする



4通り軸組図 S=1/100
※記入無き壁はW15とする



2通り軸組図 S=1/100
※記入無き壁はW15とする



5通り軸組図 S=1/100
※記入無き壁はW15とする

構造設計者
名称 ASDplanning 一級建築士事務所登録第147-2879号
資格者氏名 照屋 国彦 一級建築士登録(大臣)第309297号

(有) 都一級建築設計事務所
〒906-0013 TEL: (0980) 72-7104
宮古島市平良字下里1379-5 FAX: (0980) 73-3813

工事名称 楚南邸新築工事
工事場所 宮古島市平良字西仲宗根740-3

年月日 2026.2
図面名 軸組図(2)
縮尺 S=1/100

沖縄県知事事務所登録147-442
一級建築士大臣登録第157466号
恒花正昭 印

図面番号
S-07

ボーリング柱状図

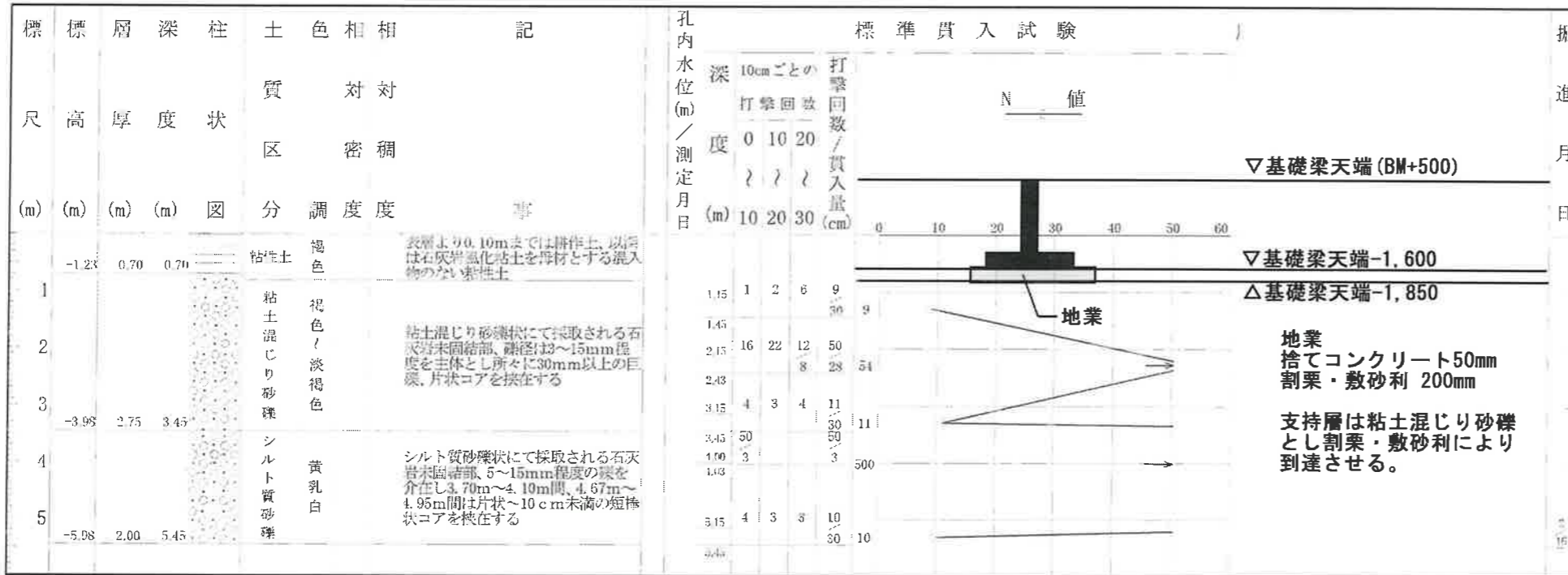
調査名 楚南邸新築工事

ボーリングNo

事業・工事名 楚南邸新築工事

シートNo

ボーリング名	B-1	調査位置	沖縄県宮古島市平良字西仲宗根740-2	北緯	24° 49' 06.11"
発注機関	(有) 都一級建築設計事務所	調査期間	令和 8年 2月 16日 ~ 8年 2月 16日	東経	125° 17' 28.00"
調査業者名	株式会社八島建設コンサルタント 電話 (0980-72-4688)	主任技師	与那覇和信	現場代理人	与那覇和信
孔口標高	KBM -0.53m	角	180° 上 90°	方	北 0° 270° 90° 東
総掘進長	5.45m	度	下 0°	向	西 180° 南
使用機種	エンジン	試錐機	TOHO-DO-DL	ハンマー	半自動式
		ポンプ	ヤンマー TF90V-E2	落下用具	共立 SPE3570



構造設計者
名称 ASDplanning 一級建築士事務所登録第147-2879号
資格者氏名 照屋 国彦 一級建築士登録(大臣)第309297号

(有) 都一級建築設計事務所

〒 906-0013 TEL: (0980) 72-7104
宮古島市平良字下里1379-5 FAX: (0980) 73-3813

工事名称 楚南邸新築工事

工事場所 宮古島市平良字西仲宗根740-3

年月日 2026.2

図面名 土質柱状図

縮尺

沖縄県知事事務所登録147-442

一級建築士大臣登録第157466号

垣花正昭 印

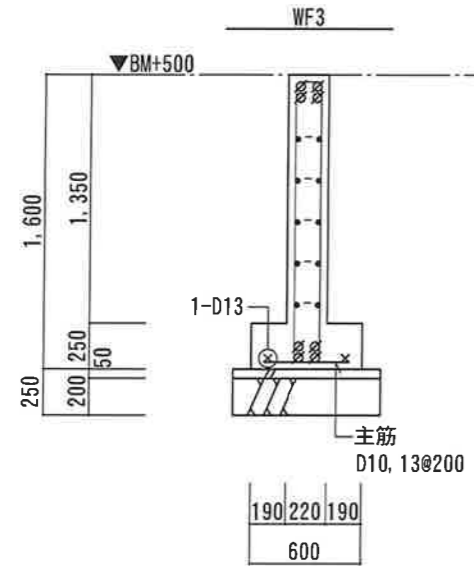
図面番号

S-08

基礎リスト

※特記事項

- 1) 設計地耐力 100KN/m²(長期)
- 2) 支持層は粘土混じり砂礫層とする。
- 3) 支持層に到達しない場合、割栗・敷砂利を厚くし到達させる。

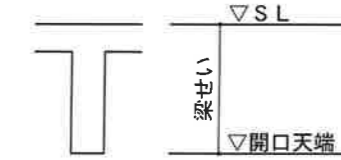


主筋 上下各 4-D16
 STP □-D10@200
 腹筋 10-D10
 幅止筋 D10@1000

梁リスト

符号	RWG1	RWG1A	RWG2
位置	全断面	全断面	全断面
断面			
B x D	150X850 以上	150X1,000	150X450
上端筋	2-D13	2-D16	2-D16
下端筋	2-D13	2-D16	2-D16
STP	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200
腹筋	壁横筋に準じる	壁横筋に準じる	壁横筋に準じる
巾止筋	-	-	-
備考	-	-	-

※梁せい以上の表記について



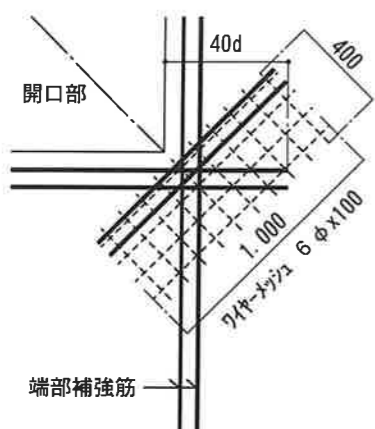
梁せいは軸組図を参照する。

符号	RWG3		RWG3A		RWG3B		RWG4	RWG4A
	端部	中央	1端部, 中央	RWG3側端部	RWG3側端部	中央, 5端部	全断面	全断面
断面								
B x D	400X450		400X450		400X450		180X950	180X450
上端筋	6-D16	4-D16	4-D16	6-D16	6-D16	4-D16	4-D13	4-D13
下端筋	4-D16	6-D16	4-D16	4-D16	4-D16	4-D16	4-D13	4-D13
STP	□-D10@175		□-D10@175		□-D10@175		□-D10@100	□-D10@200
腹筋	-		-		-		壁横筋に準じる	壁横筋に準じる
巾止筋	-		-		-		壁筋に準じる	壁筋に準じる
備考	-		-		-		-	-

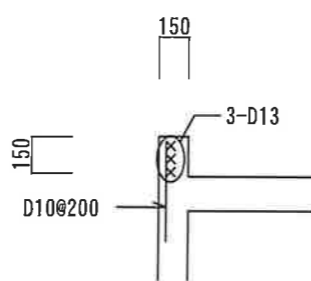
壁リスト			
※特記事項 ・耐力壁、壁式構造の横筋端部はシングル配筋の場合フック付きとしダブル（チドリ含む）配筋の場合はコ型の鉄筋を配置する。 ・端部補強筋は十・L・T型交差部の補強筋にも準用する。			
符号	W15	W12	W18
断面			
壁厚	150	120	180
縦筋	D10@200	D10@200	D10@100
横筋	D10@200	D10@200	D10@200
開口補強筋	縦	2-D13	4-D13
	横	2-D13	4-D13
	斜	1-D13	2-D13
端部補強筋	2-D13	1-D13	4-D13
配筋状態	シングル	シングル	縦：ダブルチドリ 横：ダブル
備考	-	-	-

開口補強筋要領図

※メッシュ筋は推奨であり必ずしも配筋するものではない



雑配筋図



パラペット

スラブリスト					
※特記無き限り主筋方向は短辺方向とする。					
符号	版厚	位置	短辺方向	長辺方向	備考
S1	150	上端筋	D13 @ 200	D10, 13 @ 200	
		下端筋	D10, 13 @ 200	D10 @ 200	
S2	150	上端筋	D10, 13 @ 200	D10, 13 @ 200	
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	
S3	150	上端筋	D10, 13 @ 200	D10 @ 200	
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	
S4	150	上端筋	D13 @ 100	D10 @ 200	
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	
土間コン(内部)	150	上端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	配筋・厚み 変更可能
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	
土間コン(外部)	150	シングル	D10 @ 200	D10 @ 200	配筋・厚み 変更可能
・土間コン下 敷砂利（クラッシャー）標準厚み60mm：地盤状況に応じ厚みを調整する。 ・有害な沈下の発生を抑制する為、敷砂利（クラッシャー）を十分に転圧し締め固める。 ・土間コンは土間床版（構造スラブ）と異なり計算省略部材であり上記部材厚さ・配筋は適宜変更可能。					

片持ちスラブリスト					
※主筋方向は片持ち（跳ね出し）長さ方向とする。					
符号	版厚	位置	主筋方向	配力筋方向	備考
CS1	基端 150	上端筋	D10, 13 @ 200	D10 @ 200	
	先端 150	下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	
CS1A	基端 180	上端筋	D13 @ 100	D13 @ 200	
	先端 180	下端筋	D10 @ 100	D10 @ 200	
CS2	基端 180	上端筋	D13 @ 200	D10 @ 200	
	先端 150	下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	
CS3	基端 200	上端筋	D10, 13 @ 100	D10 @ 200	
	先端 150	下端筋	D10 @ 100	D10 @ 200	

構造設計者 名称 ASDplanning 一級建築士事務所登録第147-2879号
資格者氏名 照屋 国彦 一級建築士登録(大臣)第309297号

(有) 都一級建築設計事務所

〒 906-0013 TEL: (0980) 72-7104
宮古島市平良字下里1379-5 FAX: (0980) 73-3813

工事名称

楚南邸新築工事

年月日 2026.2

沖縄県知事事務所登録147-442

図面番号

工事場所

宮古島市平良字西仲宗根740-3

図面名 部材リスト(2)

一級建築士大臣登録第157466号

S-10

縮尺 S=1/40

垣花正昭 印